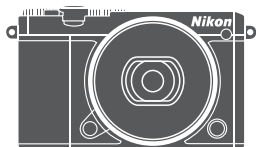


Nikon

デジタルカメラ

1 J5

活用ガイド



「Nikon Manual Viewer 2」アプリ

ニコンデジタルカメラの説明書をスマートフォンやタブレットで見ることができるアプリです。App Store または Google Play から無料でダウンロードできます。

Jp

お使いになる前に、この活用ガイドをよくお読みになり、内容を十分に理解してから正しくお使いください。お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに保管し、撮影を楽しむためにお役立てください。

表記について

- この活用ガイドでは、カメラの設定が初期設定であることを前提に操作の説明を行っています。
- ご購入時に設定されている機能やメニューの設定状態を「初期設定」と表記しています。
- microSDメモリーカード、microSDHCメモリーカード、およびmicroSDXCメモリーカードを「メモリーカード」と表記しています。
- バッテリーチャージャーを「チャージャー」と表記しています。
- ローターマルチセクターの上、下、左、右を、、、、と表記しています。

本文中のマークについて

この活用ガイドは、次の記号を使用しています。必要な情報を探すときに活用ください。



カメラを使用する前に注意していただきたいことや守っていただきたいことを記載しています。



カメラを使用する前に知っておいていただきたいことを記載しています。



活用ガイド上で関連情報が記載されているページです。

⚠ 安全上のご注意

安全にカメラをお使いいただくために守っていただきたい内容が記載されています。カメラをお使いになる前に必ずお読みください。詳しくは□□x～xxiiをご覧ください。

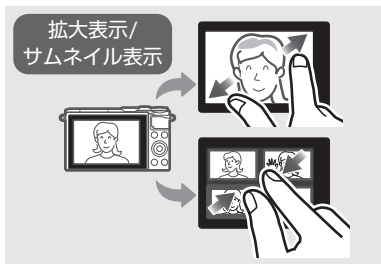
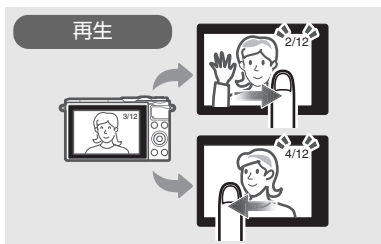
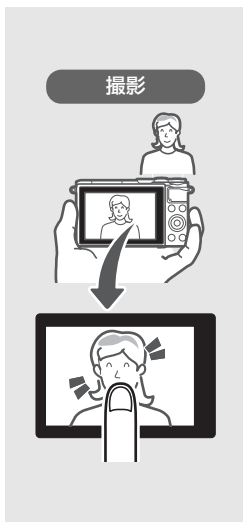
1 J5

タッチ操作で撮影する	ii
目次	iii
 はじめに	1
 撮影前の準備	22
 静止画を撮影する/再生する	31
 動画を撮影する/再生する	38
 さらに撮影を楽しむ	55
 撮影の便利な機能	91
 Wi-Fiを使う	109
 いろいろな再生機能	120
 パソコン、テレビ、プリンターとの接続	136
 再生メニュー	146
 撮影メニュー	154
 セットアップメニュー	193
 資料	203

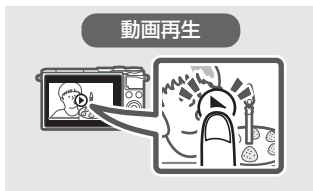
タッチ操作で撮影する

このカメラでは、液晶モニターをタッチして撮影や操作が行えます (16)。

静止画



動画



上記の他にも、メニューの選択や設定の変更なども行えます。

目次

タッチ操作で撮影する	ii
安全上のご注意	x
ご確認ください	xvii
Wi-Fi（無線 LAN）機能について	xx

はじめに 1

お使いになる前に	1
各部の名称と機能	2
タッチパネルを使う	16

撮影前の準備 22

ストラップを取り付ける	22
バッテリーを充電する	22
カメラにバッテリーとメモリーカードを入れる	23
レンズを取り付ける	26
カメラの電源を ON にする	28
日付と時刻を合わせる	29
バッテリーの残量とメモリーカードの記録可能コマ数を 確認する	30

静止画を撮影する / 再生する 31

カメラまかせで撮影する（オートモード）	31
撮影した静止画を再生する	34
画像を削除する	35

動画を撮影する / 再生する 38

動画を撮影する	38
動画の撮影中に静止画を撮影する	41
撮影した動画を再生する	42
動画を削除する	43

●+ アドバンスド動画モードで撮影する	46
タイムラプス動画を撮影する	49
スローモーション動画を撮影する	52

さらに撮影を楽しむ

55

📷 シーンや効果を選んで撮影する (クリエイティブモード)	55
クリエイティブモードで選べるシーンと効果	56
[HDR] で撮影する	59
[かんたんパノラマ] で撮影する	60
[セレクトカラー] で撮影する	63
P、S、A、M モードで撮影する	64
P プログラムオート	64
S シャッター優先オート	65
A 絞り優先オート	66
M マニュアル	67
長時間露出で撮影する (M マニュアルのみ)	69
★ 動きのある被写体の動きをとらえる (スポーツモード) ...	71
📷 ベストショットを撮影する (ベストモーメントキャプチャー)	73
残したい画像を自分で選ぶ (お気に入りフォト選択)	73
シャッターチャンスをはっきり選ぶ (スロービュー)	78
ベストショットをカメラが選ぶ (スマートフォトセクター)	80
📷 静止画と短い動画を一緒に撮影する (モーションスナップショット)	85
撮影したモーションスナップショット画像を 確認する	90
モーションスナップショット画像を削除する	90

ライブコントロールを使って撮影する	91
連写で撮影する	94
セルフタイマーを使って撮影する	96
画像の明るさを調整する（露出補正）	98
内蔵フラッシュについて	99
内蔵フラッシュが自動的に上がる撮影モードの 場合	99
内蔵フラッシュを手動で上げる撮影モードの 場合	101
自分撮りモードで撮影する	105
タッチ撮影機能について	107
📷 オートモード、📷 クリエイティブモード、 自分撮りモード	107
🌟 スポーツモード	107
P、S、A、M モード	107
🎥 アドバンスド動画モード	108

Wi-Fi を使う

Wi-Fi を使ってできること	109
セキュリティを設定する	110
カメラとスマートデバイスを接続する	113
Android OS/iOS : SSID で Wi-Fi 接続する	113
Android OS : NFC で Wi-Fi 接続する	114
カメラからスマートデバイスに画像を送信する	116
表示中の画像を送信する	116
複数の画像をまとめて送信する	117
NFC 対応のスマートデバイスに送信する	118
送信した画像をスマートデバイスで受信する	119

いろいろな再生機能

120

画像情報を表示する	120
複数の画像を一覧表示する（サムネイル表示モード）	124
撮影した日付ごとに画像を表示する （カレンダー表示モード）	125
画像を拡大表示する	126
連写グループ画像を表示する	127
画像を削除する	129
再生中の画像を削除する	129
複数の画像をまとめて削除する	129
人物の顔にメイクアップ効果を付ける	130
スライドショーで再生する	133

パソコン、テレビ、プリンターとの接続

136

ViewNX-i を使用して画像をパソコンに取り込む	136
ViewNX-i をインストールする	136
パソコンに画像を取り込む	137
画像をテレビで見る	140
HDMI ケーブルを使ってハイビジョンテレビと 接続する	140
画像をプリンターで印刷する	142
カメラとプリンターを接続する	142
1 コマだけプリントする	143
複数の画像をプリントする	145

再生メニュー

146

画像選択画面について	147
縦位置自動回転	148
連写グループ表示方法	148
プロテクト設定	149
D- ライティング	149
リサイズ	150
トリミング	151
動画編集	152

撮影メニューのリセット	157
露出モード	157
画質モード	158
画像サイズ	159
サイズ / フレームレート	161
測光モード	162
ホワイトバランス	163
ホワイトバランスを選ぶ	163
ホワイトバランスを微調整する	164
事前に取得したホワイトバランスを使う (プリセットマニュアル)	166
ISO 感度設定	169
Picture Control (ピクチャーコントロール)	170
ピクチャーコントロールを調整する	171
自動ゆがみ補正	174
色空間	174
アクティブ D- ライティング	175
長秒時ノイズ低減	176
高感度ノイズ低減	176
動画音声の設定	177
動画中おまかせスナップ	178
インターバルタイマー撮影	179
光学手ブレ補正	181
動画電子手ブレ補正	182
フォーカスモード	183
マニュアルフォーカスでピントを合わせる	185
AF エリアモード	187
ターゲット追尾で撮影する	188
フォーカスロック撮影する	189
顔認識	189
内蔵 AF 補助光の照射	190
フラッシュ発光	191
フラッシュ調光補正	192

メモリーカードの初期化	195
カードなし時リリース	196
撮影直後の画像確認	196
モニター表示	196
モニターの明るさ	196
格子線の表示	197
撮影画面の設定	197
再生画面の設定	197
音の設定	198
オートパワーオフ	198
自分撮りモード	199
フリッカー低減	199
連番リセット	199
地域と日時	200
縦横位置情報の記録	201
ピクセルマッピング	202

使用できるアクセサリ	203
推奨メモリーカード	205
カメラとパワーコネクター、AC アダプターの 接続方法	206
カメラのお手入れについて	207
保管について	207
クリーニングについて	208
カメラとバッテリーの取り扱い上のご注意	209
カメラの取り扱い上のご注意	209
バッテリーの取り扱い上のご注意	212
撮影に関する設定の初期設定一覧	214
F メニューの初期設定	215
1 枚のメモリーカードに記録できるコマ数（静止画）と 時間（動画）	216
故障かな？と思ったら	218
電源・表示関連	218
撮影関連（全モード共通）	219
撮影関連（撮影モード P、S、A、M）	221
動画撮影関連	222
タッチ撮影機能関連	222
再生関連	223
Wi-Fi（無線 LAN）関連	224
その他	224
警告メッセージ	225
主な仕様	229
電池寿命について	247
索引	249
ニコンプラザ、サービスセンターのご案内	255
アフターサービスについて	256

安全上のご注意

お使いになる前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しく使用し、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために重要な内容を記載しています。お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

表示と意味は、次のようになっています。



危険

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が高いと想定される内容を示しています。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

絵表示の例



△記号は、注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。図の中や近くに具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。



⊘記号は、禁止の行為（してはいけないこと）を告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



●記号は、行為を強制すること（必ずすること）を告げるものです。図の中や近くに具体的な強制内容（左図の場合はプラグをコンセントから抜く）が描かれています。

警告 (カメラとレンズについて)



分解禁止

分解したり修理や改造をしないこと

感電したり、異常動作をしてケガの原因となります。



接触禁止

落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に手を触れないこと

感電したり、破損部でケガをする原因となります。



すぐに修理依頼を

電池、電源を抜いて、ニコンサービス機関に修理を依頼してください。



電池を取る

熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常時は、すみやかに電池を取り出すこと

そのまま使用すると火災、やけどの原因となります。



すぐに修理依頼を

電池を取り出す際、やけどに充分注意してください。
電池を抜いて、ニコンサービス機関に修理を依頼してください。



水かけ禁止

水につけたり、水をかけたり、雨にぬらさない

感電や発火などの事故や故障の原因になります。



使用禁止

引火・爆発のおそれのある場所では使わない

プロパンガス、ガソリン、可燃性スプレーなどの引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると、爆発や火災の原因になります。



使用禁止

レンズまたはカメラで直接太陽や強い光を見ないこと

失明や視力障害の原因となります。



発光禁止

車の運転者等に向けてフラッシュを発光しないこと

事故の原因となります。



発光禁止

フラッシュを人の目に近づけて発光しない

視力障害の原因になります。撮影時には、1m以上離れてください。特に乳幼児の撮影には注意してください。



保管注意

幼児の口に入る小さな付属品は、幼児の手の届くところに置かない

幼児の飲み込みの原因となります。

万一飲み込んだときは直ちに医師にご相談ください。



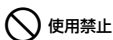
警告

ストラップが首に巻き付かないようにする

特に幼児・児童の首にストラップをかけない

首に巻き付くと窒息の原因になります。

警告 (カメラとレンズについて)



ACアダプター使用時に雷が鳴り出したら、電源プラグに触れないこと

感電の原因となります。

雷が鳴り止むまで機器から離れてください。



指定の電源（電池、ACアダプター）を使う

指定以外のものを使うと、事故や故障の原因になります。

注意 (カメラとレンズについて)



ぬれた手でさわらない

感電の原因になることがあります。



カメラの電源がONの状態、長時間直接触れないこと

使用中に温度が高くなる部分があり、低温やけどの原因になることがあります。



製品は幼児の手の届くところに置かない

ケガの原因になることがあります。



逆光撮影では、太陽を画角から十分にすらすこと

太陽光がカメラ内部で焦点を結び、火災の原因になることがあります。画角から太陽をわずかに外しても火災の原因になることがあります。



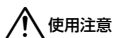
使用しないときは、レンズにキャップを付けるか、太陽光のあたらない所に保管すること

太陽光が焦点を結び、火災の原因になることがあります。



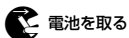
三脚にカメラやレンズを取り付けたまま移動しないこと

転倒したりぶつけたりして、ケガの原因となることがあります。



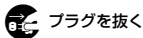
航空機内での使用については、航空会社の指示に従う

病院内での使用については、病院の指示に従う



長期間使用しないときは電源（電池やACアダプター）を外すこと

電池の液もれにより、火災、ケガや周囲を汚損する原因となることがあります。



ACアダプターをご使用の際には、ACアダプターを取り外し、その後電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

注意 (カメラとレンズについて)



発光禁止

内蔵フラッシュの発光窓を人体やものに密着させて発光させないこと

やけどや発火の原因になることがあります。



禁止

布団でおおったり、つつんだりして使用しないこと

熱がこもりケースが変形し、火災の原因になることがあります。



放置禁止

窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しない

故障や火災の原因になることがあります。



使用注意

レンズの可動部には触れない

ケガの原因になります。

危険 (専用リチウムイオン充電池について)



禁止

電池を火に入れたり、加熱しないこと

液もれ、発熱、破裂、発火の原因になります。



分解禁止

電池を分解しない

液もれ、発熱、破裂、発火の原因になります。



危険

電池、または電池を入れたカメラに強い衝撃を与えたり、投げたりしないこと

液もれ、発熱、破裂、発火の原因になります。



危険

専用の充電器を使用すること

液もれ、発熱、破裂、発火の原因になります。



危険

ネックレス、ヘアピンなど金属製のものと一緒に運んだり、保管したりしない

ショートして液もれ、発熱、破裂、発火の原因になりますので、端子カバーを付けて絶縁してください。



使用禁止

Li-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL24に対応していない機器には使用しないこと

液もれ、発熱、破裂、発火の原因になります。

Li-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL24は、Nikon 1 J5に対応しています。



危険

電池からもれた液が目に入ったときはすぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けること

そのままにしておくと、目に傷害を与える原因となります。

警告 (専用リチウムイオン充電機について)



保管注意

電池は幼児の手の届くところに置かない
幼児の飲み込みの原因となります。
万一飲み込んだ場合は直ちに医師にご相談ください。



水かけ禁止

水につけたり、ぬらさないこと
液もれ、発熱の原因となります。



警告

変色・変形、そのほか今までと異なることに気づいたときは、使用しないこと
液もれ、発熱、破裂、発火の原因になります。



警告

充電の際に所定の充電時間を超えても充電が完了しないときは、充電をやめること
液もれ、発熱、破裂、発火の原因になります。



警告

電池をリサイクルするときや、やむなく廃棄するときはビニールテープなどで接点部を絶縁すること
他の金属と接触すると、発熱、破裂、発火の原因となります。
ニコンサービス機関やリサイクル協力店にご持参くださるか、お住まいの自治体の規則に従って廃棄してください。



警告

電池からもれた液が皮膚や衣服に付いたときはすぐにきれいな水で洗うこと
そのままにしておくと、皮膚がかぶれたりする原因となります。

注意 (専用リチウムイオン充電機について)



使用注意

充電中の電池に長時間直接触れないこと
充電中に温度が高くなる部分があり、低温やけどの原因になることがあります。



警告 (チャージャーについて)



分解禁止

分解したり修理や改造をしないこと
感電したり、異常動作をしてケガの原因となります。



接触禁止

落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に手を触れないこと
感電したり、破損部でケガをする原因となります。



すぐに修理依頼

チャージャーをコンセントから抜いて、ニコンサービス機関に修理を依頼してください。

警告 (チャージャーについて)



プラグを抜く



すぐに修理依頼を

熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常時は、速やかにチャージャーをコンセントから抜くこと

そのまま使用すると火災、やけどの原因となります。

チャージャーをコンセントから抜く際、やけどに充分注意してください。ニコンサービス機関に修理を依頼してください。



水かけ禁止

水につけたり、水をかけたり、雨にぬらさない
感電や発火などの事故や故障の原因になります。



使用禁止

引火・爆発のおそれのある場所では使わない

プロパンガス、ガソリン、可燃性スプレーなどの引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると、爆発や火災の原因になります。



警告

電源プラグの金属部やその周辺にほこりが付着している場合は、乾いた布で拭き取ること

そのまま使用すると火災の原因になります。



使用禁止

雷が鳴り出したらチャージャーに触れないこと

感電の原因となります。

雷が鳴り止むまで機器から離れてください。



感電注意

ぬれた手でチャージャーをコンセントから抜き差ししないこと

感電の原因になることがあります。



禁止

チャージャーを海外旅行者用電子式変圧器（トラベルコンバーター）やDC/ACインバーターなどの電源に接続して使わないこと

発熱、故障、火災の原因となります。

注意 (チャージャーについて)



感電注意

ぬれた手でさわらない

感電の原因になることがあります。



使用注意

通電中のチャージャーに長時間直接触れないこと

通電中に温度が高くなる部分があり、低温やけどの原因になることがあります。



放置注意

製品は幼児の手の届くところに置かない

ケガの原因になることがあります。

注意 (チャージャーについて)



布団でおおったり、つつんだりして使用しないこと
熱がこもりケースが変形し、火災の原因になることがあります。

ご確認ください

保証書について

この製品には「保証書」が付いていますのでご確認ください。「保証書」は、お買い上げの際、ご購入店からお客様へ直接お渡しすることになっています。必ず「ご購入年月日」「ご購入店」が記入された保証書をお受け取りください。「保証書」をお受け取りにならないと、ご購入1年以内の保証修理が受けられないこととなります。お受け取りにならなかった場合は、ただちに購入店にご請求ください。

カスタマー登録

下記のホームページからカスタマー登録ができます。

<https://reg.nikon-image.com/>

付属の「登録のご案内」に記載されている登録コードをご用意ください。

カスタマーサポート

下記アドレスのホームページで、サポート情報をご案内しています。

<http://www.nikon-image.com/support/>

大切な撮影の前には試し撮りを

大切な撮影（結婚式や海外旅行など）の前には、必ず試し撮りをしてカメラが正常に機能することを事前に確認してください。本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用および利益喪失等に関する損害等）についての補償はご容赦願います。

著作権についてのご注意

あなたがカメラで撮影したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権上、権利者に無断で使うことができません。なお、実演や興行、展示物の中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。また、著作権の対象となっている画像は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外は、ご利用いただけませんのでご注意ください。

使用説明書および活用ガイドについて

- 使用説明書および活用ガイドの一部または全部を無断で転載することは、固くお断りいたします。
- 仕様・性能は予告なく変更することがありますので、ご承知ください。
- 使用説明書および活用ガイドの誤りなどについての補償はご容赦ください。
- 使用説明書および活用ガイドの内容が破損などによって判読できなくなったときは、下記のホームページから使用説明書のPDFファイルをダウンロードできます。

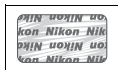
<http://downloadcenter.nikonimglib.com/>

ニコンサービス機関で新しい使用説明書を購入することもできます（有料）。

本製品を安心してお使いいただくために

本製品は、当社製のアクセサリ（レンズ、バッテリー、チャージャー、ACアダプターなど）に適合するように作られておりますので、当社製品との組み合わせでお使いください。

- Li-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL24には、ニコン純正品であることを示すホログラムシールが貼られています。
- 模倣品のバッテリーをお使いになると、カメラの十分な性能が発揮できないほか、バッテリーの異常な発熱や液もれ、破裂、発火などの原因となります。
- 他社製品や模倣品と組み合わせると、事故・故障などが起こる可能性があります。その場合、当社の保証の対象外となりますのでご注意ください。



カメラやメモリーカードを譲渡/廃棄するときの注意

メモリーカード内のデータはカメラやパソコンで初期化または削除しただけでは、完全には削除されません。譲渡/廃棄した後に市販のデータ修復ソフトなどを使ってデータが復元され、重要なデータが流出してしまう可能性があります。メモリーカード内のデータはお客様の責任において管理してください。

メモリーカードを譲渡/廃棄する際は、市販のデータ削除専用ソフトなどを使ってデータを完全に削除するか、初期化後にメモリーカードが真っ白になるまで、空や地面などの画像で置き換えることをおすすめします。メモリーカードを物理的に破壊して廃棄する場合は、周囲の状況やケガなどに充分ご注意ください。

- Wi-Fi接続設定は、Wi-Fiメニュー [接続設定] → [接続設定のリセット] で工場出荷時の設定にリセットしてください（□112）

電波障害自主規制について

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としています。この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
使用説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

AVC Patent Portfolio Licenseに関するお知らせ

本製品は、お客様が個人使用かつ非営利目的で次の行為を行うために使用される場合に限り、AVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされているものです。

- (i) AVC規格に従い動画をエンコードすること（以下、エンコードしたものをAVCビデオといいます）
- (ii) 個人利用かつ非営利目的の消費者によりエンコードされたAVCビデオ、またはAVCビデオを供給することについてライセンスを受けている供給者から入手したAVCビデオをデコードすること

上記以外の使用については、黙示のライセンスを含め、いかなるライセンスも許諾されていません。

詳細情報につきましては、MPEG LA, LLCから取得することができます。

<http://www.mpegla.com> をご参照ください。

カメラが熱くなったときは

- カメラボディ表面が熱くなることがありますが故障ではありません。
- 次のような場合は、高温によるカメラへの損傷を抑えるために警告メッセージが表示され、カメラの電源がOFFになります。電源をOFFにしたままカメラ内部の温度が下がるまで撮影を一時休止してください。
 - 撮影時の気温が高い場合
 - 静止画、動画撮影を長時間行った場合
 - 連写（連続撮影）を行った直後など

✓ アクセサリーについてのご注意

このカメラには、ニコン製のアクセサリーをお使いいただくことをおすすめします。他社製アクセサリーは、カメラの故障や不具合の原因となることがあります。他社製アクセサリー使用によるカメラの不具合については、保証の対象となりませんので、ご了承ください。なお、このカメラに使用できる別売アクセサリーについての最新情報は、最新のカatalogや当社のホームページなどでご確認ください（□xvii）。

✓ カメラなどの点検サービスについて

カメラは精密機械ですので、1～2年に1度は定期点検を、3～5年に1度はオーバーホールされることをおすすめします（有料）。

- 特に業務用にお使いの場合は、早めに点検整備を受けてください。
- より安心してご愛用いただけるよう、お使いのレンズなども併せて点検依頼されることをおすすめします。

Wi-Fi（無線LAN）機能について

電波に係わるご注意

- 本製品はWi-Fi（無線LAN）機能を搭載しています。国や地域によって、法律によりWi-Fi（無線LAN）機能が使用できない場合があります。ご購入された国以外での使用については、本書の裏表紙に記載のニコン カスタマーサポートセンターへお問い合わせください。

Wi-Fi（無線LAN）機能のご注意

2.4	DS4 / OF4
-----	-----------

Wi-Fi（無線LAN）機能：2.4DS4/OF4

本製品の使用周波数は2.4 GHz 帯、変調方式はDSSS、OFDM、与干渉距離は約40 mです。

- 本製品は、「電波法」に基づく技術基準適合認証を受けた無線設備を内蔵し、証明ラベルは無線設備上に表示しています。

以下の行為は法令で罰せられることがあります。

- 本製品の分解/改造
- 本製品から証明ラベルをはがす
- 本製品の使用周波数帯は、以下の機器や無線設備と同じです。
 - 電子レンジなどの産業・科学・医療用機器
 - 工場の製造ライン等の移動体識別用の
 - ① 構内無線局（免許を要する無線局）
 - ② 特定小電力無線局（免許を要しない無線局）
 - アマチュア無線局（免許を要する無線局）

これらの無線設備の近くでは、電波干渉で通信速度の低下、通信距離の短縮、通信の途絶が双方に生じることがあります。

- 本製品で電波干渉を起こさないよう、以下にご注意ください。
 - 使用周波数帯が同じ無線設備が近くにないか、事前に確認する
 - 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に電波干渉を生じたら、Wi-Fiアクセスポイントのチャンネル番号を変更して使用周波数を変える
- その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、本書の裏表紙に記載されているニコンカスタマーサポートセンターへお問い合わせください。
- データの送受信は、第三者に傍受される危険性にご留意ください。
データ送受信による情報漏洩には、当社は一切の責任を負いません。
- 本製品は、電子レンジなどの電気製品、AV機器、OA機器などの電磁波や磁気の発生源の周辺で使わないでください。
 - 雑音が増大したり、通信が途絶したりします。
 - AV機器、OA機器などの受信障害の原因になります。

本製品の使用上のご注意

本製品は、Wi-Fi（無線LAN）機器としてお使いください。

Wi-Fi機器以外としての使用による損害は、当社では一切の責任を負いません。

- 医療機器や人命に直接的または間接的に係わるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使わないでください。
- Wi-Fi機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途では、使用システムの安全設計や故障に対する適切な処置をしてください。

セキュリティについて

- 本製品は電波を利用して情報を交換するため、電波の届く範囲で自由に無線接続が可能であるという利点がありますが、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。
 - 情報の漏洩：悪意ある第三者が電波を故意に傍受し、ID やパスワードなどの個人情報情報が漏洩する可能性があります。
 - 不正アクセス：悪意ある第三者が無断でネットワークにアクセスして、なりすまし、情報の改ざんなどの行為を行う可能性があります。また、本製品にセキュリティを設定したにもかかわらず、無線LAN の仕様上、特殊な方法によりセキュリティが破られることもありますので、ご理解の上ご使用ください。
- セキュリティ設定は、Wi-Fiメニュー **〔接続設定〕** → **〔認証/暗号〕** で行えます（□110）。
- 液晶モニターやスマートデバイスに使用権限のないネットワークが表示されても、接続しようとししないでください。接続しようとする、不正アクセスとみなされる恐れがあります。使用権限のあるネットワークだけをお使いください。

本製品の輸出、持ち出しに係わるご注意

本製品は、米国輸出規制（EAR）を含む米国法の対象であり、米国政府指定の輸出規制国（キューバ、イラン、北朝鮮、スーダン、シリア）への輸出や持ち出しには、米国政府の許可が必要になりますので、ご注意ください。なお、輸出規制国は変更されている可能性がありますので、詳しくは米国商務省へお問い合わせください。

個人情報の管理および免責事項

- 使用者によって本製品内に登録または設定された、Wi-Fi（無線LAN）接続設定等の個人情報を含む情報は、誤操作、静電気の影響、事故、故障、修理、その他の取り扱いで変化、消失する場合があります。

必要な内容は、お客さまの責任において控えを必ずおとりください。

当社の責によらない内容の変化、消失、それらに起因する直接または間接の損害および逸失利益には、当社は一切の責任を負いません。

- 本製品を譲渡/ 廃棄するときは、使用者によって本製品内に登録または設定された、Wi-Fi接続設定等の個人情報を含む内容を、Wi-Fiメニュー **[接続設定]** → **[接続設定のリセット]** で工場出荷時の設定にリセットしてください（□112）。
- 本製品の盗難や紛失などで、第三者による不正使用の被害が発生しても、当社は一切の責任を負いません。



はじめに

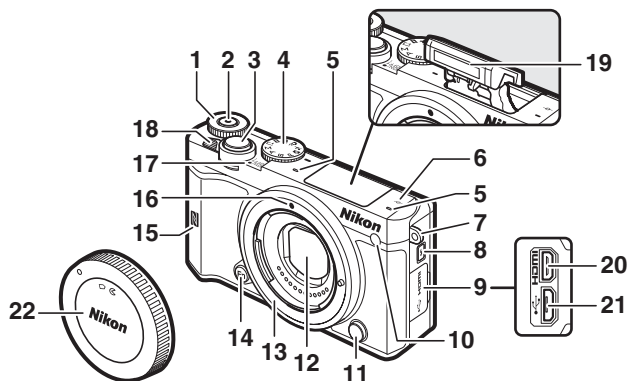
お使いになる前に

お使いになる前に、使用説明書を参照してカメラと付属品が全てそろっていることを確認してください。万一、不足のものがありましたら、ご購入店にご連絡ください。

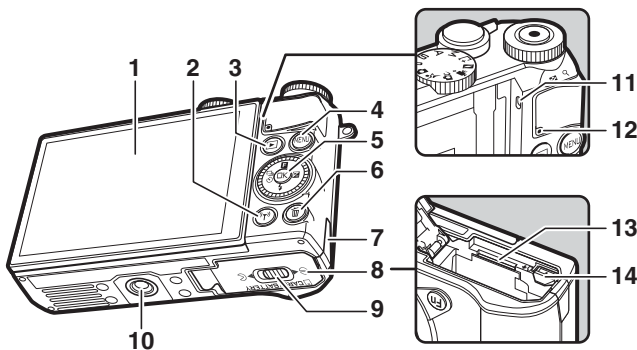


各部の名称と機能

カメラ本体



1	コマンドダイヤル 64、65、67、69、185	11	レンズ取り外しボタン 27
2	動画撮影ボタン 39、50、53	12	ダストシールド 208、210
3	シャッターボタン 32、41、74、79、81、86	13	レンズマウント 26、186
4	撮影モードダイヤル 6	14	Fn (ファンクション) ボタン ... 13
5	マイク 177	15	Nマーク (NFCアンテナ部) 114
6	☉ 距離基準マーク 186	16	レンズ着脱指標 26
7	ストラップ取り付け部 (吊り金具) 22	17	電源ランプ 28
8	フラッシュポップアップボタン 101	18	電源スイッチ 28
9	端子カバー	19	内蔵フラッシュ 99
10	AF補助光 190	20	HDMI端子 140
	セルフタイマーランプ 97	21	USB端子 137、142
	赤目軽減ランプ 100、102	22	ボディーキャップ 204

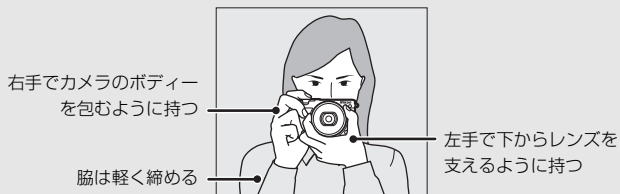


1	チルト式液晶モニター4、120、196	7	パワーコネクターカバー 206
2	Wi-Fiボタン 113、116	8	バッテリー/メモリーカード カバー 23、24、206
3	再生ボタン..... 34、83、90	9	バッテリー/メモリーカードカ バー開閉ノブ 23、24、206
4	MENU メニューボタン 9	10	三脚ネジ穴※
5	ロータリーマルチセクター... 8	11	スピーカー
	OKボタン 8	12	メモリーカードアクセス ランプ 24、33
	F (フィーチャー)..... 11	13	メモリーカードスロット 23
	露出補正) 98	14	バッテリーロックレバー 23、24、206
	フラッシュモード)..... 99		
	連写/セルフタイマー) 71、94、96		
6	削除ボタン 35、129		

※このカメラでは三脚アダプター TA-N100は使用できません。

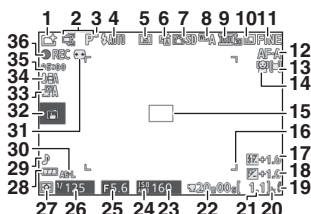
カメラの構え方

下図のようにしっかりと構えてください。



液晶モニター表示

説明のため、全ての表示を点灯させています。

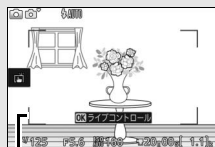


1	撮影モード	6	19	レディーライト	103
2	ライブコントロール	91	20	1000コマ以上補助表示	30
	クリエイティブモード	55	21	記録可能コマ数	30
	ベストモーメントキャプチャー			連続撮影可能コマ数	72、95
	モード	73、78、80		ホワイトバランスプリセット	
	アドバンスド動画モード	46		マニュアルデータ取得モード	
	露出モード	157		表示	166
3	プログラムシフトマーク	64		カードなしマーク	196、226
4	フラッシュモード	100、102	22	録画可能残り時間	39
5	セルフタイマー	96	23	ISO感度	169
	連写モード*	71、94	24	ISO感度マーク	169
6	アクティブD-ライティング*			ISO-AUTOマーク	169
		175	25	絞り値	66、67
7	Picture Control *	170	26	シャッタースピード	65、67
8	ホワイトバランス *	163	27	測光モード	162
9	サイズ/フレームレート*	161	28	バッテリー残量表示 *	30
10	画像サイズ*	159	29	音の設定 *	198
11	画質モード*	158	30	AE-L マーク	194
12	フォーカスモード*	183	31	自動ゆがみ補正	174
13	AFエリアモード*	187	32	タッチ撮影機能	107
14	顔認識 *	36、189	33	動画中おまかせスナップ	178
15	AFエリア	32、187、188	34	マイク感度 *	177
16	AFエリアフレーム *	183	35	録画中経過時間	39
17	フラッシュ調光補正量	192	36	録画中マーク	39
18	露出補正值	98			

※セットアップメニュー [モニター表示] の [撮影画面の設定] を [詳細表示] にしたときのみ表示されます (□197)。

🔍 撮影画面に表示される枠について

撮影画面に表示される枠は、動画を撮影するときに記録される範囲を表しています。動画電子手ブレ補正 (📖182) が **[する]** のときに表示されます。

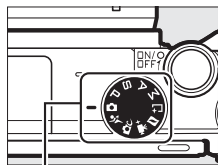


記録される範囲



撮影モードダイヤル

撮影モードダイヤルを回すと、次の各モードに切り換えられます。



撮影モードダイヤル

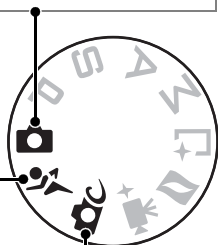


オートモード (📷31)

カメラまかせで静止画や動画を撮影できます。カメラが撮影シーンや被写体を自動的に判別し、最適な設定で撮影します。

スポーツモード (📷71)

シャッターボタンを押している間、連続撮影ができます。運動会などスポーツ写真の撮影に向いています。



クリエイティブモード (📷55)

特殊な効果を付けて撮影したり、シーンに合わせて撮影したりできます。

POP ポップ	📷かんたんパノラマ	📷美肌効果
RETRO レトロ	📷ミニチュア効果	📷夜景
📷硬調モノクローム	📷セレクトカラー	📷夜景ポートレート
SEPIA ノスタルジック セピア	📷クロスプロセス	📷風景
HDR HDR	📷トイカメラ風	📷クローズアップ
📷ソフト	📷クロススクリーン	📷ポートレート
	📷魚眼効果	

P、S、A、Mモード (㊦64)

シャッタースピードや絞り値などを自分で設定して、より本格的な静止画を撮影できます。

P：プログラムオート (㊦64)

A：絞り優先オート (㊦66)

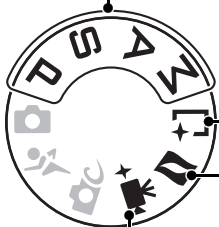
S：シャッター優先オート (㊦65)

M：マニュアル (㊦67)

㊦ベストモーメントキャプチャー モード (㊦73)



一時的に記録した20コマの静止画から画像を選ぶ「お気に入りフォト選択」、動きがゆっくりとなった表示を見ながらベストショットを撮影できる「スロービュー」、または動きや構図が最適な画像をカメラが自動で選ぶ「スマートフォトセレクト」を選んで撮影できます。



㊦モーションスナップショット モード (㊦85)

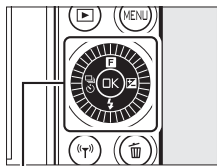
シャッターをきると、静止画と約1.6秒間の動画を撮影します（モーションスナップショット）。撮影したモーションスナップショット画像を再生すると、始めに動画がスローモーションで約4秒間再生され、続いて静止画が表示されます。

㊦+アドバンスト動画モード (㊦46)

露出モードを設定してシャッタースピードや絞り値を変更したり、スローモーションや早送り動画などの特殊な効果を付けた動画を撮影したりできます。

ロータリーマルチセクター

撮影時やメニュー画面表示中に設定を変えたいときは、ロータリーマルチセクターとOKボタンを使います。



ロータリー
マルチセクター

撮影時 (F)

F (フィーチャー) メニューが表示されます。撮影や再生に関する設定を変えられます (□11)。

メニュー操作時 (⬅)

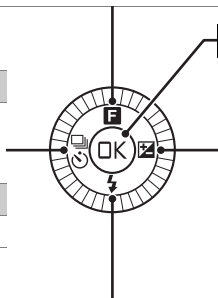
上の項目を選ぶ

撮影時 (📷)

連写とセルフタイマーのメニューを表示 (□71、94、96)

メニュー操作時 (⬅)

前の画面に戻る



選択を決定

撮影時 (㊄)

露出補正のメニューを表示 (□98)

メニュー操作時 (➡)

次の画面に進む (選択を決定)

撮影時 (⚡)

フラッシュモードのメニューを表示 (□99、101)

メニュー操作時 (⬇)

下の項目を選ぶ

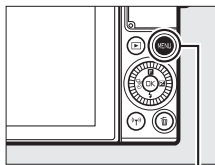
ロータリーマルチセクターを回す

ロータリーマルチセクターを回して項目を選ぶこともできます。



MENUメニューボタン

MENUボタンを押すと、次の画面が表示され、メニュー項目の設定ができます。



MENUボタン



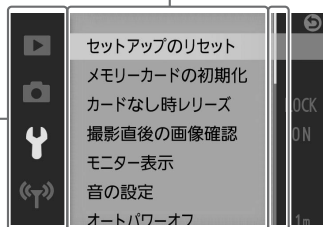
メニュー切り換えアイコン

画面左端のアイコンを選んで、メニューを切り換えます。

	再生メニュー (146)
	撮影メニュー (154)
	セットアップメニュー (193)
	Wi-Fiメニュー (109)

メニュー項目

メニュー内にある設定項目を一覧表示します。



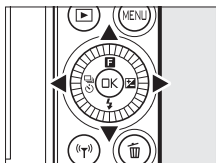
項目がそのメニュー全体のどの位置にあるかを示しています。

メニューについて

- 撮影モードやカメラの状態によって、表示されるメニュー項目は異なります。
- 撮影モードやカメラの状態によって、設定できないメニュー項目があります。この場合、その項目はグレーで表示されて選べません。
- メニュー画面から撮影に戻るには、シャッターボタンを半押し (32) してください。

■メニュー画面の操作方法

再生、撮影、セットアップ、Wi-Fiの各メニュー画面は、ロータリーマルチセクター（図8）で操作します。



1 ロータリーマルチセクターの（図8）でアイコンを選び、（図9）を押す

- メニュー内にある項目が一覧表示されます。



2 （図8）で設定したい項目を選び、（図9）を押す

- 選んだ項目の設定内容が一覧表示されます。

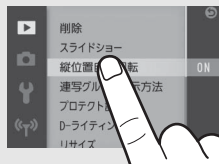


3 （図8）で設定したい項目を選び、（図10）ボタンを押す

- 選んだ内容が決定されます。

■メニュー画面のタッチ操作について

メニュー画面でアイコンやメニュー項目をタッチすると、項目を選んだり設定を変更したりできます。上下にスライドすると、メニュー画面をスクロールできます（図20）。



F (フィーチャー) メニュー

撮影画面または再生画面でロータリーマルチセクターの **F** (フィーチャー) を押すと、**F** メニューが表示されます。撮影時の設定を変更したり、再生に関する機能を使用したりできます。



撮影時の**F**メニュー



再生時の**F**メニュー

1 ロータリーマルチセクターの ⬆️⬇️⬅️⬆️で設定したい項目を選び、 ⓄK ボタンを押す

- 選んだ項目の設定内容が一覧表示されます。
- **F**メニューを閉じるには、シャッターボタンを半押し (□32) するか、**x** を選んでⓄK ボタンを押してください。

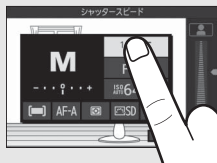


2 設定したい項目や数値を選び、ⓄK ボタンを押す

- 選んだ内容が決定されます。

Fメニュー画面のタッチ操作について

設定したい項目をタッチしても設定を変更できます。



Fメニューについて

- カメラの設定や、再生している画像の種類によって表示される項目は異なります。
- 設定できない項目はグレーで表示されます。
- オートモードまたはスポーツモードの場合は、**F**を押しても**F**メニューは表示されません。

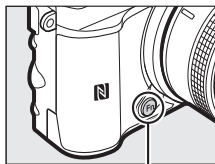


Fn（ファンクション）ボタン

撮影画面で**Fn**ボタンを押すと、割り当てた機能を素早く呼び出せます。

- 割り当てる機能を変更するには、セットアップメニュー（□193）の**〔Fnボタンの機能〕**で次の中から機能を選び、**OK** ボタンを押します。

- 露出補正（□98）
- 測光モード（□162）
- ホワイトバランス（□163）
- ISO感度設定（□169）
- Picture Control（□170）
- AFエリアモード（□187）
- フォーカスモード（□183）



Fn ボタン

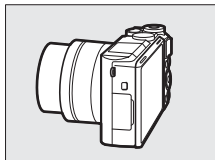


チルト式液晶モニター

このカメラの液晶モニターは、角度を変えて使えます。

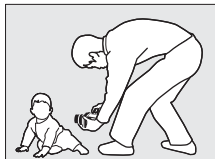
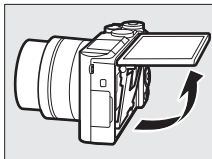
通常の撮影

通常の撮影では、モニター画面を収納している状態でお使いください。

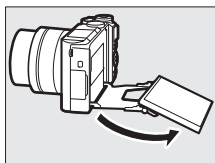
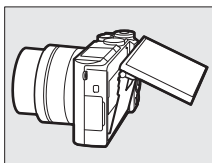


ローアングル撮影

モニター画面を上に向けると、カメラを低い位置に構えて撮影できます。

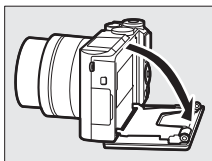


- ローアングル撮影の場合、さらに液晶モニターを下げることもできます。



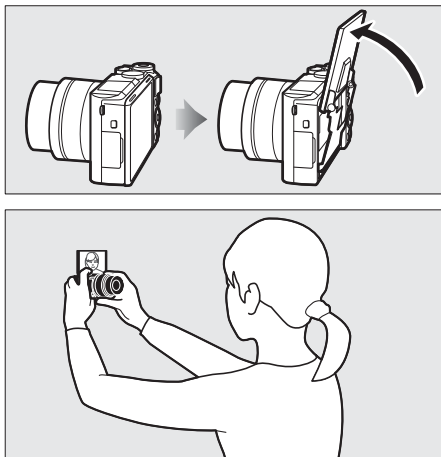
ハイアングル撮影

モニター画面を下に向けると、カメラを高い位置に構えて撮影できます。



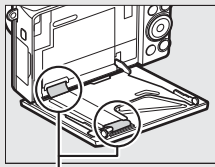
自分撮り (105)

液晶モニターを自分撮りのポジションにセットすると自分撮りモードに切り替わります。



✓ チルト式液晶モニター取り扱い上のご注意

- 液晶モニターの角度を変える場合は、可動範囲内でゆっくりと動かしてください。無理な力がかかると、カメラ本体や液晶モニターの破損の原因となります。
- 液晶モニターの内側には触れないでください。故障の原因となります。
- 三脚使用時には、液晶モニターが三脚に接触しないように注意しながら角度を変えてください。



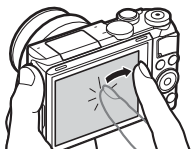
特にこの部分には触れないでください。

タッチパネルを使う

このカメラの液晶モニターはタッチパネルになっており、指で画面に触れて操作できます。操作方法は次の通りです。

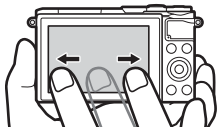
タッチ

タッチパネルに触れて離す操作です。



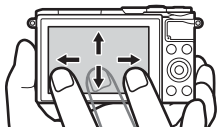
フリック

タッチパネルを指で上下左右に払う操作です。



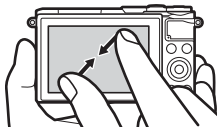
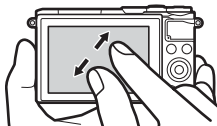
スライド

タッチパネルに触れたまま指を上下左右に動かす操作です。



広げる/つまむ

タッチパネルに2本の指に触れたまま、指の間隔を広げたり、つまむように狭めたりする操作です。



✔ タッチパネルについてのご注意

- このカメラのタッチパネルは静電式です。爪でタッチしたり、手袋などをはめたままタッチしたりすると反応しないことがあります。
- 先のとがった硬い物で押さないでください。
- タッチパネルを必要以上に強く押したり、こすったりしないでください。
- 市販の保護フィルムを貼ると反応しないことがあります。

✔ タッチパネル操作時のご注意

- タッチパネルに指が触れたまま、別の指でタッチすると、適切に動作しないことがあります。
- スライド/広げる/つまむ操作時に以下の操作をすると、適切に動作しないことがあります。
 - タッチパネルをはじく
 - 指を動かす距離が短すぎる
 - タッチパネルを軽くなでるように指を動かす
 - 指を動かす速度が速すぎる
 - 広げるとき/つまむときに、2本の指のタイミングの差が大きい

✍ タッチ操作の有効/無効について

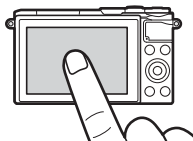
セットアップメニュー [タッチ操作] (□194) で、タッチ操作の有効/無効を切り換えられます。



■ 撮影画面で使う

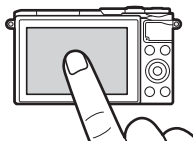
撮影画面では次の操作ができます。

シャッター
をきる
(タッチ
撮影機能)



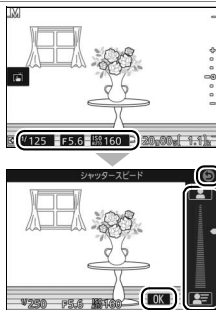
タッチした位置にピントを合わせてシャッターがきれます（オートモード、クリエイティブモード、**P**、**S**、**A**、**M**モード、または自分撮りモードの場合）。

ピントを
合わせる
(タッチ
撮影機能)



タッチした位置でピント合わせを行います（アドバンスド動画モードの場合）。

設定を変更
する

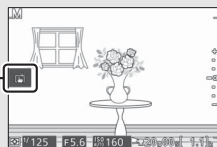


枠が表示されたアイコンにタッチすると、設定を変更できます。

- アイコンやスライダーにタッチして項目や数値を選びます。
- **OK** にタッチすると決定して撮影画面に戻ります。
- **⏮** にタッチすると、設定を変更せずに前の画面に戻ります。
- カメラの設定によって、表示されるアイコンは異なります。

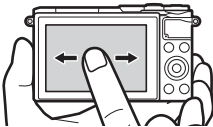
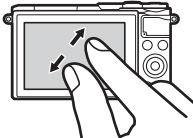
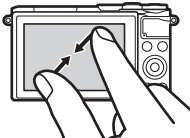
■ タッチ撮影機能の切り換えについて

撮影画面で右図のアイコンにタッチすると、画面にタッチしたときの機能を切り換えられます（□107）。



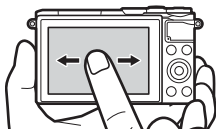
再生画面で使う

▶ボタンを押すと画像の再生画面 (34) に切り替わり、次の操作ができます。

前後の画像 を表示する		左右にフリックすると、前後の画像を表示します。
動画または パノラマ 画像を再生 する	 操作ガイド	▶が表示されている画像またはパノラマ画像で、操作ガイドにタッチすると再生します。 再生中に画面をタッチすると一時停止します。もう一度タッチすると再生を再開します。
拡大表示 する		広げる操作をするか、画像を素早く2回タッチすると拡大表示 (126) します。 - さらに広げる操作をすると、拡大率が上がります。 - つまむ操作をすると、拡大率が下がります。 - 画面をスライドすると表示範囲を移動します。 - 画面に素早く2回タッチすると、拡大表示を解除します。
サムネイル 表示する		つまむ操作をすると、サムネイル表示 (124) します。 広げる/つまむ操作をすると、表示コマ数 (4コマ/9コマ/16コマ) が切り替わります。



表示月を
切り換える



カレンダー表示時 (□125) に左右にフリックすると、表示月を切り換えます。

操作ガイド
で操作する

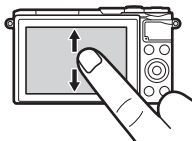


画面に表示された操作ガイドにタッチして操作できます。

■ メニュー画面で使う

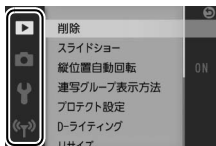
MENUボタンを押すとメニュー画面 (□9) に切り替わり、次の操作ができます。

メニューを
スクロール
する



上下にスライドすると、メニュー画面をスクロールします。

メニューを
切り換える



画面左端のアイコンにタッチすると、選んだアイコンのメニュー画面が表示されます。

項目を選ぶ/
設定する



メニュー項目にタッチして選択します。

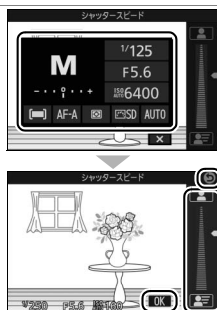
- アイコンやスライドバーにタッチして項目や数値を選びます。
-  にタッチすると、設定を変更せずに前の画面に戻ります。



■ Fメニュー画面で使う

ロータリーマルチセレクトの **F** (フィーチャー) を押すと **F** メニュー (11) が表示され、次の操作ができます。

項目を選ぶ/
設定する



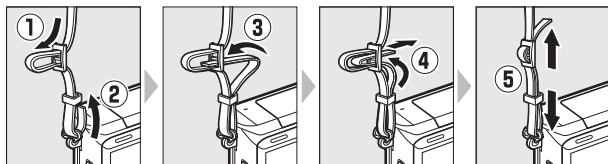
メニュー項目にタッチすると、設定画面が表示されます。

- アイコンやスライドバーにタッチして項目や数値を選びます。
- **OK** にタッチすると決定して **F** メニューを閉じます。
-  にタッチすると、設定を変更せずに前の画面に戻ります。

撮影前の準備

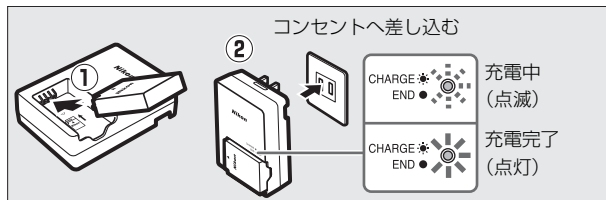
ストラップを取り付ける

次のようにストラップをカメラに取り付けます（2カ所）。



バッテリーを充電する

付属のLi-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL24は、お使いになる前に付属のチャージャー MH-31で次のようにフル充電してください。充電には約2時間30分かかります（残量の少ないバッテリーの場合）。

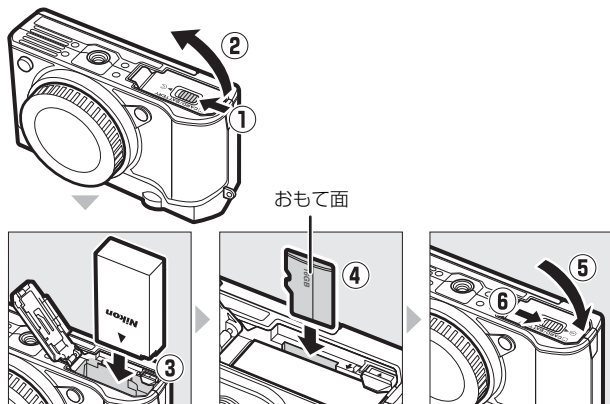


充電が完了したら、チャージャーをコンセントから抜き、バッテリーを取り外します。

カメラにバッテリーとメモリーカードを入れる

バッテリーとメモリーカードを入れる向きに注意してください。

- このカメラは microSD メモリーカード、microSDHC メモリーカード または microSDXC メモリーカードを使用できます。

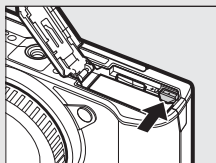


- オレンジ色のバッテリーロックレバーをバッテリー側面で押しながら、バッテリーを奥まで差し込むと、オレンジ色のバッテリーロックレバーで固定されます (③)。
- メモリーカードはカチッと音がするまで挿入してください (④)。
- メモリーカードを斜めに差し込まないでください。破損や故障の原因となります。



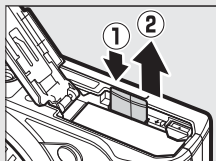
バッテリーを取り出すときは

電源をOFFにしてから、バッテリー/メモリーカードカバーを開けてください。オレンジ色のバッテリーロックレバーを矢印の方向に押すと、バッテリーが少し飛び出しますので、引き抜いて取り出してください。



メモリーカードを出し入れするときは

- 電源をOFFにしてからメモリーカードアクセスランプ (□3) の消灯を確認し、バッテリー/メモリーカードカバーを開けてください。
- メモリーカードを取り出すときは、カードを奥に押し込むと (①)、カードが押し出されるので、引き抜いて取り出してください (②)。メモリーカードが勢いよく飛び出すことがあるため、充分ご注意ください。



バッテリーとチャージャーの使用上のご注意

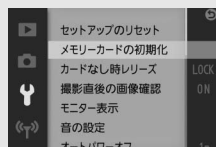
- お使いになる前に、必ず「安全上のご注意」(□x~xvi)、「カメラとバッテリーの取り扱い上のご注意」(□209~213)をお読みになり、記載事項をお守りください。
- チャージャー MH-31 対応のバッテリー以外は充電しないでください。
- チャージャーの「CHARGE」ランプが速く点滅する場合は、バッテリーの異常です。ただちにチャージャーをコンセントから抜いて、充電を中止してください。販売店または二コンサービス機関にチャージャーおよびバッテリーをお持ちください。
- 充電中にチャージャーをゆすったり、充電中のバッテリーに触れたりすると、振動や静電気の影響により、きわめてまれではありますが、未充電にもかかわらず充電完了表示になる場合があります。このような場合にはバッテリーを取り外し、再度セットして充電を再開してください。
- チャージャーを使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- チャージャーの端子をショートさせないでください。発熱、破損の原因となります。
- カメラの使用後は、バッテリーが熱くなっていることがあります。取り出しの際はご注意ください。

✓ メモリーカード取り扱い上のご注意

- カメラの使用後は、メモリーカードが熱くなっていることがあります。取り出しの際はご注意ください。
- メモリーカードの初期化中や画像の記録または削除中、パソコンとの通信時には、次の操作をしないでください。記録されているデータの破損やメモリーカードの故障の原因となります。
 - メモリーカードの着脱をしないでください
 - カメラの電源をOFFにしないでください
 - バッテリーを取り出さないでください
 - ACアダプターを抜かないでください
- 端子部に手や金属で触れないでください。
- 無理な力を加えないでください。破損のおそれがあります。
- 曲げたり、落したり、衝撃を与えたりしないでください。
- 熱、水分、直射日光を避けてください。
- パソコンで初期化しないでください。

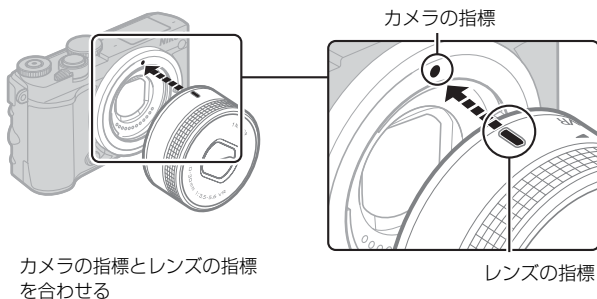
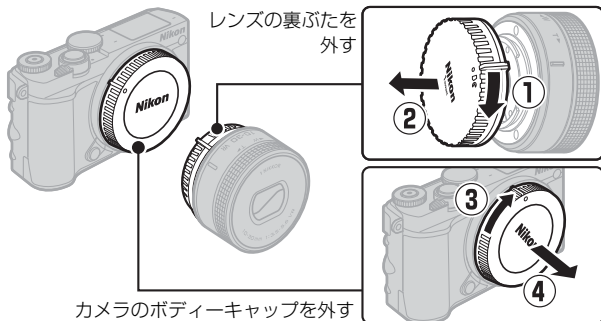
🔧 メモリーカードの初期化（フォーマット）

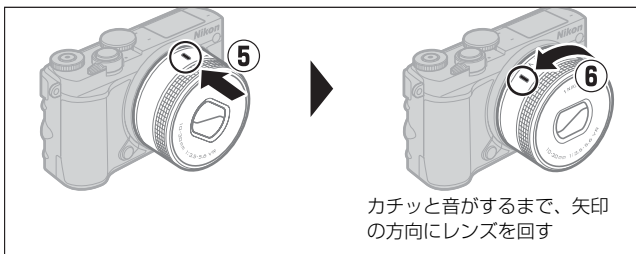
このカメラに初めて入れるメモリーカードや、他のカメラやパソコンで初期化されたメモリーカードは、セットアップメニュー「**メモリーカードの初期化**」で、画面の指示に従って初期化してください（□195）。**メモリーカードを初期化すると、カード内のデータは全て削除されます。**必要なデータがある場合は、初期化する前にパソコンなどに保存してください（□137）。



レンズを取り付ける

ほこりなどがカメラ内部に入らないように注意してください。





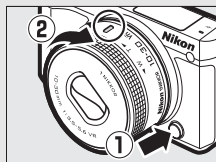
- この活用ガイドでは、主に1 NIKKOR VR 10-30mm f/3.5-5.6 PD-ZOOMのレンズを使用して、説明しています。
- レンズの手ブレ補正機能（VR）については、□181をご覧ください。



🔧 レンズを取り外すには

レンズを取り外す前にレンズを収納してください。カメラの電源をOFFにしてから、カメラ前面のレンズ取り外しボタンを押しながら①、レンズを矢印の方向にいっぱいまで回し②、引き抜きます。

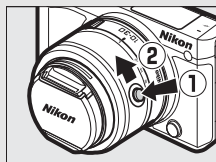
- レンズを取り外した後は、カメラのボディキャップとレンズの裏ぶたをそれぞれ取り付けてください。



✔ ズームリングボタンの付いたレンズをお使いの場合

ズームリングボタンの付いたレンズは、沈胴状態では撮影できません。

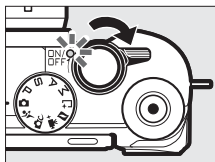
- ズームリングボタンを押しながら① ズームリングを矢印の方向に回します②。ズームリングのロックが解除され、レンズが繰り出します。
- 収納するときは、ズームリングボタンを押しながら、ズームリングを逆方向に回します。レンズが鏡筒に収まり、ズームリングがロックされます。
- レンズ着脱時は、ズームリングボタンを押さないよう、ご注意ください。



カメラの電源をONにする

電源スイッチを回すと、電源ランプ（緑色）が一瞬点灯した後、液晶モニターが点灯します。

- もう一度電源スイッチを回すと、電源がOFFになります。電源がOFFになると、液晶モニターが消灯します。



- 1 NIKKOR VR 10-30mm f/3.5-5.6 PD-ZOOM

を取り付けている場合は、カメラの電源をONにするとレンズが自動的に繰り出し、OFFにすると自動的に収納されます。

- レンズキャップのあるレンズを取り付けている場合は、撮影する前にレンズキャップを外してください。

🔋 節電機能について（オートパワーオフ）

カメラを操作しない状態が約1分間続くと、液晶モニターが自動的に消灯して待機状態になり、電源ランプが点滅します。そのまま約3分経過すると、電源が自動的にOFFになります。

- 待機状態（電源ランプが点滅）を解除するには、シャッターボタンなどを操作してください。
- 待機状態になるまでの時間は、セットアップメニュー [オートパワーオフ] (□198) で変更できます。

🔍 レンズの取り付け、取り外しをするときは

レンズの取り付け、取り外しをするときは、必ずカメラの電源をOFFにしてください。電源をOFFにすると、撮像素子を保護するために絞りが遮光状態になります。

🔍 ズームリングボタンの付いたレンズ (□27) をお使いの場合

- ズームリングのロックを解除すると、電源がONになります。
- 次の場合にズームリングをロックすると、電源がOFFになります。
 - 液晶モニターに撮影画面が表示されている場合
 - 液晶モニターが消灯し待機状態の場合（1 NIKKOR VR 10-30mm f/3.5-5.6 または 1 NIKKOR VR 30-110mm f/3.8-5.6 レンズをお使いの場合、レンズのファームウェアがVer.1.10以降である必要があります。ファームウェアのバージョンアップ方法については、当社のホームページなどでご確認ください）

日付と時刻を合わせる

ご購入後、初めて電源をONにすると、カメラの内蔵時計の日付と時刻を設定する画面が表示されます。ロータリーマルチセクターの $\odot$ $\odot$ を押して項目を選び、 $\odot$ $\odot$ で数値を変えてください。

- 日付と時刻を設定した後、 $\odot$ ボタンを押すと設定が完了し、撮影画面が表示されます。



🔧 セットアップメニュー [地域と日時]

設定した日付と時刻は、セットアップメニュー [地域と日時] (□200) の [日時の設定] で変更できます。[地域と日時] では、[日時の設定] の他に、[現在地の設定] (現在地のタイムゾーン)、[日付の表示順]、[夏時間の設定] を設定できます。

🔧 カメラの内蔵時計について

- カメラの内蔵時計は、一般的な時計（腕時計など）ほど精度は良くありません。定期的に日時設定を行うことをおすすめします。
- カメラの内蔵時計は、バッテリーとは別の時計用電池で作動します。カメラにバッテリーを入れるか、別売のパワーコネクタとACアダプターを接続すると (□206)、時計用電池が充電されます。フル充電するには約3日間かかります。充電すると、約1カ月の間時計を動かすことができます。液晶モニターに [時計がリセットされました。] と表示された場合は、内蔵時計の設定が初期化されているため、撮影日時が正しく記録されません。もう一度日時設定を行ってください。

バッテリーの残量とメモリーカードの記録可能コマ数を確認する

液晶モニターでバッテリーの残量と、メモリーカードの記録可能コマ数（これから撮影できるコマ数）を確認します。



■ バッテリー残量

液晶モニター表示	意味
表示なし	残量は充分に残っています。詳細表示（□4）の場合は、残量に応じて または が表示されます。
	残量は残りわずかです。予備のバッテリーを準備するか、バッテリーを充電してください。
撮影できません。 バッテリーを交換 してください。	バッテリーが消耗して撮影できません。バッテリーを交換するか、バッテリーを充電してください。

■ 記録可能コマ数

メモリーカードの記録可能コマ数（これから撮影できるコマ数）が、液晶モニターに表示されます。

- 記録可能コマ数が1000コマ以上あるときは「k」マークが点灯します。「k」は1000を意味しており、たとえば1260コマ撮影できるときは、「1.2k」と表示されます。
- メモリーカードの空き容量が不足しているというメッセージが表示された場合は、不要な画像を削除するか（□129）、別のメモリーカードに交換してください。

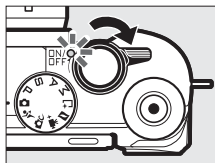
静止画を撮影する/再生する

カメラまかせで撮影する（オートモード）

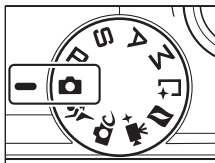
まずは、カメラまかせで静止画（写真）を撮影してみましょう。オートモードでは、カメラが撮影シーンや被写体を自動的に判別し、最適な設定で撮影します。

1 カメラの電源をONにする

- 電源スイッチを回して、カメラの電源をONにします。

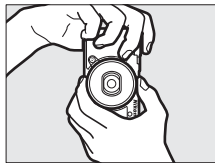
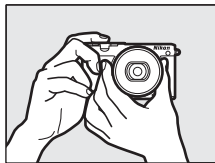


2 撮影モードダイヤルを📷に合わせる



3 カメラを両手でしっかりと構える

- レンズやAF補助光、マイクなどに、指や髪、ストラップなどがかからないようにご注意ください。
- 人物などを縦位置で撮影する場合は、カメラを縦位置に構えます。
- 暗いときは、手ブレしやすいのでフラッシュ（□99）や三脚の使用をおすすめします。

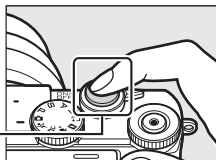


4 構図を決める

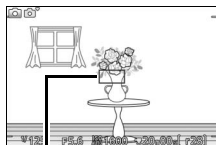
- 被写体を画面の中央付近に配置します。
- 初期設定では、カメラが人物を認識した場合、認識した顔の位置にフォーカスポイントが表示されます (□36)。



5 シャッターボタンを軽く押して (半押しして)、被写体にピントを合わせる



- ピントが合うと、ピピッという電子音が鳴り、AFエリアが緑色に点灯します (被写体が動いているときは、電子音が鳴らない場合があります)。
- AFエリアが赤く表示されたときは、オートフォーカスでのピント合わせができません (□184)。
- 暗い場所などでは、AF補助光 (□190) が光ったり内蔵フラッシュが上がる場合があります。



AFエリア

🔍 シャッターボタンの半押し

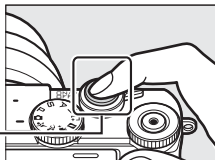
シャッターボタンは、2段階に押し込むようになっています。シャッターボタンを軽く抵抗を感じるところまで押して、そのまま指を止めることを、「シャッターボタンを半押しする」といいます。そのまま深く押し込む (これを「シャッターボタンを全押しする」といいます) と、シャッターがきれます。



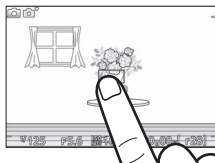
半押し

全押し

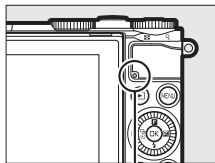
6 シャッターボタンを半押ししたまま、さらに深く押し込んで（全押しして）、撮影する



- タッチパネルをタッチしても撮影できません。タッチした位置でピント合わせを行い、シャッターがきれます。

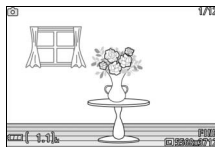


- メモリーカードアクセスランプが点灯している間は、画像を記録しています。メモリーカードやバッテリーを取り出さないでください。



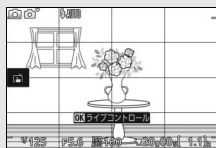
メモリーカード
アクセスランプ

- 撮影が終了すると、撮影した画像が液晶モニターに数秒間、表示されます。
- 画像の表示中でもシャッターボタンを半押しすると、すぐに次の撮影ができます。



🔍 格子線の表示

セットアップメニュー [モニター表示] の [格子線の表示] を [する] にすると、撮影時に構図用格子線を表示できます (□197)。

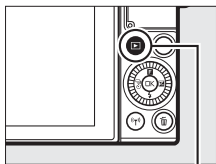


🔍 関連ページ

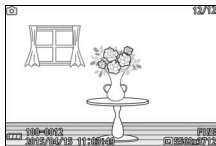
撮影時の電子音を鳴らないように設定する→👉 [音の設定] (□198)

撮影した静止画を再生する

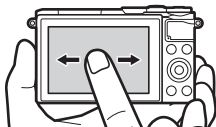
▶ ボタンを押して、画像を再生すると、最後に撮影した画像が液晶モニターに表示されます（1コマ表示モード）。



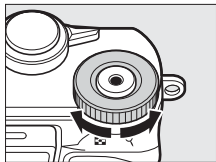
▶ ボタン



- ロータリーマルチセレクターの◀▶を押すかロータリーマルチセレクターを回すと、前後の画像を表示できます。
- タッチパネルを左右にフリックしても画像を切り換えられます（□19）。



- コマンドダイヤルを右に回すと、表示中の画像を拡大します（□126）。
- コマンドダイヤルを左に回すと、複数の画像を一覧表示します（□124）。
- タッチパネルで広げる動作をするか、つまむ操作をしても表示中の画像の拡大/縮小ができます（□19）。
- 撮影に戻るには、シャッターボタンを半押ししてください。



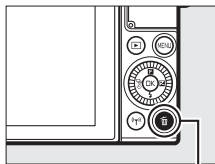
コマンドダイヤル

画像を削除する

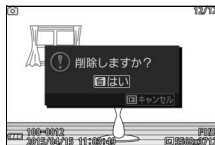
表示中の画像を削除します。削除した画像は元には戻せないご注意ください。

1 削除したい画像を表示して、 ボタンを押す

- 削除確認画面が表示されます。

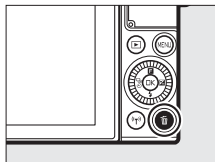


trash icon ボタン



2 もう一度 ボタンを押して、表示中の画像を削除する

- 削除をやめるには、 ボタンを押します。



🔗 画像を連続して撮影するには

全押しした後に半押しした状態まで戻して再度シャッターボタンを全押しすると、連続して撮影できます。

🔗 シーンの自動判別について

オートモードでは、カメラが撮影シーンや被写体を自動的に判別し、最適な設定で撮影します。

- 液晶モニターの左上に、カメラが選んだシーンのアイコンが表示されます。

シーンのアイコン



	ポートレート	人物を認識した場合
	風景	自然の風景や街並みを認識した場合
	夜景ポートレート	夕景や夜景をバックに人物を認識した場合
	クローズアップ	近接位置の被写体を認識した場合
	夜景	夕景や夜景を認識した場合
	オート	上記のシーンを認識しなかった場合

🔗 人物を撮影する場合のピント合わせ（顔認識）

カメラが人物の顔（正面）を認識すると、AFエリアが黄色の二重枠に変わります。複数の顔を認識した場合（最大5人まで）は、カメラが最も近いと判断した人物の顔を二重枠で表示します。

- シャッターボタンを半押しすると、二重枠で囲まれた人物の顔にピントを合わせます。
- 途中で顔が横を向くなどしてカメラが顔を見失うと、枠が消えます。

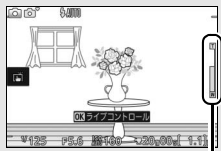


🔪 ズームレンズの使い方

被写体を大きく写したいときはズームリングを望遠側に、広い範囲を写したいときはズームリングを広角側に回してください。



- 1 NIKKOR VR 10-30mm f/3.5-5.6 PD-ZOOMをお使いの場合、動画撮影時はズームリングを速く回してもゆっくりズーミングして、動画撮影に適した動作になります。
- 1 NIKKOR VR 10-100mm f/4.5-5.6 PD-ZOOM (別売)をお使いの場合、被写体を大きく写したいときはパワードライブズームスイッチを望遠 (T) 側に、広い範囲を写したいときは広角 (W) 側にスライドさせてください。スライドさせる量に応じて、ズームの速度が変わります。ズーム位置は液晶モニターのズーム移動ガイドで確認できます。



ズーム移動ガイド

🔪 再生メニュー【削除】

再生メニューの【削除】(□129)では次の方法で、複数の画像を一度に削除できます。

- 複数の画像を選んで削除する：選択画像削除
- 全画像を一括で削除する：全画像削除

🔪 関連ページ

再生時に液晶モニターに表示される情報を切り換える → 📺【モニター表示】の【再生画面の設定】(□197)

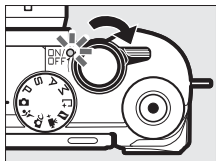


動画を撮影する/再生する

動画を撮影する

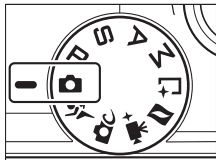
1 カメラの電源をONにする

- 電源スイッチを回して、カメラの電源をONにします。



2 撮影モードダイヤルで撮影モードを選ぶ

- 撮影モードダイヤルを右図の位置に合わせたときに動画が撮影できます。



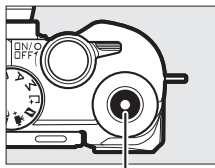
3 カメラを構えて構図を決める

- 被写体を画面の中央付近に配置します。



4 動画撮影ボタンを押して、撮影を始める

- 動画撮影中は、録画中マークと経過時間が液晶モニターに表示されます。メモリーカードに記録できる残り時間の目安も確認できます。



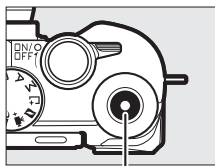
動画撮影ボタン

録画中マーク/経過時間



残り時間

5 もう一度動画撮影ボタンを押して、撮影を終了する



動画撮影ボタン



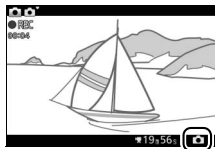
■ 各撮影モードで撮影できる動画の特徴について

撮影できる動画には、撮影モードによって次のような特徴があります。

 オートモード (31)	カメラが撮影シーンや被写体を自動的に判別し、最適な設定でHD動画を撮影します。カメラまかせで動画を撮影したい場合に便利です。
 クリエイティブモード (55)	静止画と同じ効果を付けてHD動画を撮影します。ただし、  HDR 、  ソフト 、  かんたんパノラマ 、  ミニチュア効果 、  トイカメラ風 、  クロススクリーン 、  美肌効果 の場合は効果を付けずにHD動画を撮影します。
 スポーツモード (71) P S P、S、A、Mモード A M (64)	露出モード P でHD動画を撮影します。
 アドバンスト動画モード (46)	露出モード (157) を設定して、シャッタースピードや絞り値を変更したHD動画を撮影できます。また、スローモーションや早送り動画などの特殊な効果を付けた動画を撮影できます。

動画の撮影中に静止画を撮影する

シャッターボタンを全押しすると、静止画を撮影します（アスペクト比（横：縦）は3：2）。静止画を記録している間も、動画撮影は続きます。



動画撮影中の静止画撮影について

- 1回の動画撮影中に撮影できる静止画は、最大20コマです。
- アドバンスド動画モードのスローモーション動画、4K動画およびタイムラプス動画撮影中は、静止画撮影できません。

動画撮影中にフォーカスを固定するには

撮影モードが （アドバンスド動画モード）の場合、シャッターボタンを半押ししている間フォーカスを固定（ロック）できます（フォーカスロック [□189](#)）。フォーカスロックを使うには、撮影メニューの「露出モード」([□157](#))を「おまかせシーン」以外、「フォーカスモード」([□183](#))を「AF-S」に設定してください。

関連ページ

動画撮影中に自動で静止画を撮影する → 「動画中おまかせスナップ」([□178](#))

撮影した動画を再生する

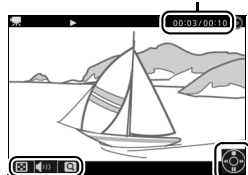
撮影した動画は、1コマ表示モード（34）で $\odot$ ボタンを押すか、または画面上の $\blacktriangleright$ アイコンをタッチして再生します（ $\blacktriangleright$ マークが表示されている画像が動画です）。

●マーク/記録時間



●アイコン

再生時間/記録時間



音量設定

操作ガイド

- 動画再生時には次の操作を行います。

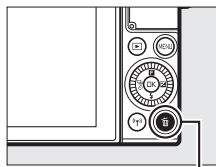
一時停止する		ロータリーマルチセクターの$\odot$を押すか画面をタッチすると、一時停止します。 一時停止すると画面上部にインジケータが表示されます。
再生を再開する		一時停止中または早送り/早戻し中に$\odot$ボタンを押すと、動画再生を再開します。
早戻しする/ 早送りする		再生中に$\odot$を押すと早戻し、$\odot$を押すと早送りします。同じ方向のボタンを押すごとに、早戻し/早送りの速度が2倍、4倍、8倍、16倍に切り替わります。
コマ戻しする/ コマ送りする		- 一時停止中に$\odot$を押すと、コマ戻し/コマ送りします。 $\odot$を押し続けると連続でコマ戻し/コマ送りします。

音量を調節する		コマンドダイヤルを左右に回すと音量を調節できます。
再生を終了する		⏏ または ⏏ ボタンを押すと、1コマ表示モードに戻ります。

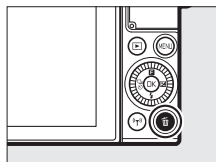
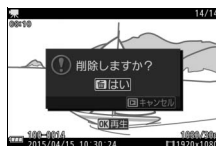
動画を削除する

動画の表示中に  ボタンを押すと、削除確認画面が表示されます。もう一度  ボタンを押すと、動画を削除します。削除した画像は元には戻せないのご注意ください。

- 削除をやめるには、 ボタンを押します。



 ボタン



関連ページ

動画の必要な部分だけを残す →  **「動画編集」** (152)

❑ 動画撮影時のご注意

- 動画撮影中の液晶モニターの表示に、次のような現象が発生する場合があります。これらの現象は撮影した動画にも記録されます。
 - 蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの照明下で、画面にちらつきや横縞が発生する
 - 動きのある被写体が歪む
 - 電車や自動車など、高速で画面を横切る被写体が歪む
 - カメラを左右に動かした場合、画面全体が歪む
 - カメラを動かした場合、照明などの明るい部分に残像が発生する
 - ジャギー、偽色、モアレ、輝点が発生する
- 次のような場合は、動画撮影は自動的に終了します。
 - 最長記録時間に達した場合 (□45)
 - メモリーカードの残量がなくなった場合
 - レンズを取り外した場合
 - 撮影モードを切り換えた場合
 - カメラが熱くなった場合 (□xix)
- 動画撮影時、太陽など強い光源にカメラを向けないでください。内部の部品が破損するおそれがあります。
- マイク (□2) を指などでふさがないようにしてください。音声記録できない場合があります。
- カメラの動作音や操作音が録音されることがあります。

🔪 フリッカー低減について

- 蛍光灯や水銀灯などの光源下では、撮影するときの表示や撮影する動画にちらつきや横縞が生じることがあります。この現象を「フリッカー現象」といいます。セットアップメニューの「フリッカー低減」を、カメラをお使いになる地域の電源周波数に合わせて、[50Hz] または [60Hz] に設定してください。詳しくは、□199をご覧ください。
- セットアップメニューの「フリッカー低減」の設定によって、シャッタースピードの低速側の制限が異なります。[50Hz] の場合は1/100秒、[60Hz] の場合は1/60秒より速いシャッタースピードになります。
- スローモーション動画撮影中は、フリッカー低減効果は得られません。



動画撮影について

- アドバンスト動画モードのタイムラプス動画およびスローモーション以外の動画の場合、撮影中は被写体にピントを合わせ続けます。ピントを合わせる動作音が気になる場合は、フォーカスモードを「AF-S」にして撮影してください (□183)。
- 使用しているメモリーカードの書き込み速度によっては、最長記録時間に満たないで撮影が自動的に終了する場合があります (□205)。
-  (動画記録禁止) マークが表示されているときは、動画撮影できません。
- 1つの動画ファイルで記録可能な最大ファイルサイズは4GBです。

最長記録時間について

動画のフレームレートが初期設定の場合、一回の撮影で記録できる最長記録時間は次の通りです。

オートモード、クリエイティブモード、 P、S、A、Mモード、スポーツモード	約17分
アドバンスト動画モード	
HD動画	約17分
4K動画	約10分
タイムラプス動画	約25分
スローモーション	約3秒
早送り動画	約20分 (□47)
ジャンプカット	約20分 (□47)
4秒動画	約4秒

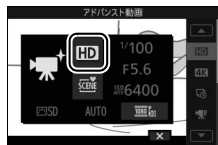
関連ページ

- HD動画の解像度とフレームレートを選ぶ →  [サイズ/フレームレート] (□161)
- 内蔵マイクの感度の程度を設定する →  [動画音声の設定] の [録音設定] (□177)
- 動画の撮影時に風切り音を低減するかどうかを設定する →  [動画音声の設定] の [風切り音低減] (□177)
- 蛍光灯や水銀灯などの光源下で発生する、画面のちらつきや横縞を低減する →  [フリッカー低減] (□199)

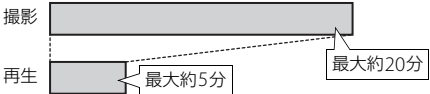
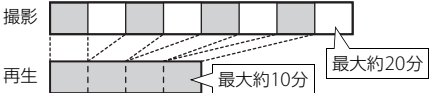


🎥+アドバンスト動画モードで撮影する

アドバンスト動画モードでは、HD動画の他にもさまざまな種類の動画を撮影できます。ロータリーマルチセクターの**F**（フィーチャー）を押して**F**メニューを表示し、**[アドバンスト動画]**を選べると、撮影する動画の種類を選べます。



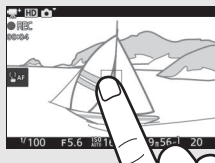
HD HD動画	HD動画を撮影します。露出モード（□157）を設定できます。
4K 4K動画	解像度が3840×2160ピクセル、フレームレートが15fpsの動画を撮影します。
 タイムラプス動画※	設定した撮影間隔で自動的に撮影を行い、撮影した静止画をつないで動画として記録できます。 撮影  再生  最大約5秒 最大約25分
 スローモーション※	スローモーション動画を撮影できます。400コマ/秒の高速で記録した動画を約30コマ/秒で再生します。最大約3秒間撮影できます。 撮影  最大約3秒 再生  最大約40秒

早送り動画※	4倍速の早送り動画を撮影できます。再生時は、撮影時の4分の1の時間で再生します。 
ジャンプカット※	動画撮影時に、1秒間ごとに「記録する」と「記録しない」の動作を繰り返して、意図的にコマ落ちたような動画を撮影します。 
4秒動画	記録時間が4秒の動画を撮影します。

※ 音声は記録されません。

動画撮影中のピント合わせについて

タッチパネルをタッチするとAFエリアが表示されて、その位置にピントを合わせます。



4K動画について

- 4K動画をパソコンで再生または編集するには、ViewNX-iが必要です。ViewNX-iは下記ホームページから最新のインストーラーをダウンロードできます。4K動画をパソコンで再生・編集をする場合、高性能の動作環境が必要です。詳しくはViewNX-iのダウンロードページをご確認ください。

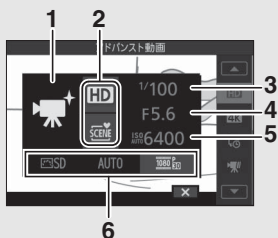
<http://downloadcenter.nikonimglib.com/>

- 4K動画対応のテレビにHDMIケーブルで接続して再生した場合、フルHD動画（1920×1080ピクセル、30p）として再生されます。テレビのカードスロットにメモリーカードを挿入しても、4K動画は再生できません。

F（フィーチャー）メニューについて

アドバンスト動画モードの撮影画面でロータリーマルチセクターの**F**を押すと、次のような**F**メニュー（□11）が表示されます。

• アドバンスト動画モードの設定（□46）によって表示される項目は異なります。

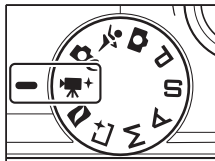


1	撮影モード	6
2	アドバンスト動画	46
	露出モード	157
3	シャッタースピード	65、67
4	絞り値	66、67
5	ISO感度設定	169
6	Picture Control	170
	ホワイトバランス	163
	サイズ/フレームレート	161
	スローモーション	54
	撮影間隔	49
	AEロック	50

タイムラプス動画を撮影する

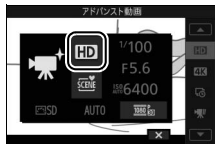
●+ アドバンスド動画モードのタイムラプス動画では、設定した撮影間隔で自動的に撮影を行い、撮影した静止画をつないで動画として記録できます。

1 撮影モードダイヤルを●+に合わせる



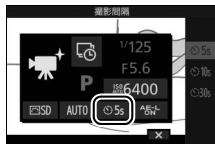
2 [タイムラプス動画] を選ぶ

- ロータリーマルチセレクターの**F**（フィーチャー）を押して**F**メニューを表示し、[アドバンスド動画]を選んで**OK**ボタンを押します。
- ロータリーマルチセレクターで[タイムラプス動画]を選び、**OK**ボタンを押します。



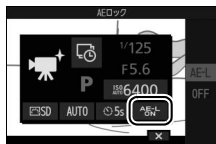
3 [撮影間隔]（インターバル）を設定する

- F**メニューで[撮影間隔]を選んで**OK**ボタンを押し、ロータリーマルチセレクターで撮影間隔を選んで**OK**ボタンを押します。



4 [AEロック] をするかどうかを設定する

- **[F]** (フィーチャー) メニューで **[AEロック]** を選んで **[OK]** ボタンを押し、ロータリーマルチセクターで **[AE-L]** (する) または **[OFF]** (しない) を選んで **[OK]** ボタンを押します。
- **[AE-L]** に設定すると、タイムラプス動画撮影開始時の露出に固定されます。

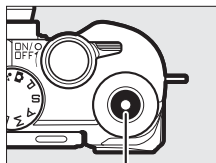


5 シャッターボタンを半押しして、被写体にピントを合わせる



6 動画撮影ボタンを押して、撮影を始める

- 手順3で設定した **[撮影間隔]** で撮影を繰り返します。
- タイムラプス動画撮影中は、電源スイッチと **[OK]** ボタン以外のボタン操作は無効になります。



動画撮影ボタン

7 撮影を終了する

- 300コマ撮影するか、**[OK]** ボタンを押すとタイムラプス動画撮影が終了します。
- 終了時点までの動画がメモリーカードに記録されます。



タイムラプス動画について

- カメラを三脚で固定することをおすすめします。
- 撮影中のバッテリー切れを防ぐため、別売のパワーコネクタとACアダプター、または十分に充電されたバッテリーをお使いください。
- タイムラプス動画は30fpsの動画として記録されます。撮影したコマ数が30コマに満たない場合は最後のコマをコピーして不足分を補い、1秒の動画として記録します。
- 解像度は常に1920×1080ピクセルになります。
- ホワイトバランスを**AUTO**（オート）以外に設定すると色みを固定することができます（□163）。
- バッテリー使用時に撮影間隔を**〔30 秒〕**に設定した場合、タイムラプス動画撮影中は液晶モニターが消灯し、電源ランプ（緑色）が点滅します。

タイムラプス動画についてのご注意

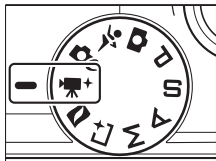
- 音声は記録されません。
- タイムラプス動画撮影中は、オートパワーオフ（□28）しません。



スローモーション動画を撮影する

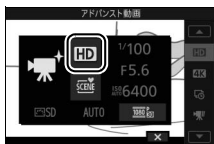
●+ アドバンスド動画モードのスローモーションでは、アスペクト比（横：縦）が8：3の音声なしのスローモーション動画を撮影できます。400コマ/秒の高速で記録した動画を約30コマ/秒で再生します。

1 撮影モードダイヤルを●+に合わせる



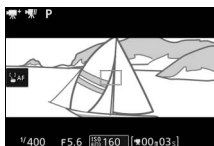
2 [スローモーション] を選ぶ

- ロータリーマルチセレクターの**F**（フィーチャー）を押して**F**メニューを表示し、[アドバンスド動画]を選んで**OK**ボタンを押します。
- ロータリーマルチセレクターで[スローモーション]を選び、**OK**ボタンを押します。

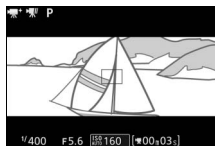


3 カメラを構えて構図を決める

- 被写体を画面の中央付近に配置します。

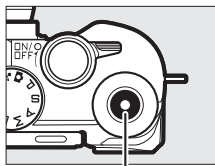


4 シャッターボタンを半押しして、被写体にピントを合わせる



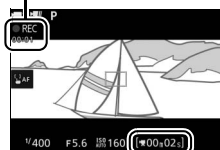
5 動画撮影ボタンを押して、撮影を始める

- 動画撮影中は、録画中マークと経過時間が液晶モニターに表示されます。メモリーカードに記録できる残り時間の目安も確認できます。
- スローモーション動画は最大約3秒間撮影できます。



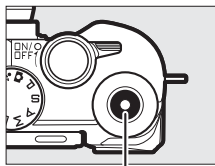
動画撮影ボタン

録画中マーク/経過時間



残り時間

6 もう一度動画撮影ボタンを押して、撮影を終了する



動画撮影ボタン



🔪 スローモーション動画について

- スローモーション動画の場合、画面中央の AF エリア内の被写体にピントが合います。顔認識 (□36) は行いません。
- スローモーション動画の撮影中は、露出やピントを変更できません。

🔪 【スローモーション】のフレームレートと再生時間について

- **F** メニューの [スローモーション] では、スローモーション動画を撮影 (□46) するときのフレームレートを [120 fps]、[400 fps] [1200 fps] から設定できます。
- フレームレートが [120 fps] の場合は記録時間の約4倍 (約12秒)、[400 fps] の場合は約13倍 (約40秒)、[1200 fps] の場合は約40倍 (約120秒) の時間で、スローモーション動画が再生されます。
- フレームレートによって解像度とビットレートが次のように異なります。

	解像度	ビットレート
120 fps	1280×720ピクセル	約12Mbps
400 fps	800×296ピクセル	約3Mbps
1200 fps	400×144ピクセル	約1Mbps

- 最長記録時間はすべてのフレームレートで約3秒です。



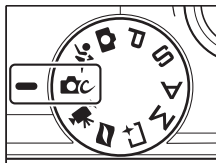
さらに撮影を楽しむ

特殊な効果を付けて撮影したり、シャッタースピードや絞り値を自分で設定して撮影したり、さまざまなモードで撮影を楽しめます。

📷C シーンや効果を選んで撮影する (クリエイティブモード)

シーンに合わせて撮影したり、特殊な効果を付けて撮影したりすることができます。

1 撮影モードダイヤルを📷Cに合わせる



2 シーンと効果を選ぶ

- ロータリーマルチセクターの**F** (フィーチャー) を押して**F**メニューを表示し、[クリエイティブ] を選んで**OK** ボタンを押します。



- ロータリーマルチセクターで使用したいシーン (📷56) を選び、**OK** ボタンを押します。



クリエイティブモードで選べるシーンと効果

シーン	内容
ポップ (POP)	明るく色鮮やかな画像にします。
レトロ (RETRO)	色あせた印象の画像にします。 F (フィーチャー) メニュー (□58) で色相を選べます。 • [色相] は [Red] (赤) または [Yellow] (黄) から選べます。
硬調モノクローム (□)	コントラストがはっきりした白黒画像にします。
ノスタルジックセピア (SEPIA)	ノスタルジックな雰囲気、セピア色の画像にします。
HDR (HDR)	明暗差が大きい撮影シーンでの撮影に適しています (□59)。
ソフト (O)	柔らかな雰囲気にするために、画像を少しぼかします。 F メニューで効果の度合いと、カメラが人物を認識した場合のぼかし方を設定できます。 • [効果の度合い] では効果の度合いを [O H] (強め)、[O N] (標準)、[O L] (弱め) から選べます。 • [ポートレート] を [ON] (する) にすると、カメラが人物を認識した場合に人物が目立つように画像をぼかします。カメラは最大3人まで認識できます。[OFF] (しない) にすると人物を含めた画像全体をぼかします。
かんたんパノラマ (□)	カメラで再生可能なパノラマ写真を撮影できます (□60)。
ミニチュア効果 (M)	撮影した画像の上下部分をぼかすことにより、ミニチュア (模型) を接写したような画像にします。高いところから見下ろして撮影すると効果的です。
セレクトカラー (P)	画像の特定の色だけを残し、他の部分を白黒にします (□63)。
クロスプロセス (C)	特定の色を基調にして、通常と異なる色合いの画像にします。 F メニューで色相を選べます。 • [色相] は [Red] (赤)、[Green] (緑)、[Blue] (青) または [Yellow] (黄) から選べます。

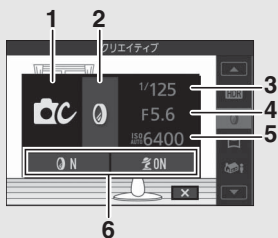
シーン	内容
トイカメラ風 ()	トイカメラで撮影したような画像にします。Fメニュー(□58)で色の濃さと、画像周辺部に行う減光処理の度合いを設定できます。 • [色の濃さ] では [ H] (強め)、[ N] (標準)、[ L] (弱め) から選べます。 • [周辺減光] では減光処理の度合いを [□H] (強め)、[□N] (標準)、[□L] (弱め) から選べます。
クロススクリーン (*)	光源の光を放射状に伸ばして、キラキラとした雰囲気の写真にします。
魚眼効果 ()	魚眼レンズ風の撮影ができます。Fメニューで効果の度合いを選べます。 • [効果の度合い] では効果の度合いを [ H] (強め)、[ N] (標準)、[ L] (弱め) から選べます。
美肌効果 ()	肌をなめらかに仕上げます。Fメニューで効果の度合いを選べます。 • [効果の度合い] では効果の度合いを [ H] (強め)、[ N] (標準)、[ L] (弱め) から選べます。カメラは最大3人まで認識できます。
夜景 ()	夜景の撮影に適しています。
夜景ポートレート ()	夕景や夜景をバックに、人物を撮影したいときに使います。
風景 ()	自然の風景や街並みを、色鮮やかに撮影したいときに使います。
クローズアップ ()	草花や昆虫などの小さな被写体に近づき、大きく写したいときに使います。
ポートレート ()	人物を美しく撮影したいときに使います。人物の肌をなめらかで自然な感じに仕上げます。



F（フィーチャー）メニューについて

クリエイティブモードの撮影画面でロータリーマルチセクターの**F**を押すと、次のような**F**メニュー（□11）が表示されます。

• クリエイティブモードの設定（□56）によって表示される項目は異なります。



1	撮影モード	6
2	クリエイティブ	56
3	シャッタースピード	65、67
4	絞り値	66、67
5	ISO感度設定	169
6	AFエリアモード	187
	フォーカスモード	183
	測光モード	162
	Picture Control	170
	ホワイトバランス	163
	画像サイズ	159
	色の選択	63
	効果の度合い	56、57
	ポートレート	56
	色相	56
	色の濃さ	57
	周辺減光	57

[HDR] で撮影する

1回の撮影で露出が異なる画像を連続で撮影して合成する、HDR（ハイダイナミックレンジ）合成を行います。白とびや黒つぶれの少ない、シャドー部からハイライト部まで幅広く再現された画像になります。明暗差の大きい風景撮影に適しています。



- シャッターボタンを全押しすると、高速で連写します。
- 合成処理が終了すると、合成後の画像が再生されます。



✓ HDR撮影時のご注意

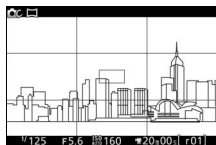
- 画像の記録に時間がかかる場合があります。
- 撮影した画像の周辺部は切り取られます。
- 動いている被写体を撮影する場合や撮影時の手ブレの量が大きい場合は、正しく合成されないことがあります。
- 撮影シーンによっては、明るい被写体の周辺に暗い影が出たり、暗い被写体の周辺が明るくなったりします。
- 被写体によっては画像に階調とびが発生する場合があります。
- 内蔵フラッシュは発光しません。

[かんたんパノラマ] で撮影する

■ パノラマ画像を撮影する

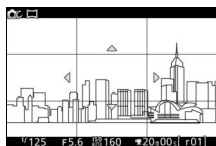
- 1** 一番端の被写体に構図を合わせ、シャッターボタンを半押ししてピントを合わせる

- 画面に格子のガイドが表示されます。



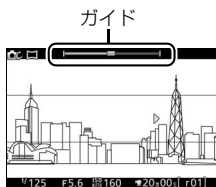
- 2** シャッターボタンを全押ししてから指を放す

- カメラを動かす方向を示す
⬆️⬇️⬇️⬆️マークが表示されます。

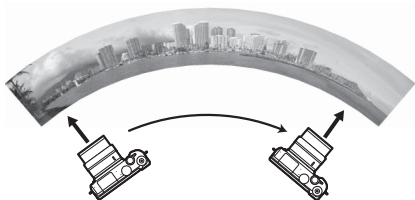


- 3** カメラを4方向のいずれかに、まっすぐゆっくりと動かし、撮影を開始する

- カメラが動いている方向を検出すると、撮影が始まります。
- 現在の撮影地点を示すガイドが表示されます。
- 撮影地点を示すガイドが端まで到達すると撮影が終了します。



カメラの動かし方の例



- 撮影者は動かずに、カメラを水平方向、または垂直方向に円弧を描くように動かします。

✓ かんたんパノラマ撮影時のご注意

- 撮影メニューの [AFエリアモード] (□187) は [オートエリア] になります。顔認識 (□36) は行いません。
- 露出補正 (□98) が設定できます。
- 保存される画像の範囲は、撮影時に画面で見える範囲よりも狭くなります。
- 撮影メニューの [画像サイズ] (□160) が [標準パノラマ標準] のときは約15秒以内、[ワイドパノラマワイド] のときは約30秒以内を目安に、範囲の端から端まで動かしてください。
- カメラを動かす速度が速すぎるときや、ブレが大きいきなどは警告メッセージが表示されます。
- パノラマ範囲の半分に到達する前に撮影が止まると、パノラマ画像は保存されません。
- パノラマ範囲の半分以上を撮影していて、終端に到達する前に撮影が終了したときは、撮影されなかった範囲がグレーの表示で記録されます。
- 内蔵フラッシュは発光しません。
- ゆがみの大きい広角レンズを使用している場合、正しく合成できない場合があります。
- パノラマ画像は複数の画像から合成して作成しているため、次のような被写体の場合は、つなぎ目が目立つなど望ましい結果が得られないことがあります。
 - 単調な色や模様が続く被写体 (空や海など)
 - 動いている被写体
 - 暗い場所
 - 短時間で色や明るさが変化する被写体 (蛍光灯やディスプレイなど)
 - 被写体とカメラの距離が近すぎる場合



■■ パノラマ画像を再生する

撮影したパノラマ画像は、1コマ表示モード（34）で $\odot$ OKボタンを押して再生します。画像の短辺を画面いっぱいに表示し、表示範囲を撮影したときと同じ方向に自動で移動（スクロール）します。



操作ガイド

- パノラマ再生時には次の操作を行えます。

 一時停止する		ロータリーマルチセレクターの$\odot$を押すと、一時停止します。 一時停止すると画面下部にナビゲーションウィンドウが表示されます。
再生を再開する		一時停止中または早送り/早戻し中に$\odot$OKボタンを押すと、パノラマ再生を再開します。
早戻しする/ 早送りする		再生中に$\odot$を押すと早戻し、$\odot$を押すと早送りします。
コマ戻しする/ コマ送りする		- 一時停止中に$\odot$を押すと、コマ戻し/コマ送りします。 $\odot$を押し続けると連続でコマ戻し/コマ送りします。
再生を終了する		$\odot$または$\triangleright$ボタンを押すと、1コマ表示モードに戻ります。

【セレクトカラー】で撮影する

画像の特定の色だけを残し、他の部分を白黒にします。

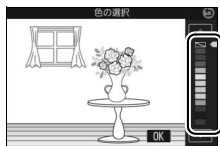
1 [色の選択] を選ぶ

- ロータリーマルチセクターの**F**（フィーチャー）を押して**F**メニューを表示し、[色の選択]を選んで**OK**ボタンを押します。



2 残したい色を選ぶ

- ロータリーマルチセクターで残したい色を選び、**OK**ボタンを押して決定します。



3 撮影する

- シャッターボタンを全押しすると、選んだ色だけを残して撮影します。



P、S、A、Mモードで撮影する

P、S、A、Mモードでは、撮影の意図に応じて、シャッタースピードや絞り値を自分で設定したり、カメラまかせにしたりすることができます。



P プログラムオート

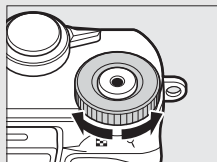
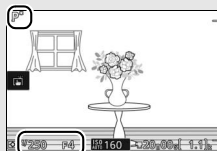
シャッターチャンス逃したくないスナップなど幅広い撮影に適しています。被写体の明るさに応じて露出が適正になるように、カメラがシャッタースピードと絞り値を自動的に決定します。同じ露出でシャッタースピードと絞り値の組み合わせを変える「プログラムシフト」も行えます。

✎ プログラムシフト

「プログラムオート」(P)では、カメラがシャッタースピードと絞り値を決めますが、次の方法で「プログラムシフト」を行うと、適正露出のまま、シャッタースピードと絞り値の組み合わせを変えられます。プログラムシフト中は液晶モニターに**✱**マークが点灯します。

- 背景をぼかしたい(絞り値を小さくする)場合や動きの速い被写体を撮影したい(速いシャッタースピードにする)場合にはコマンドダイヤルを右に回します。
- 近くから遠くまでピントの合った写真を撮りたい(絞り値を大きくする)場合や被写体の動きを強調したい(遅いシャッタースピードにする)場合にはコマンドダイヤルを左に回します。
- プログラムシフトを解除するには、液晶モニター

の**✱**マークが消灯するまで、設定したときと逆方向にコマンドダイヤルを回してください。電源をOFFにしたときやカメラが待機状態になったときも、プログラムシフトは解除されます。



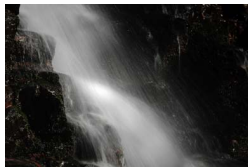
コマンドダイヤル

S シャッター優先オート

シャッタースピードを自分で決めると、露出が適正になるようにカメラが自動的に絞り値を決定します。動きの速い被写体の撮影や、遅いシャッタースピードで被写体の動きを強調する撮影に適しています。



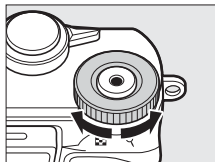
速いシャッタースピードのとき
シャッタースピード：1/1600秒



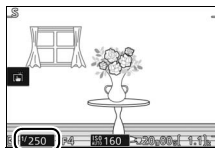
遅いシャッタースピードのとき
シャッタースピード：1秒

■■ シャッタースピードを設定する

- コマンドダイヤルを右に回すとシャッタースピードが速くなり、左に回すとシャッタースピードが遅くなります。
- シャッタースピードは、1/16000秒～30秒の範囲で設定できます。



コマンドダイヤル



🔍 連写時のシャッタースピードについて

連続撮影速度 (□94) が 10、20、30、60 のいずれかの場合、設定したシャッタースピードが変更される場合があります。

A 絞り優先オート

絞り値を自分で決めると、露出が適正になるようにカメラが自動的にシャッタースピードを決定します。絞りを開く（絞り値を小さくする）と、背景をぼかしてメインとなる被写体を浮き立たせた写真を撮影できます（例：ポートレート写真）。絞りを絞り込む（絞り値を大きくする）と、近くから遠くまでピントのあった写真を撮影できます（例：風景写真）。



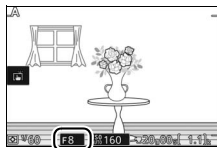
絞りを開いたとき
(絞り値が小さいとき)
絞り値：F5.6



絞りを絞り込んだとき
(絞り値が大きいとき)
絞り値：F16

■■ 絞り値を設定する

- ロータリーマルチセクターを反時計回りに回すと絞りが開き（絞り値が小さくなり）、時計回りに回すと絞りが絞り込まれ（絞り値が大きくなり）ます。
- 設定できる最小絞り、開放絞りはレンズによって異なります。



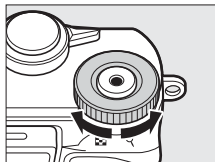
M マニュアル

シャッタースピードと絞り値の両方を自分で決定します。花火や星空などを長時間露出（バルブ）撮影（□69）する場合にもこのモードを使います。

■ 露出インジケータ（□68）を確認しながら、シャッタースピードと絞り値を設定する

シャッタースピードの設定：

- コマンドダイヤルを右に回すとシャッタースピードが速くなり、左に回すとシャッタースピードが遅くなります。
- シャッタースピードは、1/16000秒～30秒またはBulb（□69）の範囲で設定できます。



コマンドダイヤル

絞り値の設定：

- ロータリーマルチセクターを時計回りに回すと絞りが絞り込まれ（絞り値が大きくなり）、反時計回りに回すと絞りが開き（絞り値が小さくなり）ます。
- 設定できる最小絞り、開放絞りはレンズによって異なります。

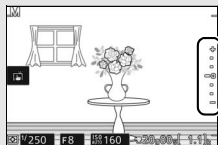


④ 連写時のシャッタースピードについて

連続撮影速度（□94）が1/10、1/20、1/30、1/60のいずれかの場合、設定したシャッタースピードが変更される場合があります。

④ 露出インジケータについて

設定したシャッタースピードと絞り値の組み合わせによる露出値と、カメラが測光した露出値との差が、液晶モニターに表示されます。この「露出インジケータ」の見方は次の通りです。



適正露出	1/3 段アンダー	2 段以上オーバー
+ . . -0 . . -	+ . . -0 . . -	+ -0 . . -

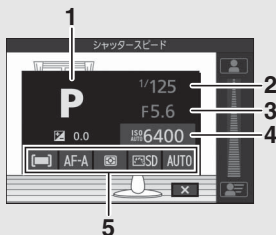
●長時間露出（バルブ）撮影時（□69）は、露出インジケータは表示されません。

④ 露出モードがP、S、A、Mの場合のISO感度について

[ISO感度設定]（□169）を[オート160-6400]、[オート160-3200]または[オート160-800]に設定すると、シャッタースピードと絞り値で適正露出が得られない場合には、設定した範囲内でカメラが自動的にISO感度を選びます。

④ F（フィーチャー）メニューについて

P、S、A、Mモードの撮影画面でFボタンを押すと、次のようなFメニュー（□111）が表示されます。



1	撮影モード	6
2	シャッタースピード	65、67
3	絞り値	66、67
4	ISO感度設定	169
5	AFエリアモード	187
	フォーカスモード	183
	測光モード	162
	Picture Control	170
	ホワイトバランス	163

長時間露出で撮影する（M マニュアルのみ）

シャッタースピードをBulbに設定してシャッターボタンを押し続けると、シャッターボタンから指を放すまでシャッターが開いたままになる長時間露出（バルブ）撮影ができます。

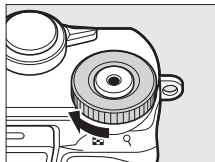
- 花火や夜景、星空の撮影や、自動車のライトの流れを表現したいときなどに使います。長時間露出撮影には、手ブレを抑えるために三脚が必要です。



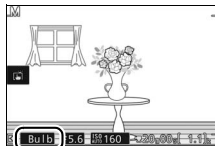
1 三脚などを使ってカメラを固定する

2 シャッタースピードをBulbに設定する

- コマンドダイヤルを左に回してシャッタースピードをBulbに設定します。



コマンドダイヤル



3 ピントを合わせて、長時間露出撮影を開始する

- シャッターボタンを全押しして、長時間露出撮影を開始します。シャッターボタンは押し続けてください。

4 長時間露出撮影を終了する

- シャッターボタンを放すと、長時間露出撮影は終了します。



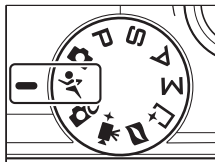
長時間露出について

- バルブ撮影時、シャッターは開いてから約2分経つと自動的に閉じます。
- 遅いシャッタースピードで撮影する場合は、画像を記録するまでの時間が長くなることがあります。
- 露光時間が長くなると、画像にノイズ（ざらつき、むら、輝点）が発生することがあります。
- 撮影メニューの「**長秒時ノイズ低減**」(□176)を「**する**」に設定すると、画像に発生するむらや輝点が低減されます。
- 撮影中のバッテリー切れを防ぐため、十分に充電されたバッテリー、または別売のパワーコネクターとACアダプターを組み合わせることをおすすめします。

★動きのある被写体の動きをとらえる (スポーツモード)

- ★スポーツモードは、運動会などスポーツ写真の撮影に向いています。
- スポーツモードでは常に連写（連続撮影）で撮影されます（□94）。

1 撮影モードダイヤルを★に合わせる



2 ロータリーマルチセクターの Ⓢ（連写/セルフタイマー）を押す

- 液晶モニターに連写のメニューが表示されます。



3 連続撮影速度を選び、Ⓞ ボタンを押す

- (約5コマ/秒)、10 (約10コマ/秒)、20 (約20コマ/秒)、30 (約30コマ/秒)、60 (約60コマ/秒) から連続撮影速度を選べます。
- 連続撮影速度が (5コマ/秒) 以外の場合、連続撮影可能コマ数は20コマに固定されます。



4 構図を決めて撮影する

- シャッターボタンを深く押し込んで（全押しして）連続撮影します。



🔍 F（フィーチャー）メニューについて

スポーツモードでは **F** を押しても **F** メニューは表示されません。

スポーツモードについて

- 一部のメニューは次の設定に固定されます。
 - 撮影メニュー
 - フォーカスモード (□183) : AF-C
 - AFエリアモード (□187) : シングルポイント
 - 顔認識 (□189) : しない
 - 内蔵AF補助光の照射 (□190) : しない
 - セットアップメニュー
 - 撮影直後の画像確認 (□196) : しない
- 内蔵フラッシュは発光しません。

連写（連続撮影）についてのご注意

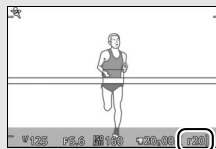
- 連続撮影が終了しても、メモリーカードの性能や撮影条件によっては、記録に時間がかかる場合があります。記録中は、メモリーカードアクセスランプが点灯し続けます (□33)。
- 連続撮影中にバッテリーの残量がなくなった場合は、連続撮影は中止され、撮影済みの画像データがメモリーカードに記録されます。

スポーツモードで撮影した画像について

1回の連続撮影で撮影したスポーツモードの画像は、まとめて1枚の画像（連写グループ）として扱われます。再生時にどのように表示するかは、再生メニューの「連写グループ表示方法」(□148)によって異なります。

連続撮影可能コマ数の表示

- シャッターボタンを半押しすると、**L**と連続撮影可能コマ数（連続撮影速度を維持したまま続けて撮影できるコマ数）が、液晶モニターに表示されます。右図の場合、連続撮影速度を維持したまま、あと最低20コマ続けて撮影できることを示しています。
- 表示される連続撮影可能コマ数は、おおよその目安です。撮影条件によって増減することがあります。

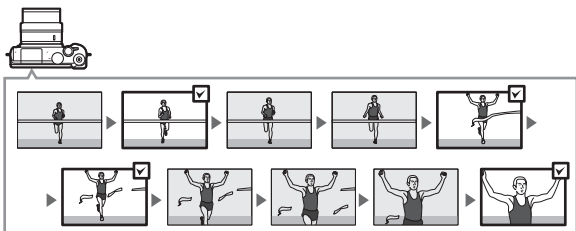


□ベストショットを撮影する (ベストモーメントキャプチャー)

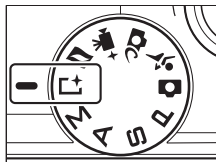
一時的に記録した20コマの静止画から画像を選べる「お気に入りフォト選択」、ゆっくりと連続表示される静止画の中からベストショットを選べる「スロービュー」(□78)、または動きや構図が最適な画像をカメラが自動で選ぶ「スマートフォトセクター」(□80)を選んで撮影できます。

残したい画像を自分で選ぶ (お気に入りフォト選択)

シャッターボタンを全押しした前後に一時的に記録した20コマの静止画から、最大20コマの画像を選択して保存できます。



1 撮影モードダイヤルを□に合わせる



2 [お気に入りフォト選択] を選ぶ

- ロータリーマルチセクターの **F** (フィーチャー) を押して **F** メニューを表示し、[ベストモーメントキャプチャー] を選んで **OK** ボタンを押します。
- ロータリーマルチセクターで [お気に入りフォト選択] を選び、**OK** ボタンを押します。



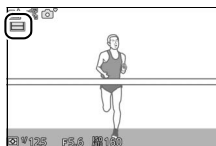
3 カメラを構えて構図を決める

- 被写体を画面の中央付近に配置します。



4 シャッターボタンを半押しして、シャッターチャンス待つ

- 被写体に自動的にピントが合います (□32)。
- シャッターボタンの半押し中は、カメラが先取り撮影を行います (液晶モニターにアイコンが表示されます)。



🔪 記録範囲について

F (フィーチャー) メニューの「記録範囲」で、シャッターボタン全押しの前に撮影した静止画を記録するか、全押しの前後に撮影した静止画を記録するかを設定できます。

シャッター 全押し前	シャッターボタン全押しの前に撮影した20コマを記録します。 
シャッター 全押し前後	シャッターボタン全押しの前後に撮影した20コマを記録します。 

🔪 1度の撮影で記録する時間を選ぶ

F メニューの「20枚の記録時間」で、1度の撮影で20コマを何秒で記録するかを選べます。「1/3s」の場合は1/3秒 (60fps)、「1s」の場合は1秒 (20fps) で記録されます。

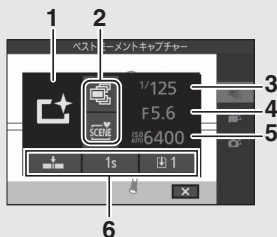
🔪 お気に入りフォト選択について

- 初期設定では、シャッターボタン全押しのタイミングで撮影した1コマに、自動的に📷アイコンが付加されています。
- メモリーカードの性能や撮影条件によっては、記録に時間がかかる場合があります。記録中は、メモリーカードアクセスランプが点灯し続けます (📷33)。

F（フィーチャー）メニューについて

ベストモーメントキャプチャーモードの撮影画面でロータリーマルチセレクターの**F**を押すと、次のような**F**メニュー（□11）が表示されます。

- ベストモーメントキャプチャーモードの設定（□73、78、80）によって表示される項目は異なります。



1	撮影モード	6
2	ベストモーメントキャプチャー	73
3	露出モード	157
3	シャッタースピード	65、67
4	絞り値	66、67
5	ISO感度設定	169
6	記録範囲	76
	20枚の記録時間	76
	初期選択枚数	75
	画像の保存枚数	81

ベストモーメントキャプチャーモードについて

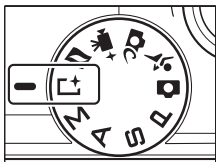
- 動画撮影ボタンを押しても、動画は撮影できません。
- 内蔵フラッシュは発光しません。



シャッターチャンスをはっきり選ぶ (スロービュー)

☑ ベストモーメントキャプチャーモードのスロービューを使うと、動きのあるシーンでも液晶モニター上でゆっくりと表示されるため、決定的な瞬間を逃さずに撮影できます。

1 撮影モードダイヤルを☑に合わせる



2 [スロービュー] を選ぶ

- ロータリーマルチセレクトターの **F** (フィーチャー) を押して **F** メニューを表示し、[ベストモーメントキャプチャー] を選んで **OK** ボタンを押します。
- ロータリーマルチセレクトターで [スロービュー] を選び、**OK** ボタンを押します。



3 カメラを構えて構図を決める

- 被写体を画面の中央付近に配置します。

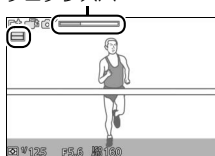


4 撮影する

- シャッターボタンを半押しして、被写体にピントを合わせます。ピントが合うと20コマの静止画を一時的に記録し、半押ししている間、ゆっくりと繰り返し連続表示します（液晶モニターにアイコンが表示されます）。



スロービュー
プログレスバー



- 保存したい静止画のところでシャッターボタンを全押しすると、全押ししたときの静止画だけが記録されます。一時記録されていた静止画は削除されます。
- 撮影が終了すると、撮影した画像が液晶モニターに数秒間、表示されます。
- シャッターボタンを全押しせず指を放すと、静止画を記録せずに撮影画面に戻ります。一時記録されていた静止画も削除されます。



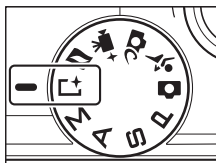
ベストショットをカメラが選ぶ (スマートフォトセレクト)

振り向きざまの笑顔やパーティーでの集合写真など、ベストショットの静止画をカメラまかせで気軽に撮影できます。

- シャッターをきると、動きや構図が最適な画像をカメラが自動で選びます。初期設定では、ベストショットと候補の合計5コマの静止画が記録されます。



1 撮影モードダイヤルを□に合わせる



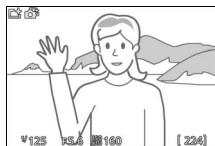
2 [スマートフォトセレクト] を選ぶ

- ロータリーマルチセレクトの **F** (フィーチャー) を押して **F** メニューを表示し、[ベストモーメントキャプチャー] を選んで **OK** ボタンを押します。
- ロータリーマルチセレクトで [スマートフォトセレクト] を選び、**OK** ボタンを押します。



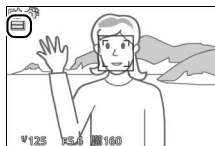
3 カメラを構えて構図を決める

- 被写体を画面の中央付近に配置します。



4 シャッターボタンを半押しして、シャッターチャンス待つ

- 被写体に自動的にピントが合います (□32)。
- シャッターボタンの半押し中は、カメラが先取り撮影を行います (液晶モニターにアイコンが表示されます)。
- シャッターボタンを半押ししている間、カメラは被写体の動きに合わせてピントを合わせ続けます。



5 シャッターチャンスが来たら、シャッターボタンを全押しして撮影する

- シャッターがきれ、シャッターボタン全押しの前後に撮影したベストショットと候補の静止画をカメラが選んで、合計5コマ記録します。
- 5コマの画像は、まとめて1枚の画像 (連写グループ) として扱われます。
- F** (フィーチャー) メニューの [画像の保存枚数] で [↓1] を選べば、ベストショット1コマのみの静止画が記録されます。
- 画像の記録に時間がかかる場合があります。
- 撮影が終了すると、ベストショットの1コマが液晶モニターに数秒間表示されます。



スマートフォトセクターについて

常にカメラが撮影シーンや被写体を自動的に判別して最適な設定で撮影します。

先取り撮影について

シャッターボタンを半押ししてから全押しするまでの間、先取り撮影を行います（最大約90秒間）。



スマートフォトセクター画像の管理ファイルについて

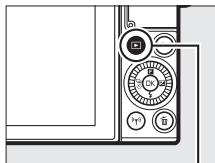
メモリーカード内の「NCFL」フォルダーにある「NCSPSLST.LST」ファイルを削除したり、スマートフォトセクター画像として記録されている静止画のファイル名を変更したりしないでください。カメラで画像を再生した場合にスマートフォトセクター画像と認識されず、通常の静止画として5枚全てが表示されます。



■ 撮影したスマートフォトセレクトー画像を確認する

□ ボタンを押して1コマ表示モード (□ 34) で画像を再生し、ロータリーマルチセクターでスマートフォトセレクトー画像を選びます (📷マークが表示されている画像です)。撮影した5コマの画像のうち、ベストショットのみが表示されます。

- ベストショット候補の画像は表示されません。そのため、画像を切り換えるときに、コマ番号が抜けているように見えます。
- 撮影に戻るには、シャッターボタンを半押ししてください。



▶ ボタン



ベストショットを自分で選ぶ

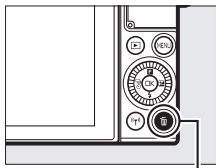
スマートフォトセレクトー画像を表示して、ロータリーマルチセクターの📷を押すと、ベストショットの切り換え画面が表示されます。

- ⏮️⏭️ を押すと、ベストショット候補の画像を表示できます。
- 画像を選んで OK ボタンを押すと、選んだ画像がベストショットとして表示されます。
- ベストショットの切り換えをやめるには □ ボタンを押します。
- **F** (フィーチャー) メニューの「**画像の保存枚数**」を [1] にして撮影した場合、ベストショットを自分で選ぶことはできません。



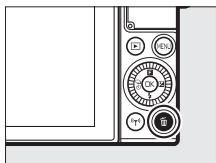
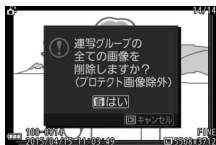
■ スマートフォトセレクト画面を削除する

スマートフォトセレクト画面を表示して、 ボタンを押すと、削除確認画面が表示されます。もう一度  ボタンを押すと、スマートフォトセレクト画面を削除して、再生画面に戻ります。削除した画像は元には戻せないで
ご注意ください。



 ボタン

- ベストショットとベストショット候補の画像が削除されます。
- 削除をやめるには、 ボタンを押します。



ベストショット以外の画像の削除について

ベストショットの切り換え画面 () で  ボタンを押すと、右のような画面が表示されます。次のいずれかを選んで  ボタンを押します。

- **[この画像]**：表示中の画像が削除されます（ベストショットが表示されている場合は削除できません）。
- **[ベストショット以外]**：ベストショット候補の画像が削除されます。

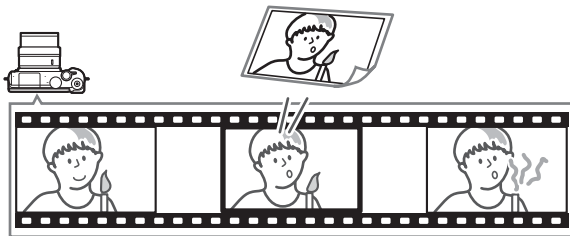


確認画面で **【はい】** を選んで  ボタンを押すと、選んだ画像を削除して再生画面に戻ります。

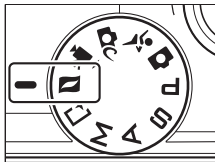
静止画と短い動画を一緒に撮影する (モーションスナップショット)

モーションスナップショットモードは、静止画撮影時に短い動画も一緒に残したいときに適しています。

- シャッターをきると、静止画と約 1.6 秒間の動画を撮影します。モーションスナップショット画像を再生すると、始めに動画がスローモーションで約4秒間再生され、続いて静止画が表示されます。



1 撮影モードダイヤルを に合わせる



2 カメラを構えて構図を決める

- 被写体を画面の中央付近に配置します。



3 シャッターボタンを半押しする

- 被写体に自動的にピントが合います (p32)。
- シャッターボタンの半押し中は、カメラが先取り撮影を行います (液晶モニターにアイコンが表示されます)。



4 シャッターボタンを全押しして撮影する

- 静止画と同時に、シャッターボタン全押しの前後約1.6秒間の動画を記録します。
- 画像の記録に時間がかかる場合があります。
- 撮影が終了すると、撮影した画像が液晶モニターに数秒間、表示されます。



先取り撮影について

シャッターボタンを半押ししてから全押しするまでの間、先取り撮影を行います (最大約90秒間)。

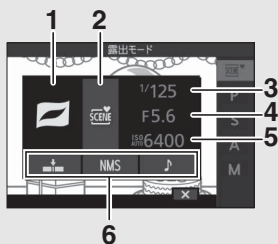


モーションスナップショットモードについて

- 動画撮影ボタンを押しても、動画は撮影できません。
- 内蔵フラッシュは発光しません。

F（フィーチャー）メニューについて

モーションスナップショットモードの撮影画面でロータリーマルチセクターの**F**を押すと、次のような**F**メニュー（ 11）が表示されます。



1	撮影モード	6
2	露出モード	157
3	シャッタースピード	65、67
4	絞り値	66、67
5	ISO感度設定	169
6	動画の前後比率	88
	ファイル形式	89
	音声	89



■「動画の前後比率」を選ぶ

F（フィーチャー）メニュー（87）で「動画の前後比率」を選ぶと、シャッターボタンを全押ししたときの前後を動画で撮影するか、シャッターボタンを全押しした前のみを動画で撮影するかを設定できます。

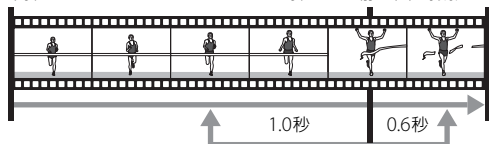
- 動画の最後の場面を静止画として記録するには、「1.6秒：0秒」を選びます。

1.0秒：0.6秒

シャッターボタンを全押ししたときの静止画と、その前後約1.6秒を動画として記録します。

半押しする

全押しして静止画を撮影



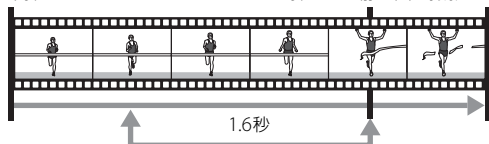
動画として記録

1.6秒：0秒

シャッターボタンを全押ししたときの静止画と、その前のみ約1.6秒を動画として記録します。

半押しする

全押しして静止画を撮影



動画として記録

■「ファイル形式」を選ぶ

Fメニューで「**ファイル形式**」を選ぶと、モーションスナップショットモードの記録形式を設定できます。

NMS形式	4秒のMOV動画と、1枚のJPEG画像を記録します。パソコンで再生するには、ViewNX-iが必要です。
MOV形式	約10秒間のMOV動画を記録します。一般的な動画再生ソフトで再生できます。カメラでの再生方法については、「撮影した動画を再生する」(□42)を参照してください。 • 撮影直後の画像確認(□86、196)は行いません。

■「音声」を選ぶ

Fメニューで「**音声**」を選ぶと、モーションスナップショットの動画に記録する音声を「**BGM**」、「**環境音**」(撮影時の音声)、「**なし**」から選べます。

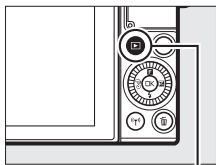
- ロータリーマルチセクターで項目を選び、**OK**ボタンを押して決定します。
- 「**環境音**」に設定した場合は、動画の記録開始から約4秒間の音声を記録します。



撮影したモーションスナップショット画像を確認する

▶ボタンを押して1コマ表示モード(□34)で画像を再生し、ロータリーマルチセクターでモーションスナップショット画像を選びます(▶マークが表示されている画像です)。

- OKボタンを押すか、または画面上の▶アイコンをタッチすると、動画がスローモーションで約4秒間再生され、続いて静止画が表示されます。モーションスナップショット画像の再生中は、[音声](□89)で設定した音が流れます。
- 撮影に戻るには、シャッターボタンを半押ししてください。



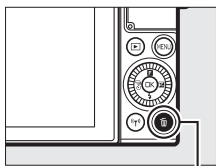
▶ボタン



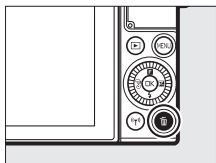
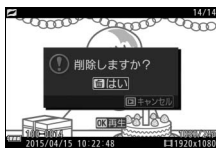
モーションスナップショット画像を削除する

モーションスナップショット画像を表示して、⏮ボタンを押すと、削除確認画面が表示されます。もう一度⏮ボタンを押すと、モーションスナップショット画像を削除して、再生画面に戻ります。削除した画像は元には戻せないのご注意ください。

- 静止画と動画の両方が削除されます。
- 削除をやめるには、▶ボタンを押します。



⏮ボタン



撮影の便利な機能

ライブコントロールを使って撮影する

ライブコントロールを使用すると、効果を確認しながら画像を撮影できます。ライブコントロールは撮影モードダイヤルを右図の位置に合わせたときに使用できます。オートモード以外の撮影モードでは、撮影メニューの「露出モード」(P157)を「**おまかせシーン**」に設定している場合のみ使用できます。



- アドバンスド動画モードでは「**HD動画**」、「**早送り動画**」、「**ジャンプカット**」、「**4秒動画**」の場合に使用できます。
- ベストモーメントショットモードでは「**お気に入りフォト選択**」、「**スロービュー**」の場合に使用できます。ただし、「**暗明暗差を調整する**」は選べません。

1 撮影画面でOKボタンを押す

- ライブコントロールの項目が表示されます。詳しくは92ページを参照してください。
- 項目を選んでOKボタンを押すと、設定画面が表示されます。



2 効果の度合いを調整する

- ロータリーマルチセレクターを回すと、効果を確認しながら調整できます。
- OKボタンを押すと、効果の度合いを決定して撮影画面に戻ります。



👤 明暗差を調整する：

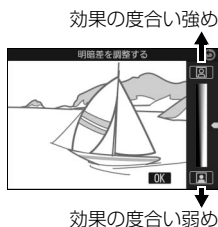
ハイライト部の白とびを抑え、シャドー部の黒つぶれを軽減してコントラストを調整します。



効果の度合い強め



効果の度合い弱め



👤 背景をぼかす：

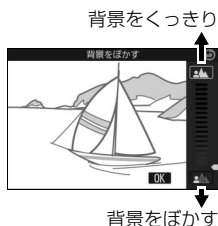
被写体周辺部のぼかしの度合いを調整します。メインとなる被写体を浮き立たせた写真を撮影したり、近くから遠くまでピントのあった写真を撮影したりできます。



背景をくっきり



背景をぼかす



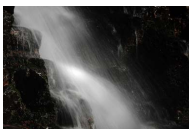
👤 動きを表現する：

被写体の動きを強調する度合いを調整します。動きの速い被写体を止まっているように撮影したり、被写体の動きを強調して撮影したりできます。

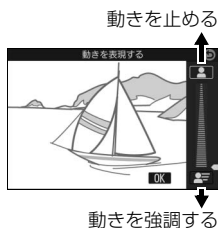
- 撮影モードがオートモードの場合のみ使用できます。



動きを止める



動きを強調する

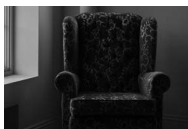


☑ 明るさを変える：

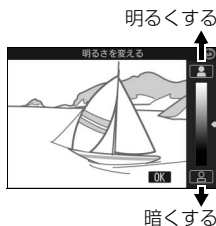
画像全体の明るさを調整します。



明るくする

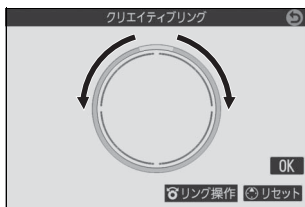
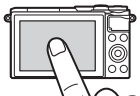


暗くする



○ クリエイティブリング：

画像に特殊な効果を付けて撮影できます。液晶モニターに表示される効果を、撮影画面で確認しながら撮影します。ロータリーマルチセレクターを回すと、液晶モニター上でクリエイティブリングのカーソルが回転し、徐々に効果が変化します。クリエイティブリングのカーソルは、画面にタッチしても操作できます。



- 表示中の効果を付けた静止画または動画が撮影されます。
- クリエイティブリングが表示されているときは、タッチ撮影機能 (□107) は使用できません。
- クリエイティブリングのカーソル表示中に「リセット」をタッチすると、効果をリセットしてカメラが撮影シーンを再度判別します。

☑ ライブコントロールについて

- 連続撮影 (□94) はできません。
- 内蔵フラッシュは発光しません。

連写で撮影する

連写（連続撮影）で撮影できます。

1 ロータリーマルチセクターの 📷（連写/セルフタイマー）を押す

- 液晶モニターに連写とセルフタイマーのメニューが表示されます。



2 ロータリーマルチセクターで 📷（連写）を選び、▶️を押す

- 連続撮影速度の選択画面が表示されます。



3 連続撮影速度を選び、OK ボタンを押す

- 📷（約5コマ/秒）、📷10（約10コマ/秒）、📷20（約20コマ/秒）、📷30（約30コマ/秒）、📷60（約60コマ/秒）から連続撮影速度を選べます。
- 連続撮影速度が📷（5コマ/秒）以外の場合、連続撮影可能コマ数は20コマに固定されます。



4 構図を決めて撮影する

- シャッターボタンを深く押し込んで（全押しして）連続撮影します。



✓ 連写（連続撮影）についてのご注意

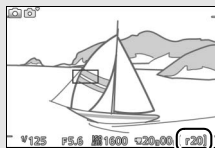
- 連続撮影速度が 5fps (📷) の場合、内蔵フラッシュが発光するときは単写として動作します。
- 連続撮影速度が 10fps、20fps、30fps または 60fps の場合、内蔵フラッシュは発光しません。
- 次の場合は連写を選べません。
 - クリエイティブモード、ベストモーメントキャプチャーモード、アドバンスド動画モード、モーションスナップショットモード、または自分撮りモードの場合
 - ライブコントロール機能 (📷91) を設定している場合
- 連続撮影が終了しても、メモリーカードの性能や撮影条件によっては、記録に時間がかかる場合があります。記録中は、メモリーカードアクセスランプが点灯し続けます (📷33)。
- 連続撮影中にバッテリーの残量がなくなった場合は、連続撮影は中止され、撮影済みの画像データがメモリーカードに記録されます。

📷 連写で撮影した画像について

1回の連続撮影で撮影した画像は、まとめて1枚の画像（連写グループ）として扱われます。再生時にどのように表示するかは、再生メニューの「**連写グループ表示方法**」(📷148)によって異なります。

📷 連続撮影可能コマ数の表示

- シャッターボタンを半押しすると、**r**と連続撮影可能コマ数（連続撮影速度を維持したまま続けて撮影できるコマ数）が、液晶モニターに表示されます。右図の場合、連続撮影速度を維持したまま、あと最低20コマ続けて撮影できることを示しています。
- 表示される連続撮影可能コマ数は、おおよその目安です。撮影条件によって増減することがあります。



📷 [S] 1コマ撮影

- 連写を解除して1コマ撮影するには、撮影画面でロータリーマルチセレクターの📷（連写/セルフタイマー）を押して、[S]（単写）を選びます。
- スポーツモードでは[S]（単写）は選べません。



セルフタイマーを使って撮影する

シャッターボタンを全押しした後、設定した時間が過ぎると、自動的にシャッターがきれます。

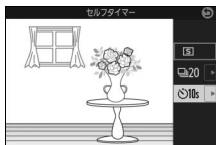
1 ロータリーマルチセクターの ☺ (連写/セルフタイマー) を押す

- 液晶モニターに連写とセルフタイマーのメニューが表示されます。

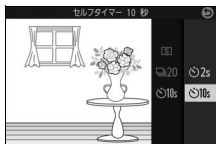


2 ロータリーマルチセクターで ☺ (セルフタイマー) を選び、 ▶ を押す

- セルフタイマー時間の選択画面が表示されます。



3 10s (約10秒)、2s (約2秒) のいずれかを選び、OK ボタンを押す

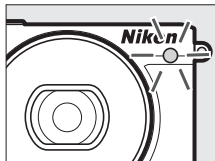


4 構図を決める

- 撮影を始める前に、三脚などで固定してください。

5 撮影を始める

- シャッターボタンを半押ししてピントを合わせてから、全押ししてください。タイマーが作動し、電子音が鳴り始め、セルフタイマーランプが点滅します。撮影2秒前になると点滅から点灯に変わり、電子音が鳴る間隔が短くなります。
- ピントが合っていないときなど、カメラのシャッターがきれない状態ではタイマーは作動しません。



6 シャッターがきれる

- シャッターボタンを全押ししてから、選んだセルフタイマーの時間が過ぎると、シャッターがきれます。



🔪 動画のセルフタイマー撮影について

セルフタイマーで動画を撮影するには、撮影モードをアドバンスド動画モードに設定してください。シャッターボタンの代わりに動画撮影ボタンを押すと、セルフタイマーが作動します。もう一度動画撮影ボタンを押すと、動画の撮影を終了します。

🔪 セルフタイマー撮影時のフラッシュについて

P、S、A、Mモードでフラッシュを使ってセルフタイマー撮影をしたいときは、撮影を開始する前にフラッシュポップアップボタンを押して内蔵フラッシュを上げてください。セルフタイマーの作動中にフラッシュを上げると、撮影は中止されます。

🔪 セルフタイマーの解除について

電源をOFFにすると、セルフタイマーは解除されます。

🔪 関連ページ

セルフタイマー撮影時の電子音を消す → 🗑️ [音の設定] (📖 198)

画像の明るさを調整する（露出補正）

露出補正とは、カメラが制御する適正露出値を意図的に変えることです。画像全体を明るくしたり、暗くしたいときなどに使います。



－1段補正



露出補正なし



＋1段補正

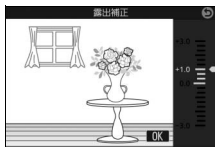
1 ロータリーマルチセクターの （露出補正）を押す

- 液晶モニターに「露出補正」のメニューが表示されます。



2 ロータリーマルチセクターで露出補正值を選ぶ

- 1/3段刻みで±3段の範囲で設定できます。
- 画像全体を明るくしたいときは＋側に、暗くしたいときは－側に補正します。
- 露出補正を解除するには、補正值を0.0にしてください。P、S、Aモードでは、カメラの電源をOFFにしても、補正值の設定は解除されません。



露出補正の設定について

露出補正を行うときは、撮影メニューの「測光モード」(□162) を「中央部重点測光」または「スポット測光」にすると効果的です。

内蔵フラッシュ使用時の露出補正

内蔵フラッシュ使用時に露出補正を行った場合は、背景露出とフラッシュの発光量の両方に補正が行われます。

内蔵フラッシュについて

内蔵フラッシュを使うと、暗い場所や逆光下など、さまざまな場所での撮影を楽しむことができます。

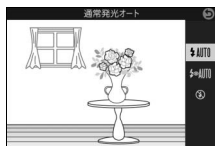
- カメラの設定によっては内蔵フラッシュが発光しない場合があります。

内蔵フラッシュが自動的に上がる撮影モードの場合

📷 オートモード、📷 クリエイティブモード（HDR（HDR）、かんたんパノラマ（📷）、夜景（📷）、風景（📷）を除く）では、内蔵フラッシュが自動的に上がります。

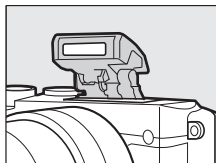
1 フラッシュモードを設定する

- ロータリーマルチセクターの⚡（フラッシュモード）を押してから、ロータリーマルチセクターでフラッシュモードを選び、OK ボタンを押します。



2 シャッターボタンを半押しして、ピントを合わせてから撮影する

- 暗いときや逆光のときなどに必要に応じて自動的に内蔵フラッシュが上がり、発光します。フラッシュが不要な場合はフラッシュは上がりず、発光しません。



■ 設定できるフラッシュモード

内蔵フラッシュが自動的に上がる撮影モードで設定できるフラッシュモードは次の通りです。

フラッシュモード

⚡AUTO 通常発光オート（自動発光）：暗いときや逆光のときに必要に応じて発光します。

🔴AUTO 赤目軽減オート（自動発光）：人物撮影に適しています。暗いときや逆光のときに必要に応じて発光します。フラッシュが発光する前に、赤目軽減ランプが点灯して、人物の目が赤く写る「赤目現象」を軽減します。

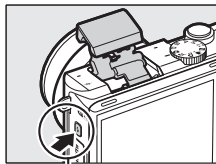
🚫 発光禁止：内蔵フラッシュは発光しません。



内蔵フラッシュを手動で上げる撮影モードの場合

P、S、A、Mモードまたは自分撮りモードでは、フラッシュポップアップボタンを押して、手動で内蔵フラッシュを上げます。内蔵フラッシュを収納しているときは発光しません。

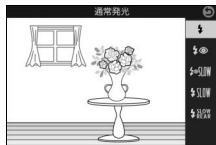
1 フラッシュポップアップボタンを押して、内蔵フラッシュを上げる



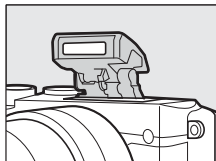
フラッシュポップアップボタン

2 フラッシュモードを設定する

- ロータリーマルチセクターの⚡（フラッシュモード）を押してから、ロータリーマルチセクターでフラッシュモードを選び、OKボタンを押します。



3 シャッターボタンを半押しして、ピントを合わせてから撮影する



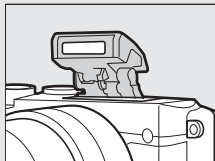
■ 設定できるフラッシュモード

内蔵フラッシュを手動で上げる撮影モードで設定できるフラッシュモードは次の通りです。

フラッシュモード	撮影モード
⚡ 通常発光：撮影のたびに内蔵フラッシュが発光します。	P、S、A、M
⚡👁 赤目軽減発光：人物撮影に適しています。フラッシュが発光する前に、赤目軽減ランプが点灯して、人物の目が赤く写る「赤目現象」を軽減します。	
⚡👁 SLOW 赤目軽減+スローシャッター：赤目軽減発光に加え、背景をきれいに写すために、自動的にシャッタースピードを遅くする「スローシャッター」が行われます。夜景や夕景をバックにした人物撮影などに適しています。	P、A
⚡ SLOW 通常発光+スローシャッター：通常発光に加え、背景をきれいに写すために、自動的にシャッタースピードを遅くする「スローシャッター」が行われます。	
⚡ SLOW 後幕発光+スローシャッター：後幕発光に加え、背景をきれいに写すために、自動的にシャッタースピードを遅くする「スローシャッター」が行われます。	S、M
⚡ REAR 後幕発光：通常発光時はシャッターが開くと同時にフラッシュが発光します（先幕発光）が、後幕発光ではシャッターが閉じる直前にフラッシュが発光します。動いている被写体の後方に流れる光や軌跡などを表現したい場合などに適しています。	
先幕発光 後幕発光	

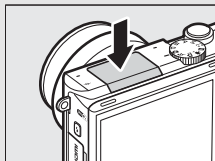
✓ 内蔵フラッシュのポップアップ

内蔵フラッシュを使うときは、フラッシュが図のように上がっていることを確認してください。フラッシュを使用して撮影する場合は、フラッシュに触れないようにご注意ください。



✎ 内蔵フラッシュの収納

内蔵フラッシュを収納するときは、カチッと音がするまで手で軽く押し下げます。バッテリーの消耗を防ぐため、フラッシュを使わないときは常に収納してください。



✎ レディーライトについて

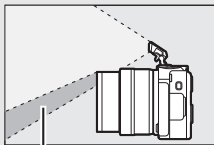
フラッシュの充電が完了しているときにシャッターボタンを半押しすると、液晶モニターにレディーライト (⚡) が表示されます。



▼ 内蔵フラッシュについてのご注意

- 内蔵フラッシュは無理に押し下げないでください。故障の原因となります。
- 内蔵フラッシュを連続して使うと、発光部を保護するために、一時的に発光が制限され、シャッターがきれなくなる場合があります。少し時間をおくと再び使えるようになります。
- 高いISO感度で近くの被写体を撮影する場合は、白とびが発生することがあります。
- 赤目軽減発光モードに設定している場合、レンズの種類によっては、赤目軽減ランプの光がさえぎられ、フラッシュ撮影時に十分な赤目軽減効果が得られないことがあります。
- ケラレを防止するために、レンズのフードは取り外して使用してください。
- 撮影距離0.6 m以上で使用してください。
- 使用するレンズや撮影距離によっては、フラッシュのケラレが発生することがあります。

ケラレとは、内蔵フラッシュの光がレンズの先端でさえぎられて影になり、写真に写りこむ現象です。



影



ケラレ

🔗 関連ページ

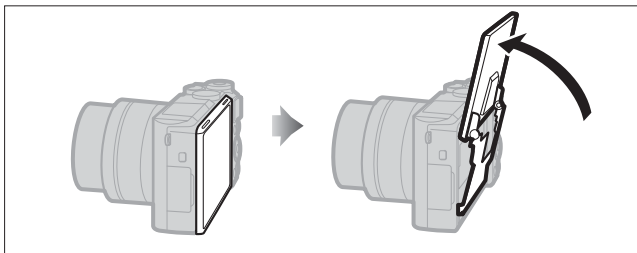
内蔵フラッシュの発光量を調整する → 📷 [フラッシュ調光補正] (📖192)

🔗 内蔵フラッシュの調光範囲（光の届く範囲）

内蔵フラッシュはISO感度と絞り値によって調光範囲（光の届く範囲）が異なります。

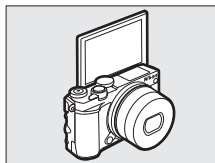
自分撮りモードで撮影する

チルト式液晶モニターを自分撮りのポジションにセットすると、液晶モニターの表示を確認しながら自分撮りができます。



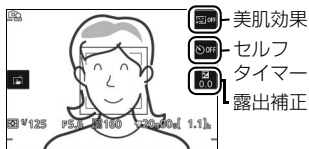
1 液晶モニターを自分撮りのポジションにセットする

- 自分撮りモードに切り替わります。



2 タッチして設定を変更する

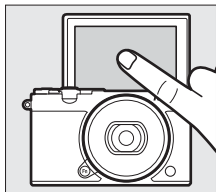
- 自分撮りモードでは次の設定を変更できます。



 美肌効果	タッチするとON/OFFが切り替わります。ONにすると肌をなめらかにする効果を付けて撮影します。撮影画面では効果は確認できません。
 セルフタイマー	タッチすると2秒/10秒/OFFの順に切り替わります。
 露出補正	露出補正 (□98) を行えます。露出補正インジケータで設定を変更し、 OK をタッチしてください。

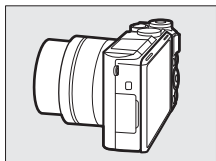
3 撮影する

- 液晶モニターをタッチすると、その位置にピントを合わせて静止画を撮影します。
- シャッターボタンを半押しすると、ピント合わせを行います。全押しすると静止画を撮影します。
- 動画撮影ボタンを押すと動画を撮影します。



4 自分撮りモードを終了する

- 自分撮りのポジションから液晶モニターを動かすと、自分撮りモードを終了します。

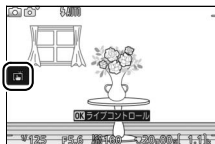


自分撮りモードについて

- 自分撮りモードにした場合、電源スイッチ、シャッターボタン、動画撮影ボタン、フラッシュポップアップボタン以外のボタン操作は無効になります。
- 美肌効果はカメラが認識した人物3人までに適用されます。
- フラッシュモードは常に「**閃AUTO 赤目軽減オート**」になります。内蔵フラッシュを使用したい場合、フラッシュポップアップボタンを押して手動で上げてください。
- 画質モードが「**RAW**」または「**RAW + FINE**」の場合は、画質モード「**FINE**」のJPEG形式で記録されます。
- 動画は常に「**1080/30p**」で撮影されます。
- セットアップメニューの「**自分撮りモード**」(□199)を「**しない**」に設定すると、液晶モニターを自分撮りモードの位置まで動かしても自分撮りモードに切り替わりません。撮影モードダイヤルで設定した撮影モードで静止画や動画を撮影できます。
- セットアップメニューの「**タッチ操作**」(□194)を「**無効**」にしている場合、自分撮りモードではタッチ操作が有効になります。

タッチ撮影機能について

撮影画面で右図のアイコンにタッチすると、タッチ撮影の機能を切り換えられます。切り換えられる機能は撮影モードやフォーカスモードによって異なります。



📷オートモード、📷Cクリエイティブモード、 自分撮りモード

	タッチした位置でピント合わせを行い、シャッターがきれます。
	タッチした位置にAFエリアを移動します。ピント合わせを行うには、シャッターボタンを半押ししてください。 • クリエイティブモードのシーンが「夜景」、「風景」または「クローズアップ」のときに選べます。
	タッチ撮影の機能が無効になります。



🏊スポーツモード

	タッチした位置にAFエリアを移動します。ピント合わせを行うには、シャッターボタンを半押ししてください。
	タッチ撮影の機能が無効になります。

P、S、A、Mモード

■ フォーカスモードが [MF] 以外の場合

	タッチした位置でピント合わせを行い、シャッターがきれます。
	タッチした位置にAFエリアを移動します。ピント合わせを行うには、シャッターボタンを半押ししてください。 • AFエリアモードが「シングルポイント」のときに選べます。
	ターゲット追尾 (□188) で撮影するとき、タッチした被写体を追尾してピントを合わせ続けます。 • AFエリアモードが「ターゲット追尾」のときに選べます。
	タッチ撮影の機能が無効になります。

■ フォーカスモードが [MF] の場合

	タッチすると、ピント合わせを行わずにシャッターがきれます。
	タッチした位置を中心に拡大表示します (□185)。
	タッチ撮影の機能が無効になります。

●+ アドバンスト動画モード

■ フォーカスモードが [AF-F]、[AF-S] の場合

	タッチした位置でピント合わせを行います。 AFエリアモードが [オートエリア] または [シングルポイント] のときに選べます。
	ターゲット追尾 (□188) で撮影するときに、タッチした被写体を追尾してピントを合わせ続けます。 AFエリアモードが [ターゲット追尾] のときに選べます。
	タッチ撮影の機能が無効になります。

■ フォーカスモードが [MF] の場合

	タッチした位置を中心に拡大表示します (□185)。
	タッチ撮影の機能が無効になります。

✓ タッチ撮影機能についてのご注意

アドバンスト動画モードの [4K動画]、ベストモーメントキャプチャーモードおよびモーションスナップショットモードのときは、タッチ撮影機能は使用できません。

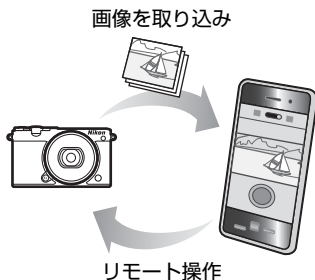
✓ タッチ操作で撮影するときのご注意

- タッチするときに力を入れすぎると、カメラが動いて画像がぶれる (手ブレする) ことがあります。
-  に設定していても、シャッターボタンを押して撮影できます。
- 動画撮影中は、画面をタッチしても静止画は撮影できません。
- 連写 (□94) に設定していても 1 コマしか撮影されません。連続撮影するには、シャッターボタンを押して撮影してください。
- セルフタイマー (□96) 設定時は、画面の被写体をタッチするとピントが固定され、10秒または2秒後にシャッターがきれます。

Wi-Fiを使う

Wi-Fiを使ってできること

このカメラは、専用ソフトウェアWireless Mobile Utilityをインストールしたスマートデバイス（スマートフォンまたはタブレット）とWi-Fi（無線LAN）で通信できます（☞113）。



🔗 スマートデバイスにWireless Mobile Utilityをインストールする

Google PlayサービスまたはApp Storeで「Wireless Mobile Utility」を検索し、スマートデバイスにインストールしてください。ソフトウェアの検索方法については、お使いのスマートデバイスの説明書をご覧ください。

- Wireless Mobile Utilityの詳しい操作方法は、下記のホームページから使用説明書（PDF形式）をダウンロードしてご覧ください。

- Android OS : <http://nikonimglib.com/ManDL/WMAU/>

- iOS : <http://nikonimglib.com/ManDL/WMAU-ios/>



Android OS

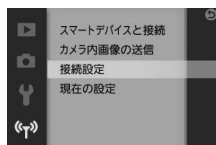


iOS

セキュリティを設定する

初期設定ではWi-Fi接続のセキュリティは設定されていません。プライバシー保護のため、カメラとスマートデバイスを接続する前にカメラ側でセキュリティ設定を行ってください。

1 Wi-Fiメニューの「接続設定」を選ぶ



2 「認証/暗号」で「WPA2-PSK-AES」を選ぶ

-  ボタンを押すとセキュリティが設定され、Wi-Fi接続時にスマートデバイス上でパスワード入力が必要になります。初期状態では、パスワードは「NIKON_J5」に設定されています。
- 「OPEN」を選ぶと、Wi-Fi接続時にパスワードが不要になります。
- パスワードはWi-Fiメニューの「現在の設定」で確認できます。

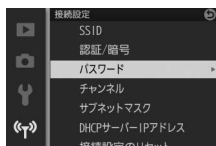


■ パスワードを任意の文字列に変更する

パスワードは好みに応じて変更できます。Wi-Fiメニューの[認証/暗号]で[WPA2-PSK-AES]を選んでいる場合のみ変更できます。

1 Wi-Fiメニューの[接続設定]で[パスワード]を選ぶ

- ④ ボタンを押すと、パスワード入力画面が表示されます。



2 新しいパスワードを入力する

- 初期状態では、「NIKON_J5」がパスワードエリアに入力されています。
- パスワードは8～36文字の範囲で設定できます。文字はカーソル位置に挿入されます。
- パスワードエリアをタッチするかコマンドダイヤルを左右に回すと、カーソル位置を移動できます。
- キーボードエリアで文字をタッチすると文字入力できます。ロータリーマルチセレクターで文字を選んで④ ボタンを押しても入れます。
- Fn ボタンを押すか、文字種変更アイコンをタッチすると、アルファベット大文字/小文字/数字/記号が切り換えられます。
- ④ をタッチすると、パスワードが変更されます。
- 変更したパスワードはWi-Fiメニューの[現在の設定]で確認できます。



▼ セキュリティーについて

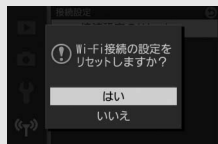
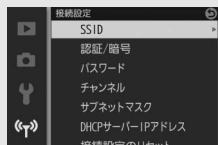
本製品は電波を利用して情報を交換するため、電波の届く範囲で自由に無線接続が可能であるという利点がありますが、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

- 情報の漏洩：悪意ある第三者が電波を故意に傍受し、IDやパスワードなどの個人情報情報が漏洩する可能性があります。
- 不正アクセス：悪意ある第三者が無断でネットワークにアクセスして、なりすまし、情報の改ざんなどの行為を行う可能性があります。また、本製品にセキュリティを設定したにもかかわらず、無線LANの仕様上、特殊な方法によりセキュリティが破られることもありますので、ご理解の上ご使用ください。

✎ [接続設定] について

[接続設定] では、パスワードの他に [SSID] と [チャンネル] などを設定できます。

- [SSID] では、Wi-Fi接続で使用するカメラのSSIDを任意の文字列に設定できます。文字の入力方法はパスワードと同様です。
- [チャンネル] では、Wi-Fi接続で使用する無線のチャンネルを1～11の間で設定できます。ロータリーマルチセクターの $\odot$ を押してチャンネル数を選び、 $\odot$ ボタンを押して決定します。
- [サブネットマスク] および [DHCP サーバー IP アドレス] は初期設定（サブネットマスク：[255.255.255.0]、DHCPサーバーIPアドレス：[192.168.0.1]）のまま使用することをおすすめします。
- [接続設定のリセット] で [はい] を選ぶと、すべての項目がリセットされて工場出荷時の設定に戻ります。



✎ [現在の設定] について

[現在の設定] では、SSID、認証/暗号、パスワード、チャンネル、サブネットマスク、DHCPサーバー IP アドレスを確認できます。

カメラとスマートデバイスを接続する

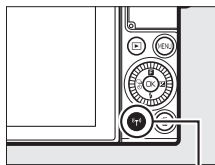
Wi-Fi（無線LAN）を使う前に、Android OS またはiOSのスマートデバイスに専用ソフトウェアWireless Mobile Utilityをインストールしてから、スマートデバイスとカメラを接続してください。

Android OS/iOS : SSIDでWi-Fi接続する

カメラと接続する前に、あらかじめスマートデバイスのWi-Fi機能をONにしてください。詳しくはスマートデバイスの使用説明書を参照してください。

1 「Wi-Fi」 ボタンを押す

- カメラのSSIDが表示されます。
- Wi-Fiメニューの「スマートデバイスと接続」を選んで、ロータリーマルチセレクトターの「Wi-Fi」を押してもSSIDが表示されます。



「Wi-Fi」 ボタン



2 スマートデバイスのWi-Fi設定でカメラのSSIDを選ぶ

- スマートデバイスの「設定」で「Wi-Fi」を選びます。
- カメラで表示されているSSIDを選ぶと、Wi-Fi接続されます。
- パスワードを設定（□□111）した後に初めてWi-Fi接続する場合、スマートデバイス上でパスワードを入力します。

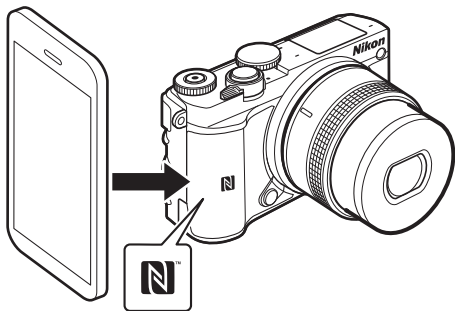
3 スマートデバイスにインストールしたWireless Mobile Utilityを起動する

- 詳しい使い方はWireless Mobile Utilityの使用説明書を参照してください（□□109）。

Android OS : NFCでWi-Fi接続する

NFC対応のスマートデバイスをお使いの場合は、カメラの**N**（Nマーク）とスマートデバイスのNFCアンテナ部をタッチするだけでWi-Fi接続できます。

- カメラと接続する前に、あらかじめスマートデバイスの Wi-Fi 機能と NFC 機能をONにしてください。詳しくはスマートデバイスの使用説明書を参照してください。
- カメラの**N**（Nマーク）とスマートデバイスのNFCアンテナ部をスマートデバイス検出のメッセージが表示されるまでタッチします。
- スマートデバイスのNFCアンテナ部の位置は、スマートデバイスの使用説明書を参照してください。



- スマートデバイス検出メッセージの表示後に Wi-Fi 接続が開始され、Wireless Mobile Utilityが自動で起動します。詳しい使い方はWireless Mobile Utilityの使用説明書を参照してください（□109）。

✓ NFCで接続できない場合

カメラの**N**（Nマーク）とスマートデバイスのNFCアンテナ部をタッチしても接続できない場合は、SSIDで接続してください（□113）。

✏ NFCについて

「NFC（Near Field Communication：近距離無線通信）」とは、国際標準規格の近距離無線通信技術です。

✔ Wi-Fi接続についてのご注意

- Wi-Fi（無線LAN）をお使いの前に、「Wi-Fi（無線LAN）機能について」（□xx）をお読みください。
- 電波の出力が禁止されている場所では、Wi-Fiの通信を行わないでください。
- USBケーブルを接続しているときは、Wi-Fi機能は使えません。
- Wi-Fi接続待機中の画面で、スマートデバイスからの接続がないまま約5分間経過すると、Wi-Fiの通信は終了します。
- 操作中のバッテリー切れを防ぐため、十分に充電されたバッテリーをお使いください。

✍ Wi-Fiの通信を終了するには

Wi-Fiの通信を終了するには、接続待機中の画面または接続動作中の画面でMENUボタンを押します。



カメラからスマートデバイスに画像を送信する

カメラで画像を選んでスマートデバイスに送信できます。動画は送信できません。

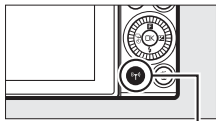
表示中の画像を送信する

1 送信する画像を選ぶ

- 1コマ表示モードで、送信する画像を表示します。

2 (Wi-Fi) ボタンを押す

- Wi-Fi接続が開始され、カメラの液晶モニターにSSIDが表示されます。



(Wi-Fi) ボタン



3 スマートデバイスのWi-Fi設定でカメラのSSIDを選ぶ

- スマートデバイスの「設定」で「Wi-Fi」を選びます。
- カメラで表示されているSSIDを選ぶと、Wi-Fi接続されます。
- パスワードを設定 (□□111) した後に初めてWi-Fi接続する場合、スマートデバイス上でパスワードを入力します。

4 スマートデバイスにインストールしたWireless Mobile Utilityを起動する

- 送信した画像をスマートデバイスで受信する方法は119ページを参照してください。

F (フィーチャー) メニューを使用する

再生画面でロータリーマルチセクターのFを押してFメニューを表示し、[Wi-Fi送信]を選んでOKボタンを押しても画像送信が可能です。

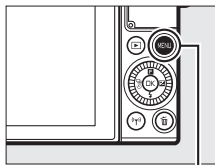


複数の画像をまとめて送信する

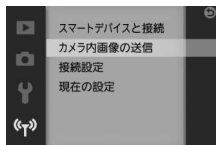
Wi-Fiメニューの「カメラ内画像の送信」では、複数の画像をまとめて送信できます。

1 「カメラ内画像の送信」を選ぶ

- MENUボタンを押して、Wi-Fiメニューの「カメラ内画像の送信」を選んでロータリーマルチセクターの▶を押します。



MENUボタン



2 送信する画像を選ぶ

- ◀▶を押して、画像を選びます。
- ⏏を押して設定します。設定すると📶アイコンが表示され、もう一度⏏を押すと解除されます。
- 画像をタッチしても設定できます。もう一度タッチすると解除されます。
- 送信する画像全てに設定してください。



3 設定を完了する

- OKボタンを押すと設定を完了して、液晶モニターにカメラのSSIDが表示されます。



4 スマートデバイスのWi-Fi設定でカメラのSSIDを選ぶ

- スマートデバイスの[設定]で[Wi-Fi]を選びます。
- カメラで表示されているSSIDを選ぶと、Wi-Fi接続されます。
- パスワードを設定(□111)した後に初めてWi-Fi接続する場合、スマートデバイス上でパスワードを入力します。

5 スマートデバイスにインストールしたWireless Mobile Utilityを起動する

- 送信した画像をスマートデバイスで受信する方法は119ページを参照してください。

NFC対応のスマートデバイスに送信する

1コマ表示モードまたはサムネイル表示モードでNFC(□114)を使って画面に表示されている画像または選んだ画像を送信できます。

1 送信する画像を選ぶ

- 1コマ表示モードの場合は、送信する画像を表示します。
- サムネイル表示モードの場合は、送信する画像を選びます。

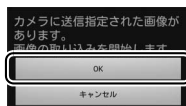
2 カメラのN(Nマーク)とスマートデバイスのNFCアンテナ部をスマートデバイス検出のメッセージが表示されるまでタッチする

- スマートデバイス検出メッセージの表示後にWi-Fi接続が開始され、Wireless Mobile Utilityが自動で起動します。
- 送信した画像をスマートデバイスで受信する方法は119ページを参照してください。

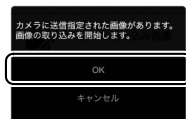
送信した画像をスマートデバイスで受信する

Wi-Fi接続後（□113、114）、スマートデバイスでWireless Mobile Utilityの「**写真を見る**」を選ばと、送信確認のメッセージが表示されます。「**OK**」を選ばと、カメラで送信した画像をスマートデバイスで受信できます。

Android OS



iOS

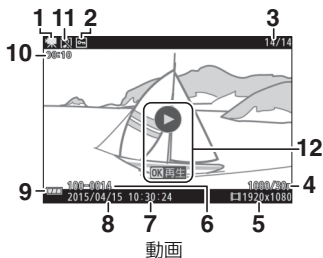
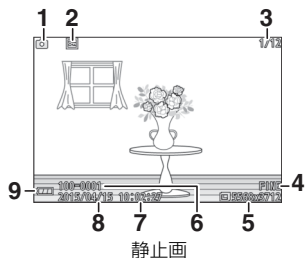


いろいろな再生機能

画像情報を表示する

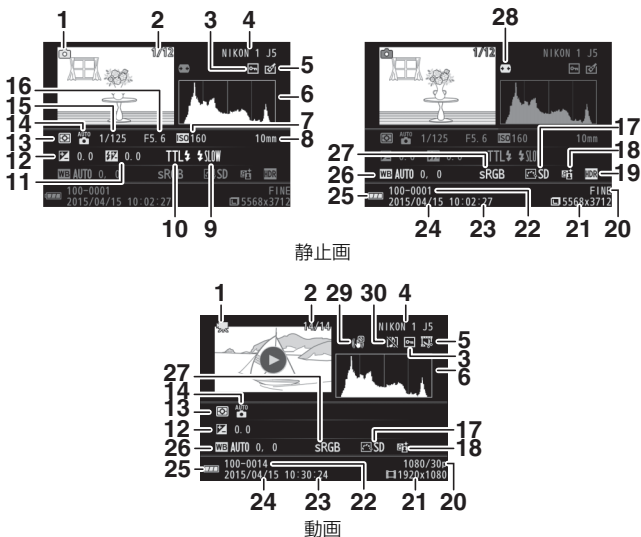
1コマ表示モード (□34) では、液晶モニターに表示中の画像の情報が表示されます。セットアップメニュー [モニター表示] の [再生画面の設定] では、再生時に液晶モニターに表示される情報を、「情報表示あり」、「統合表示」(□121)、「画像のみ (情報表示なし)」から選べます (□197)。

■ 情報表示あり



1	撮影モード	6	フォルダー番号-
2	プロテクト設定の有無 149		ファイル番号 122
3	コマ番号/全画像数	7	撮影時刻 29、200
4	画質モード 158	8	撮影日付 29、200
	撮影速度	9	バッテリー残量表示 30
	(フレームレート) 54、161	10	動画記録時間 42
5	画像サイズ 159	11	音声録音の有無 177
	動画解像度 54、161	12	操作ガイド 42

■ 統合表示

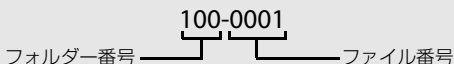


1	撮影モード	13	測光モード..... 162
2	コマ番号/全画像数	14	クリエイティブモード.....56
3	プロテクト設定の有無..... 149		露出モード..... 157
4	カメラ名	15	シャッタースピード..... 65、 67
5	画像編集の有無... 149、 150、 151	16	絞り値..... 66、 67
	動画編集の有無..... 152	17	Picture Control 170
6	画像のヒストグラム (□122) を表示します。横軸は明るさ、縦軸は明るさごとのピクセル数を表します。	18	アクティブD-ライティングの設定の有無 175
7	ISO感度..... 169	19	HDR59
8	焦点距離 235	20	画質モード..... 158
9	フラッシュモード.....100、 102		撮影速度
10	フラッシュ発光方式..... 191		(フレームレート) 54、 161
11	フラッシュ調光補正量 192	21	画像サイズ..... 159
12	露出補正值 98		動画解像度..... 54、 161
		22	フォルダー番号-ファイル番号
		23	撮影時刻..... 29、 200

24	撮影日付	29、200	27	色空間	174
25	バッテリー残量表示	30	28	自動ゆがみ補正	174
26	ホワイトバランス	163	29	動画電子手ブレ補正	182
	ホワイトバランス微調整	164	30	音声録音の有無	177

📁 フォルダー番号とファイル番号について

このカメラで撮影した画像には、撮影順に0001～9999の番号が付けられ、フォルダーごとに999枚ずつ保存されます。フォルダー内に999個のファイルが記録されたとき、またはファイル番号が9999に達したときは、新しいフォルダーが自動的に作成されます。



📊 ヒストグラムについて

• ヒストグラムとは、画像の明るさ（輝度）の分布を表すグラフのことです。横軸は明るさ、縦軸は明るさごとのピクセル数を示しています。

• いろいろな明るさの被写体が写っている画像では、グラフの山が全体的に分布したヒストグラムになります。



• 暗い画像はヒストグラムの分布が左側に寄った形になります。



• 明るい画像はヒストグラムの分布が右側に寄った形になります。

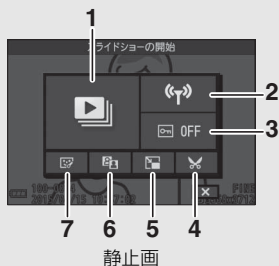


• 露出補正を+側にすれば山が右側に寄り、-側にすれば山が左側に寄ります。屋外などで周りが明るすぎて液晶モニターでは画像の明るさが確認しにくいときでも、ヒストグラムから画像全体の露出傾向を確認することができます。

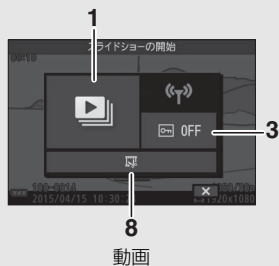
• ヒストグラム表示は、画像加工アプリケーションで表示されるヒストグラムと異なることがあります。目安としてお使いください。

F（フィーチャー）メニューについて

再生画面でロータリーマルチセレクターの**F**を押すと、次のような**F**メニュー（11）が表示されます。



静止画



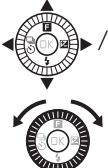
動画

1	スライドショーの開始	133	5	リサイズ	150
2	Wi-Fi送信	116	6	D-ライティング	149
3	プロテクト設定	149	7	メイクアップ	130
4	トリミング	151	8	動画編集	152



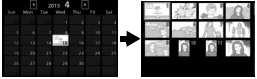
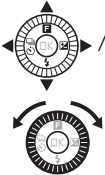
複数の画像を一覧表示する (サムネイル表示モード)

1コマ表示モードでコマンドダイヤルを左に回すと、複数の縮小画像(サムネイル画像)を表示する「サムネイル表示モード」に切り替わります。

表示コマ数を 増やす		コマンドダイヤルを左に回すたびに、表示コマ数(4コマ/9コマ/16コマ)が切り替わります。 
表示コマ数を減らす		コマンドダイヤルを右に回すたびに、表示コマ数(16コマ/9コマ/4コマ)が切り替わります。 
画像を選ぶ		ロータリーマルチセレクターの $\odot$ $\odot$ $\odot$ $\odot$ を押すと、黄色の枠(カーソル)が動いて、拡大表示(□126)や削除(□129)の対象となる画像を選べます。 • ロータリーマルチセレクターを回しても画像を選べます。
1コマ表示する		サムネイル表示モードを終了して、1コマ表示モードに戻ります。
画像を削除する		選んだ画像を削除します(□129)。

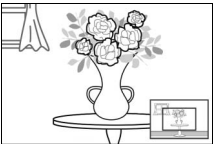
撮影した日付ごとに画像を表示する (カレンダー表示モード)

16コマ表示時 (□124) にコマンドダイヤルを左に回すと、撮影した日付ごとに縮小画像を表示する「カレンダー表示モード」に切り替わります。カレンダー表示モードは、選択している画像の撮影日付を表示します。

カレンダー表示モードに切り換える		16コマ表示時にコマンドダイヤルを左に回すと、「カレンダー表示モード」に切り替わります。 
16コマ表示に切り換える		カレンダー表示モードでコマンドダイヤルを右に回すと、16コマ表示に戻ります。 
日付を選ぶ		カレンダー表示モードでロータリーマルチセレクトターの $\odot$ $\odot$ $\odot$ $\odot$ を押すと、黄色の枠（カーソル）が動いて撮影した日付を選べます。 ロータリーマルチセレクトターを回しても日付を選べます。 
1コマ表示する		選択した日付の最初の画像を1コマ表示します。
画像を削除する		選んだ日付の画像を全て削除します。

画像を拡大表示する

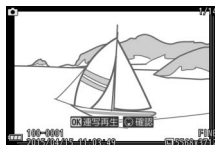
1コマ表示モードでコマンドダイヤルを右に回すと、拡大表示できます。動画やモーションスナップショット画像は、拡大表示できません。拡大表示中は次の操作を行えます。

拡大率を上げる		コマンドダイヤルを右に回すたびに、拡大率が上がります。	
拡大率を下げる		コマンドダイヤルを左に回すたびに、拡大率が下がります。	
画面をスクロール(移動)させる		画面をスクロールさせて、見たい部分に移動できます。	拡大表示中に拡大率を操作すると、画面の右下にナビゲーションウィンドウが表示され、拡大表示中の部分が黄色い枠で囲まれて表示されます。数秒すると消えます。
1コマ表示する		拡大表示を終了して、1コマ表示モードに戻ります。	



連写グループ画像を表示する

スポーツモード (□71)、連写 (□94)、ベストモーメントキャプチャーモードの「お気に入りフォト選択」(□73) または「スマートフォトセレクト」(□80) で撮影すると、複数の静止画を1つの連写グループ画像として扱います。



- 最初に記録されたコマが代表画像として設定されています。「スマートフォトセレクト」で撮影した場合は、カメラが選んだベストショットが代表画像に設定されます。
- 1コマ表示モードで連写グループ画像を選んで $\odot$ ボタンを押すと、連写グループにまとめられている画像を連続再生します。
- 1コマ表示モードで連写グループ画像を選んでロータリーマルチセレクトの $\odot$ を押すと、連写グループ内の画像を確認できます。連写グループ内表示中は次の操作を行えます。

1コマ進む/ 戻る		ロータリーマルチセレクトの $\odot$ を押すと、前の画像が表示されます。 $\odot$ を押すと、次の画像が表示されます。 • ロータリーマルチセレクトを回しても、表示が切り替わります。
拡大率を 上げる		コマンドダイヤルを右に回すたびに、拡大率が上がります。
拡大率を 下げる		コマンドダイヤルを左に回すたびに、拡大率が下がります。
画面を スクロール (移動) させる		拡大表示中に画面をスクロールさせて、見たい部分に移動できます。
代表画像 またはベスト ショット を変更する		画像を選んで $\odot$ ボタンを押すと、その画像を代表画像（スマートフォトセレクトの場合はベストショット）として設定できます。



画像を 削除する		画像を削除できます。 • [この画像]：表示中の画像が削除されます。 • [代表画像以外]（スマートフォトセレクトアーの場合は [ベストショット以外]）：代表画像以外すべての画像が削除されます。スマートフォトセレクトアーの場合はベストショット候補の画像が削除されます。
---------------------	---	---



連写グループ画像の管理ファイルについて

メモリーカード内の「NCFL」フォルダーにある「NCCONLST.LST」ファイルを削除したり、連写グループ画像として記録されている静止画のファイル名を変更したりしないでください。カメラで画像を再生した場合に連写グループ画像と認識されず、通常の静止画として連写グループ内の画像全てが表示されます。

関連ページ

連写グループ画像の表示方法を変更する →  **[連写グループ表示方法]** (148)

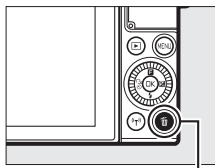
画像を削除する

メモリーカードに記録された画像を削除します。削除した画像は元には戻せないのをご注意ください。ただし、プロテクトを設定した画像は削除できません。

再生中の画像を削除する

1 コマ表示モードまたはサムネイル表示モードで  ボタンを押すと、削除確認の画面が表示されます。もう一度  ボタンを押して画像を削除します。

- 削除をやめるには、 ボタンを押します。



 ボタン

複数の画像をまとめて削除する

MENU ボタンを押して、再生メニューの [削除] を選ぶと、複数の画像を一括して削除できます。

- 次の項目から削除の方法を選び、 ボタンを押すと、確認画面が表示されます。[はい] を選ぶと、選んだ画像を削除します。
- たくさんの画像を削除するときは、時間がかかることがあります。



選択画像削除	画像選択画面 (□147) で画像を選び、ロータリーマルチセレクターの  を押して ON/OFF を切り換えます。
全画像削除	メモリーカード内の全ての画像を削除します。

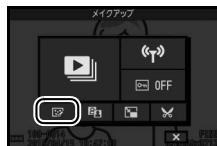
人物の顔にメイクアップ効果を付ける

再生画面の**■**（フィーチャー）メニューにある**「メイクアップ」**を選ぶと、静止画内の人物の顔にメイクアップ効果を付けることができます。メイクアップ効果には次の8種類があります。

 美肌	肌をなめらかに表現します。
 小顔	顔を小さくします。
 ビッグアイ	目を大きくします。
 肌トーンアップ	肌を明るくします。
 クマ軽減	目の下のクマを軽減します。
 ホワイトアイ	白目部分を明るくします。
 歯のホワイトニング	歯を白くします。
 チーク	頬にチークをのせます。チークの色は12色から選べます。

1 メイクアップ効果を付けたい人物が写っている静止画を表示中にロータリーマルチセレクターの**■**を押し、**「メイクアップ」**を選んで**OK**ボタンを押す

- カメラが人物の顔を認識できないなど、効果を付けられない画像の場合、**「メイクアップ」**は選べません。



2 効果を付けたい人物の顔を選ぶ

- ロータリーマルチセクターの $\odot$ $\odot$ を押して、メイクアップ効果を付けたい人物の顔を選びます。 $\odot$ ボタンを押して決定します。
- メイクアップ効果を付けられるのは1人です。
- カメラが認識した人物が1人の場合、人物選択画面は表示されません。手順3にお進みください。



3 適用したい効果を選ぶ

- $\odot$ $\odot$ を押すと、メイクアップ効果の項目を選べます。
- 画像によって、設定できない項目があります。この場合、その項目はグレーで表示されて選べません。

メイクアップ効果



4 効果の度合いを選ぶ

- $\odot$ $\odot$ を押すと、3段階で効果の度合いを調整できます。[チーク] の場合、チークの色を選べます。
- 効果は複数の種類を適用できます。手順3、4を繰り返して設定を行ってください。
- $\odot$ ボタンを押すと、プレビュー画像が表示されます。プレビュー画面で $\odot$ を押すと、設定画面に戻ります。



効果の度合い
効果オフ

5 効果を確認して画像を保存する

- $\odot$ ボタンを押すと、編集された画像が記録されます。



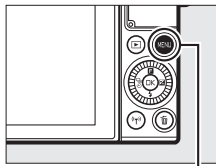
メイクアップ効果について

- メイクアップ効果を付けた画像は、元画像と同じ画質モードで記録します。ただし、画質モード（□158）を[RAW]にして撮影した画像は編集できません。また、[RAW+FINE]で撮影した画像を編集した場合、JPEG画像を元にして編集が行われ、画質モードが[FINE]のJPEG画像を作成します。
- 複数の効果を適用したり、アップで撮影された顔に効果を適用する場合は、画像の記録に時間がかかることがあります。



スライドショーで再生する

MENUボタンを押して、再生メニューの[スライドショー]を選ばと、撮影した画像を記録された順番に1コマずつ連続再生できます。



MENU ボタン

1 スライドショーで再生する画像の種類を選ぶ

- 次の項目から、再生する画像の種類を選び、**OK**ボタンを押します。

全画像	メモリーカード内の全ての画像を再生します。
静止画	静止画のみを再生します。[かんたんパノラマ]で撮影した画像の場合、パノラマ再生（□62）を行います。
動画	動画のみを再生します。モーションスナップショットで撮影した動画で、[ファイル形式]（□89）が[MOV形式]の動画も再生します。
モーション スナップショット	モーションスナップショットで撮影した動画のみを再生します（同時に撮影した静止画は再生しません）。[ファイル形式]（□89）を[NMS形式]に設定して撮影した動画のみ再生します。
日付選択	右のようなカレンダーが表示されます。ロータリーマルチセレクターで日付を選ぶと、選択した日付に撮影した画像のみを再生できます。



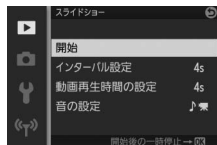
2 スライドショーの表示時間、音声の設定をする

- 各画像の表示時間および音声の設定を行います。

インターバル設定	各画像を表示する時間を設定できます。
動画再生時間の設定	動画の再生時間を設定できます。[インターバル設定の時間]を選ぶと、[インターバル設定]で設定した時間で再生します。[制限なし]を選ぶと、それぞれの動画を、記録した時間分再生します。
音の設定	スライドショー再生中の音声を設定できます。[動画音声あり]を選ぶと、動画の音声と、音声を[環境音] (□89) に設定して撮影したモーションスナップショットの動画の音声のみを再生します。静止画の再生時には、音声を再生しません。

3 [開始] を選ぶ

- [開始] を選んでⓧボタンを押すと、スライドショーが始まります。



📌 連写グループ画像の再生について

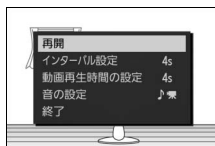
連写グループ画像 (□127) は、再生メニュー [連写グループ表示方法] (□148) の設定によってスライドショーの再生動作が異なります。

- [代表画像のみ]：代表画像のみスライドショーで再生されます。
- [1枚ずつ]：連写グループに含まれるすべての画像をスライドショーで再生します。

■■ スライドショー再生時の操作

1コマ進む/戻る		ロータリーマルチセクターの⌚を押すと、前の画像が表示されます。▶を押すと、次の画像が表示されます。 ロータリーマルチセクターを回しても、表示を切り換えられます。
一時停止/再開		スライドショーが一時停止します。もう一度OKボタンを押すと再開します。
音量を調整する		コマンドダイヤルを左右に回すと音量を調節できます。
通常再生に戻る		スライドショーを中止して、1コマ表示モード(□34)に戻ります。

再生が終わると、右のような画面が表示されます。[再開]を選んでOKボタンを押すと、スライドショーが再開します。[終了]を選んでOKボタンを押すと、スライドショーが終了します。



パソコン、テレビ、 プリンターとの接続

ViewNX-iを使用して画像をパソコンに取り込む

ViewNX-iをインストールする

ViewNX-iを使用すると、画像や動画をパソコンに転送して閲覧することができます。ViewNX-iのインストールにはインターネットに接続できる環境が必要です。ソフトウェアの最新情報、動作環境は、当社ホームページ（□xvii）のサポート情報でご確認ください。

- ViewNX-iは、下記のホームページからViewNX-iの最新のインストーラーをダウンロードし、画面の指示に従ってインストールしてください。

<http://downloadcenter.nikonimglib.com/>



Capture NX-Dについて

Capture NX-Dは、カメラで撮影した画像を調整したり、RAW現像したりできるニコンのソフトウェアです。Capture NX-Dは下記ホームページからダウンロードしてインストールできます。

<http://downloadcenter.nikonimglib.com/>

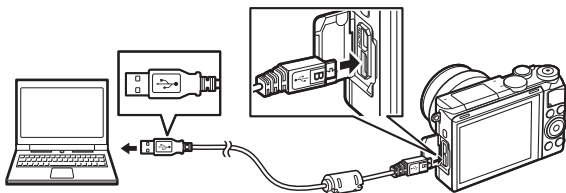
モーションスナップショット画像の再生について

〔ファイル形式〕（□89）を〔NMS形式〕に設定して撮影したモーションスナップショット画像をパソコンで再生するには、ViewNX-iが必要です。

パソコンに画像を取り込む

1 パソコンに接続する

- メモリーカードを入れたカメラの電源をOFFにしてから、付属のUSBケーブルでカメラとパソコンを接続し、カメラの電源をONにします。



2 ViewNX-iのNikon Transfer 2が起動する

- 起動するプログラム（ソフトウェア）を選ぶ画面がパソコンに表示されたときは、Nikon Transfer 2を選びます。

3 画像をパソコンに取り込む

- 「転送開始」をクリックすると、記録されている画像がパソコンに取り込まれます（Nikon Transfer 2の初期設定）。



「転送開始」

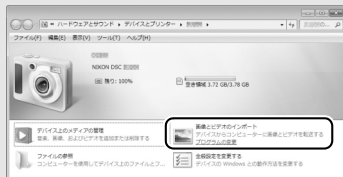


4 接続を解除する

- カメラの電源をOFFにして、USBケーブルを抜きます。

Windows 7をお使いの場合

図のような画面が表示されたときは、次の手順でNikon Transfer 2を選びます。



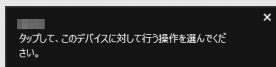
- 1 「画像とビデオのインポート」で使用するプログラムにNikon Transfer 2を選ぶ

- 「画像とビデオのインポート」の「プログラムの変更」をクリックすると表示される画面で、「画像ファイルを取り込む-Nikon Transfer 2使用」を選んで、「OK」をクリックします。

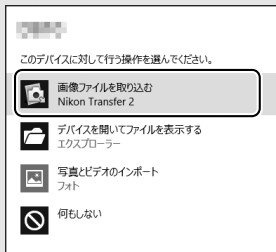
- 2 「画像ファイルを取り込む」をダブルクリックする

Windows 8.1をお使いの場合

Windows 8.1の設定によっては、図のようなダイアログが表示されます。この場合は次の手順でNikon Transfer 2を選びます。



- 1 ダイアログをクリックする
- 2 「画像ファイルを取り込む-Nikon Transfer 2」をクリックする



ViewNX-iの詳しい使い方は

ViewNX-iのヘルプを参照してください。

パソコンとの接続時のご注意

- カメラとパソコンが通信している間は、カメラの電源をOFFにしたり、USBケーブルを抜いたりしないでください。
- ケーブルを接続するときは、端子の挿入方向を確認して無理な力を加えずに、まっすぐに差し込んでください。端子を引き抜くときも、まっすぐに引き抜いてください。
- ケーブルを抜き差しするときは、必ずカメラの電源がOFFになっていることを確認してください。
- カメラとパソコンを接続するときは、十分に充電されたバッテリーをお使いになることをおすすめします。

USBハブについて

USBハブを使ってカメラをパソコンやプリンターに接続すると、正しく動作しないことがあります。



画像をテレビで見る

カメラをテレビなどに接続して、撮影した画像をテレビ画面に表示できません。

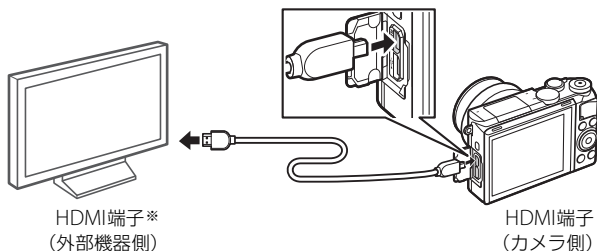
HDMIケーブルを使ってハイビジョンテレビと接続する

カメラをHDMI端子のあるハイビジョンテレビなどと接続できます。

- 接続には市販のHDMI端子用ケーブル（Type D）が必要です。別途お買い求めください。

1 カメラの電源をOFFにする

2 カメラとハイビジョンテレビを接続する



※使用する外部機器の端子に合わせたケーブルをお使いください。

3 テレビの入力をHDMI入力に切り換える

4 カメラの電源をONにして、ボタンを押す

- 撮影した画像がテレビの画面に表示されます。カメラをテレビに接続している間、液晶モニターは消灯します。

ケーブルを抜き差しするときは

- HDMIケーブルを抜き差しするときは、必ずカメラの電源をOFFにしてください。
- ケーブルは、無理な力を加えず、端子にまっすぐ差し込んでください。

端子カバーについて

使用しない場合は、必ず端子カバーを閉じてください。ゴミなどが入ると、誤作動の原因となることがあります。

テレビでの画像の再生について

- テレビ画面では、画像の周辺部が一部ケラレて表示される場合があります。
- テレビでの再生などでカメラを長時間使うときは、別売のパワーコネクター EP-5FとACアダプター EH-5bを組み合わせてお使いになることをおすすめします。

動画の音声について

テレビで動画を再生するときは、音量をテレビ側で調節してください。カメラでは音量調節できません。



画像をプリンターで印刷する

PictBridge（ピクトブリッジ ㊞245）対応プリンターをお使いの場合、パソコンを使わずに、カメラとプリンターを付属のUSBケーブルで直接接続してメモリーカード内の画像をプリントできます（ダイレクトプリント）。

カメラとプリンターを接続する

1 カメラの電源をOFFにしてからプリンターの電源をONにする

2 カメラとプリンターを接続する

- USBケーブルは、無理な力を加えず、端子にまっすぐ差し込んでください。

3 カメラの電源をONにする

- 正しく接続されると、液晶モニターにPictBridgeのロゴが表示された後、撮影した画像が表示されます。



❑ ダイレクトプリントについてのご注意

- RAW画像（㊞158）や動画はダイレクトプリントできません。モーションスナップショット画像の場合は静止画のみが、プリントの対象になります。
- [フチ設定] と [範囲指定] は、それぞれの機能に対応していないプリンターでは選べません。なお、[範囲指定] で狭い範囲を大きくプリントした場合は、画像が粗くプリントされる場合があります。

❑ パノラマ写真をプリントするときのご注意

パノラマ写真をプリントする場合、プリンターの設定によっては、全景をプリントできないことがあります。また、プリンターによっては、プリントできないことがあります。詳しくは、お使いのプリンターの説明書またはプリントサービス店などでご確認ください。

1コマだけプリントする

1 プリントしたい画像を選んで $\odot$ Kボタンを押す

- ロータリーマルチセクターの $\odot$ を押してプリントしたい画像を選びます。
- コマンドダイヤルを左に回すと、9コマ表示に切り替わります。ロータリーマルチセクターの $\odot$ を押して、画像を選びます。コマンドダイヤルを右に回すと、1コマ表示に戻ります。
- 1コマ表示中にコマンドダイヤルを右に回すと、表示中の画像を拡大表示します（ $\square$ 126）。コマンドダイヤルを左に回すと、1コマ表示に戻ります。

2 プリント設定の項目を設定する

- 設定したい項目を選んで $\odot$ を押すと、それぞれの設定画面が表示されます。設定できる項目については、「プリント項目設定について」（ $\square$ 144）をご確認ください。

3 プリントを開始する

- [**プリント実行**] を選んで、 $\odot$ Kボタンを押すとプリントが始まります。
- プリントを中断したいときは、もう一度 $\odot$ Kボタンを押してください。



■ ■ プリント設定項目について

用紙設定※	プリントする用紙のサイズを選んで OK ボタンを押します。プリンターが対応する用紙サイズのみが表示されます。
枚数設定	プリントする枚数（1～99枚）を設定して OK ボタンを押します。
フチ設定※	「あり」を選んで OK ボタンを押すと、画像にフチを付けてプリントします。
日付 プリント※	「あり」を選んで OK ボタンを押すと、画像に日付をプリントします。
範囲指定	「する」を選んで、ロータリーマルチセレクターの $\blacktriangleright$ を押すと範囲指定画面が表示されます。プリント範囲（黄色の枠）は、コマンドダイヤルを左に回すと狭くなり、右に回すと広くなります。 $\blacktriangleleft$ $\blacktriangleright$ $\triangleleft$ $\triangleright$ を押すとプリント範囲が移動します。プリント範囲を決定するには OK ボタンを押します。

※ プリンターの設定を優先したいときは、「**プリンターの設定**」を選んでください。



複数の画像をプリントする

- 1 カメラとプリンターを接続し (□142)、撮影した画像が表示されたら、MENUボタンを押す

- 2 プリント方法を選んで、プリントする画像や枚数を設定する

- プリント方法を選んでロータリーマルチセクターのを押します。

プリント 画像選択	プリントする画像と枚数を選んでプリントします。 •  を押してプリントする画像を選び、 を押してプリント枚数(99枚まで)を設定します。 • 画像と枚数を設定したら、ボタンを押します。
INDEX プリント	メモリーカードの中のJPEG画像(□158)が一覧できる「インデックス」をプリントします。 • [INDEXプリント] 画面が表示されたら、ボタンを押します。 • インデックスプリントできるのは256コマまでです。メモリーカード内に257コマ以上の画像がある場合は、印刷されない画像があります(確認画面が表示されます)。 • 用紙サイズによっては、プリントできない場合があります(警告メッセージが表示されます)。

- 3 プリント設定の項目を設定する

- 設定したい項目を選んでを押すと、それぞれの設定画面が表示されます。設定できる項目については、「プリント設定項目について」(□144)をご確認ください。

- 4 プリントを開始する

- [プリント実行] を選んでボタンを押すと、プリントが始まります。
- プリントを中断したいときは、もう一度ボタンを押してください。

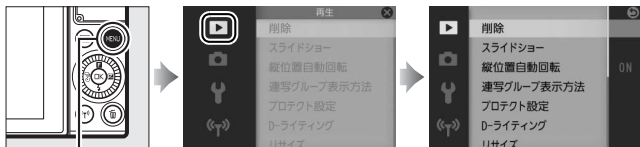
関連ページ

プリント時のエラーについては、「警告メッセージ」(□227)をご覧ください。



再生メニュー

MENUボタンを押してメニュー画面を表示し、[再生] を選ぶと、再生メニューが表示されます。



MENUボタン

メニュー項目	内容	初期設定	📖
削除	複数の画像を一括して削除します。	—	129
スライドショー	画像や動画を連続再生します。	表示設定：全画像 インターバル設定：4秒 動画再生時間の設定： インターバル設定の時間 音の設定：動画音声あり	133
縦位置自動回転	縦位置で撮影した画像を、自動的に回転して表示できます。	する	148
連写グループ表示方法	連写で撮影した画像を、どのように再生するかを設定します。	代表画像のみ	148
プロテクト設定	大切な画像を誤って削除しないために、画像にプロテクト（保護）を設定できます。	—	149
D-ライティング	画像の暗い部分を明るく補正できます。※	—	149
リサイズ	サイズの小さい画像を作成します。※	画像サイズの設定： 1280×856; 1.1 M	150
トリミング	画像の一部を切り抜きます。※	—	151
動画編集	動画の必要な部分を残します。※	—	152

※編集された画像は、元の画像とは別に、新しい画像としてメモリーカードに記録されます。

再生メニュー項目について

- このカメラ以外で撮影または編集した画像やパソコンで編集した画像は、このカメラでは再生または編集できないことがあります。
- [D-ライティング] (□149)、[リサイズ] (□150)、[トリミング] (□151) では、元画像と同じ画質モードで記録します。ただし、画質モード (□158) を [RAW] にして撮影した画像は編集できません。また、[RAW+FINE] で撮影した画像を編集した場合、JPEG画像を元にして編集が行われ、画質モードが [FINE] のJPEG画像を作成します。

画像選択画面について

再生メニューで次のメニュー項目を選べると、右のような画像選択画面が表示されます。

- [削除] の [選択画像削除] (□129)
- [プロテクト設定] (□149)
- [D-ライティング] (□149)
- [リサイズ] の [画像選択] (□150)
- [トリミング] (□151)
- [動画編集] (□152)



画像選択画面では、ロータリーマルチセレクターの $\odot$ を押して、処理を行いたい画像を選びます（処理の対象外の画像は選べません）。

- 各項目の画像選択画面での操作方法については、各項目の説明ページをご覧ください。



縦位置自動回転

縦位置で撮影した画像を、自動的に回転して表示できます。

☑ 縦位置自動回転についてのご注意

- [縦位置自動回転] を [する] に設定しても、セットアップメニューの [縦横位置情報の記録] (□201) を [しない] にして撮影した画像は、全て横位置で表示されます。
- 縦位置で撮影した状態のまま画像確認がしやすいように、[縦位置自動回転] を [する] に設定しても、撮影直後の画像確認時には自動回転しません。

連写グループ表示方法

スポーツモード (□71)、連写 (□94)、ベストモーメントキャプチャーモードの [お気に入りフォト選択] (□73) または [スマートフォトセレクト] (□80) で撮影した画像を、どのように再生するかを設定します。

代表画像のみ	1回の連続撮影で撮影した画像をまとめて1枚の画像(連写グループ)として扱い、代表画像のみを表示します。
1枚ずつ	1回の連続撮影で撮影した画像を、1枚ずつ表示します。



🔗 関連ページ

連写グループ画像を表示する (□127)

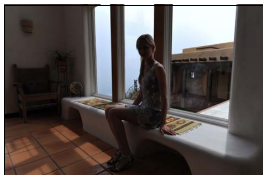
プロテクト設定

大切な画像を誤って削除しないために、画像にプロテクト（保護）を設定できます。ただし、メモリーカードを初期化（フォーマット □195）すると、プロテクトを設定した画像も削除されますのでご注意ください。

設定	選んだ画像にプロテクトを設定できます。 画像選択画面（□147）で画像を選び、ロータリーマルチセクターの  を押してON/OFFを切り換え、 ボタンを押します。
一括解除	全ての画像のプロテクト設定を解除します。

D-ライティング

選んだ画像の暗い部分を明るく補正できます。逆光で撮影したために顔の部分だけが暗くなった画像や、フラッシュの光量不足で暗くなった画像などに効果的です。



D-ライティング前



D-ライティング後



画像選択画面（□147）でD-ライティングを行う画像を選んでから  ボタンを押すと、編集画面に切り替わります。編集画面では、D-ライティング効果の適用前と適用後のプレビュー画像を表示します。

- ロータリーマルチセクターで効果の度合いを **[強め]**、**[標準]**、**[弱め]** の3段階から選びます。効果の度合いは、編集画面のプレビュー画像で確認できます。
-  ボタンを押すと、編集した画像が記録されます。

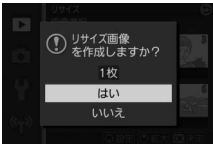


D-ライティングについてのご注意

- D-ライティングで補正した画像では、撮影時の状況（シーン）によっては、ざらつき、むら、すじが強調されることがあります。
- 被写体によっては画像に階調とびが発生する場合があります。
- [D-ライティング] では、元画像と同じ画像サイズで記録します。

リサイズ

サイズの小さい画像を作成します。

画像選択	画像選択画面（  147）で画像を選び、ロータリーマルチセレクターの  を押してON/OFFを切り換え、  ボタンを押すと、確認画面が表示されます。[はい] を選ぶと、選んだ画像を[画像サイズの設定]で選んだ画像サイズにリサイズして別画像として保存します。	
画像サイズの設定	リサイズで作成する画像のサイズを [1280×856; 1.1M] (1280×856ピクセル)、[960×640; 0.6M] (960×640ピクセル)、[640×424; 0.3M] (640×424ピクセル) から選べます。	

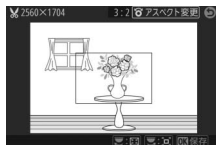


リサイズについてのご注意

リサイズ画像は、拡大表示できないことがあります。

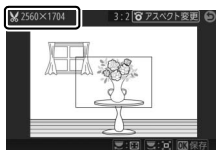
トリミング

選んだ画像の必要な部分だけを切り抜きます。画像選択画面（□147）でトリミングする画像を選んでから $\odot$ ボタンを押すと、編集画面に切り替わります。編集画面では、トリミング範囲の黄色い枠が表示され、次の操作ができます。



切り抜く範囲を狭くする		コマンドダイヤルを左に回すたびに、トリミングで切り抜かれる範囲が狭くなります。
切り抜く範囲を広くする		コマンドダイヤルを右に回すたびに、トリミングで切り抜かれる範囲が広がります。
画像のアスペクト比（横：縦）を変更する		ロータリーマルチセクターを回すと、縦横比を3:2、4:3、1:1、16:9に変更できます。
切り抜く範囲を移動する		トリミングで切り抜く範囲を移動します。
トリミングを実行して画像を保存する		トリミングした画像が記録されます。

- トリミング画像の画像サイズは編集画面の左上に表示されます。画像サイズは、トリミング時の拡大率とアスペクト比（横：縦）により変わります。



☑ トリミングについてのご注意

トリミング画像は、拡大表示できないことがあります。



動画編集

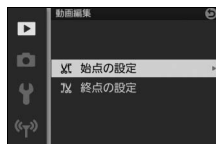
動画の必要な部分を残します。

1 [始点の設定] または [終点の設定] を選ぶ

- [始点の設定] を選んで  を押すと、選んだ始点より後ろの部分が残ります。



- [終点の設定] を選んで  を押すと、選んだ終点より前の部分が残ります。



2 編集したい動画を選ぶ

- 画像選択画面 (□147) で編集したい動画を選んで  ボタンを押すと、動画編集画面が表示されます。

3 編集したい部分で動画を一時停止する

-  ボタンを押すと、動画が再生されます (□42)。
- 再生中に  を押すと、一時停止します。先頭フレームには  アイコンが、最終フレームには  アイコンが、動画再生インジケータに表示されます。
- 一時停止中に   を押すと、コマ戻し/コマ送りします。



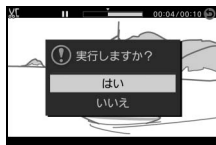
4 始点または終点を決める

- を押して、始点または終点を決定します。



5 動画を作成する

- [はい] を選んで  ボタンを押すと、編集前の動画とは別に、編集した新しい動画として保存されます。



✓ 動画編集時のご注意

- メモリーカードに十分な空き容量がない場合、動画編集できません。
- 2秒未満（4K動画またはスローモーション動画は3秒未満）の動画は編集できません。手順4で始点または終点を決めるときに、動画ファイルを作成できない位置では、再生時間の表示が赤色に変わって警告します。
- 動画の前後両方を削除するには、まず動画編集で前の部分を削除します。次に、前の部分を削除した動画の後ろの部分を削除してください。

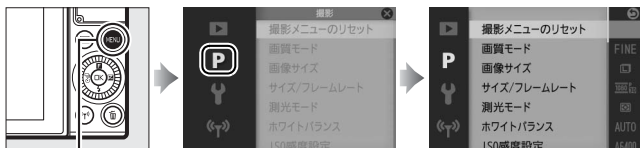
✍ 動画編集を開始する前に

動画を編集するときは、バッテリー切れを防ぐため、十分に充電されたバッテリーをお使いください。



撮影メニュー

MENUボタンを押してメニュー画面を表示し、[撮影] を選ぶと、撮影メニューが表示されます。



MENUボタン

メニュー項目	内容	初期設定	📖
撮影メニューのリセット	撮影メニューの各項目など、撮影に関する設定をリセットして初期設定に戻します。	—	157
クリエイティブ	クリエイティブモードのシーンを選べます。	ポップ	56
ベストモーメントキャプチャー	ベストモーメントキャプチャーモードの撮影方法を「お気に入りフォト選択」、[スロービュー] または [スマートフォトセレクト] から選べます。	お気に入り フォト選択	73
アドバンスト動画	アドバンスト動画モードで撮影するときの動画の種類を設定できます。	HD動画	46
露出モード	ベストモーメントキャプチャーモードの「お気に入りフォト選択」(📖73) と [スロービュー] (📖78)、モーションスナップショットモード (📖85) および [タイムラプス動画] 以外のアドバンスト動画モード (📖46) で露出を決めるときモードを選べます。	おまかせシーン	157
画質モード	画像を記録するときのファイル形式と画質を設定できます。	FINE	158

メニュー項目	内容	初期設定	
画像サイズ	画像を記録するときの画像サイズを設定できます。	5568×3712; 20.6 M※	159
サイズ/ フレーム レート	オートモード、 P、S、A、M モード、スポーツモードのとき、またはアドバンスド動画モードが [HD動画] (□46) のときの解像度とフレームレートを設定できます。	1080/30p	161
測光モード	適正な露出を得るためにカメラが被写体の明るさを測る方法 (測光モード) を設定できます。	マルチパターン 測光	162
ホワイト バランス	光源の種類に合わせてホワイトバランスを設定できます。	オート	163
ISO感度 設定	ISO感度を設定できます。	オート160– 6400	169
Picture Control	記録する画像の仕上がり (ピクチャーコントロール) を、撮影シーンや好みに合わせて選べます。	スタンダード	170
自動ゆがみ 補正	広角レンズ使用時のたる型のゆがみや、望遠レンズ使用時の糸巻き型のゆがみを補正して撮影します。	しない	174
色空間	記録する静止画の色空間を指定できます。	sRGB	174
アクティブ D-ライティ ング	白とびや黒つぶれを軽減した、見た目のコントラストに近い画像を撮影できます。	する	175
長秒時 ノイズ低減	シャッタースピードが遅いときに発生するノイズを低減できます。	しない	176
高感度 ノイズ低減	ISO感度が高くなるほど発生しやすいノイズを低減できます。	する	176
動画音声の 設定	動画撮影時の内蔵マイクの感度の程度を設定します。また、風切り音を低減するかどうかを設定できます。	録音設定：マイク感度 オート (A) 風切り音低減：する	177

※クリエイティブモードの**[かんたんパノラマ]**の場合は**[パノラマ標準]**になります。



メニュー項目	内容	初期設定	📖
動画中おまかせスナップ	動画撮影中に、カメラが自動で静止画を撮影します。撮影頻度も設定できます。	自動撮影：しない 撮影頻度：最大4枚/分	178
インターバルタイマー撮影	設定した撮影間隔（インターバル）と撮影回数で自動的に撮影するインターバルタイマー撮影を行えます。	撮影間隔：01'00"、 撮影回数：001	179
光学手ブレ補正	手ブレ補正機能のある1 NIKKORレンズの装着時に、光学手ブレ補正を行うかどうかを設定できます。	する	181
動画電子手ブレ補正	モーションスナップショットモードで撮影するとき、または動画を撮影するときに設定できます。アドバンスド動画モードでは【HD 動画】（📺46）の場合のみ設定できます。	しない	182
フォーカスモード	撮影目的に合わせて、ピントの合わせ方を選べます。	—	183
AFエリアモード	ピントを合わせるAFエリアをカメラがどのように選択するかを設定できます。	オートエリア	187
顔認識	人物を撮影する場合に、顔認識をするかどうかを設定できます。	する	189
内蔵AF補助光の照射	暗い場所でもAF補助光を自動的に照射させないように設定できます。	する	190
フラッシュ発光	内蔵フラッシュの発光方式を設定できます。	フラッシュ発光 モード種別： TTLモード マニュアル発光 モード：Full	191
フラッシュ調光補正	内蔵フラッシュの調光補正量を設定できます。	0.0	192



撮影メニューのリセット

撮影メニューの各項目など、撮影に関する設定をリセットして初期設定に戻します (□154、214)。

露出モード

ベストモーメントキャプチャーモードの[お気に入りフォト選択] (□73) と[スロービュー] (□78)、モーションスナップショットモード (□85) および[タイムラプス動画] 以外のアドバンスト動画モード (□46) で露出を決めるときのモードを選べます。撮影の意図に応じて、シャッタースピードと絞り値のそれぞれを自分で設定したり、カメラまかせにしたりすることができます。

 おまかせシーン	カメラが撮影シーンや被写体に合わせて、最適な設定で撮影します (シーンの自動判別、□36)。
P プログラムオート (□64)	シャッターチャンスを見逃したくないスナップ撮影などに使います。シャッタースピードと絞り値の両方をカメラが自動制御します。
S シャッター優先オート (□65)	被写体の動きを強調して撮影したいときなどに使います。シャッタースピードを自分で設定し、絞り値はカメラが自動制御します。
A 絞り優先オート (□66)	背景のぼかし方を調節して撮影したいときなどに使います。絞り値を自分で設定し、シャッタースピードはカメラが自動制御します。
M マニュアル (□67)	シャッタースピードと絞り値の両方を自分で設定します。



画質モード

静止画を記録するときのファイル形式と画質を設定できます。

画質モード		ファイル形式	説明
RAW		NEF	撮像素子の生データ（12ビット圧縮RAW形式）を記録します。撮影時に設定したホワイトバランスやコントラストなどを、パソコン上で変更できます。
FINE	高 ▲ 画質 ▼ 低	JPEG	画像データは約1/4に圧縮されます。
NORMAL			画像データは約1/8に圧縮されます。
RAW+FINE		NEF+JPEG	RAWとJPEG（FINE）の2種類の画像を同時に記録します。

☑ 「RAW」 についてのご注意

- Capture NX-Dなどのソフトウェアを使うと、RAW画像を現像できます。
- 画質モードが「RAW」のときは、「画像サイズ」を変更できません。

✍ RAW画像とJPEG画像の同時記録について

- カメラでの再生時には、JPEG画像だけが表示されます。
- JPEG画像をカメラ上で削除すると、同時記録されたRAW画像も削除されます。



🔪 ファイル名について

- このカメラで撮影したモーションスナップショット画像には、NMS_nnnn.xxx、その他の静止画や動画には、DSC_nnnn.xxxという名前が付けられます。nnnnには撮影順に0001～9999までの数字が入ります。xxxには選んだ画質モードによって、次の拡張子が入ります。
 - NEF：RAWの場合
 - JPG：FINE/NORMALの場合
 - MOV：動画の場合
- 【ファイル形式】(□89)を【MOV形式】に設定したモーションスナップショット画像の場合、DSC_nnnn.movという名前が付けられます。
- 【RAW + FINE】で撮影した場合、ファイル名は同じですが、拡張子がそれぞれNEF (RAW画像) とJPG (FINE画像) になります。
- 再生メニューで編集した静止画のファイル名は「CSC_nnnn.jpg」になります。
- 撮影メニューの【色空間】(□174)を【Adobe RGB】にした場合は、ファイル名が「_DSCnnnn.xxx」(または「_CSCnnnn.xxx」)となります。

画像サイズ

静止画を記録するときの画像サイズを設定できます。

■■【かんたんパノラマ】以外

画像サイズ		画像の大きさ	プリント時の大きさ※ (出力解像度300dpi の場合)
 5568×3712; 20.6 M	大 ▲ サイズ ▼ 小	5568×3712 ピクセル	約47.1×31.4cm
 4176×2784; 11.6 M		4176×2784 ピクセル	約35.4×23.6 cm
 2784×1856; 5.1 M		2784×1856 ピクセル	約23.6×15.7 cm

※ピクセル数÷出力解像度 (dpi) ×2.54 cmで計算しています。



■ [かんたんパノラマ]

画像サイズ	画像の大きさ ※1	プリント時の大きさ※2 (出力解像度300dpi の場合)
 パノラマ 標準	水平移動時：4800×920ピクセル	約40.6×7.8 cm
	垂直移動時：1536×4800ピクセル	約13×40.6 cm
 パノラマ ワイド	水平移動時：9600×920ピクセル	約81.3×7.8 cm
	垂直移動時：1536×9600ピクセル	約13×81.3 cm

※1 カメラを縦位置で構えたときの画像サイズは、移動方向と縦と横の組み合わせが入れ替わります。

※2 ピクセル数÷出力解像度 (dpi) ×2.54 cmで計算しています。

関連ページ

「1枚のメモリーカードに記録できるコマ数（静止画）と時間（動画）」（□216）



サイズ/フレームレート

オートモード、**P**、**S**、**A**、**M**モード、スポーツモードのとき、またはアドバンスド動画モードが**[HD動画]** (□46) のときの解像度とフレームレートを設定できます。

	解像度	記録レート	ビットレート	最長記録時間
 1080/60p	1920×1080	59.94fps	約42Mbps	10分
 1080/30p	ピクセル	29.97fps	約24Mbps	17分
 720/60p	1280×720	59.94fps	約16Mbps	20分
 720/30p	ピクセル	29.97fps	約12Mbps	29分

動画撮影中に撮影できる静止画の画像サイズについて

動画撮影中にシャッターボタンを全押しして撮影できる静止画 (□41) のアスペクト比（横：縦）は常に3：2になり、画像サイズは5568×3712ピクセルで記録されます。

関連ページ

「1枚のメモリーカードに記録できるコマ数（静止画）と時間（動画）」 (□216)



測光モード

適正な露出を得るためにカメラが被写体の明るさを測る方法（測光モード）を設定できます。

 マルチパターン 測光	ほとんどの撮影状況に対応できる測光モードです。画面の広い領域を測光して、被写体の輝度（明るさ）分布、色、距離や構図などさまざまな情報を瞬時に分析するため、見た目に近い画像が得られます。
 中央部重点測光	画面の中央部分を重点的に測光します。画面中央にメインの被写体を大きく配置して撮影する場合などに適しています。 露出倍数のかかるフィルターをお使いになるときは、中央部重点測光をおすすめします。
 スポット測光	選んだAFエリアに重なる部分だけを測光します。逆光時や被写体の明暗差が激しいときなど、狭い範囲での露出を基準にして撮影したい場合に適しています。 測光エリアは、AFエリアに連動します。ただし、[AFエリアモード]（□□187）が[オートエリア]のときは、中央のAFエリアに相当する部分を測光します。また、顔認識で人物を撮影するとき（□□36）は、認識した顔の中心のAFエリアに相当する部分を測光します。



ホワイトバランス

光源に合わせて、画像が見た目に近い色で撮影されるようにすることを「ホワイトバランスを合わせる」といいます。

ホワイトバランスを選ぶ

初期設定の「**AUTO**オート」でほとんどの光源に対応できますが、撮影した画像が思い通りの色にならないときは、天候や光源に合わせてホワイトバランスを変更してください。

AUTO オート	カメラが自動的にホワイトバランスを調節します。ほとんどの撮影状況に適しています。
 電球	白熱電球下での撮影に適しています。
 蛍光灯	白色蛍光灯下での撮影に適しています。
 晴天	晴天の屋外での撮影に適しています。
 フラッシュ	フラッシュを使って撮影する場合に適しています。
 曇天	曇り空の屋外での撮影に適しています。
 晴天日陰	晴天の日陰での撮影に適しています。
PRE プリセット マニュアル	特殊な照明の下などでの撮影に適しています。詳しくは、「事前に取得したホワイトバランスを使う(プリセットマニュアル)」(□166)をご覧ください。



ホワイトバランスを微調整する

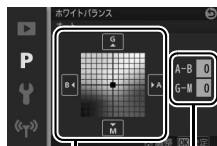
1 設定したいホワイトバランスを選ぶ

- ホワイトバランスの一覧画面でホワイトバランスを選びます。



2 微調整画面を表示する

- ロータリーマルチセレクターの  を押すと、微調整画面が表示されます。

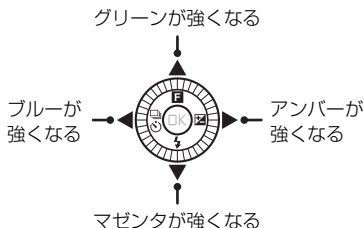


座標

設定段数

3 微調整値を設定する

-  を押して、座標上のカーソルを動かします。
- A（アンバー）、B（ブルー）、G（グリーン）、M（マゼンタ）の4方向で、各方向6段まで微調整できます。

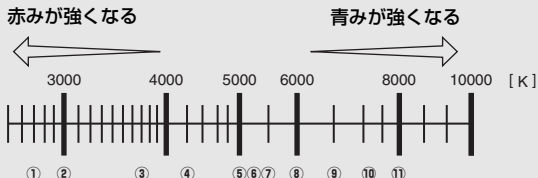


4 決定する

-  ボタンを押して決定します。

色温度について

光の色には、赤みを帯びたものや青みを帯びたものがあり、人間の主観で光の色を表すと、見る人によって微妙に異なります。そこで、光の色を絶対温度（K：ケルビン）という客観的な数字で表したのが色温度です。色温度が低くなるほど赤みを帯びた光色になり、色温度が高くなるほど青みを帯びた光色になります。



①	ナトリウム灯混合光 (約2700K)	⑥	☀ 晴天 (約5200K)
②	💡 電球 (約3000K) 電球色蛍光灯 (約3000K)	⑦	⚡ フラッシュ (約5400K)
③	温白色蛍光灯 (約3700K)	⑧	☁ 曇天 (約6000K)
④	💡 白色蛍光灯 (約4200K)	⑨	昼光色蛍光灯 (約6500K)
⑤	昼白色蛍光灯 (約5000K)	⑩	高色温度の水銀灯 (約7200K)
		⑪	🏠 晴天日陰 (約8000K)

ホワイトバランスの微調整について

- [PREプリセットマニュアル] の場合、微調整画面は表示されません。
- ホワイトバランスの微調整画面で表示されている色は、色温度方向の目安の色を表しています。微調整画面で設定しても、設定したそのままの色の画像にはならない場合があります。たとえば、ホワイトバランスを [💡電球] に設定してB（ブルー）方向に微調整しても、青色が強い画像にはなりません。
- ホワイトバランスを微調整すると、詳細表示 (□197) で微調整したホワイトバランスのアイコンにアスタリスク（*）が表示されます (□4)。



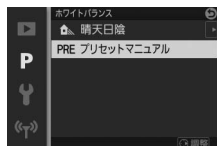
事前に取得したホワイトバランスを使う (プリセットマニュアル)

特殊な照明の下で撮影するときなど、[AUTOオート] や [●電球] などの設定では望ましい結果が得られない場合に使います。

1 撮影時に使う照明と、無彩色（白またはグレー）の被写体を用意する

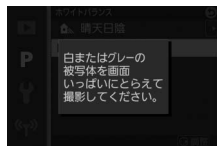
2 [PREプリセットマニュアル] を選ぶ

- ホワイトバランスの一覧画面で [PREプリセットマニュアル] を選びます。

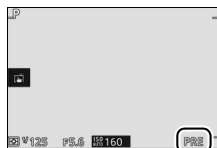


3 プリセットデータ取得の確認画面で [はい] を選ぶ

- ロータリーマルチセレクターの [▶] を押すと、プリセットデータ取得の確認画面が表示されます。[はい] を選んで [OK] ボタンを押します。
- 前回取得したプリセットマニュアルデータを使いたいときは、[いいえ] を選んで [OK] ボタンを押します。
- 右のメッセージが画面に表示された後、プリセットマニュアルデータ取得モードに入ります。



- 液晶モニターで PRE が点滅します。



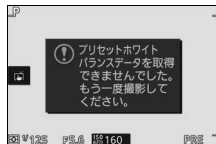
4 PREの点滅中に、撮影時に使う照明の下で、用意した無彩色（白またはグレー）の被写体を液晶モニターの画面いっぱいにとらえて、シャッターボタンを全押しする



- ピントが合わなくてもシャッターがきれ、プリセットマニュアルデータが取得されます。
- シャッターボタンを押しても、メモリーカードに画像は記録されません。

5 正常にプリセットマニュアルデータが取得されたことを確認する

- データが取得されると、液晶モニターに「取得に成功しました」と表示されます。メッセージの表示中にシャッターボタンを半押しすると、すぐに撮影できます。
- 液晶モニターに右のように表示された場合、データ取得は失敗です。原因として、被写体が明るすぎる、または暗すぎることが考えられます。もう一度手順4からやり直してください。



▼ データ取得についてのご注意

- カメラでプリセットマニュアルデータを取得するたびに、以前取得したプリセットマニュアルデータは、新しいデータに置き換えられますので、ご注意ください。
- ホワイトバランスを厳密に合わせたいときは、被写体をグレー（ホワイトバランス取得用の18%標準反射板）にしてプリセットマニュアルデータを取得してください。
- 無彩色（白またはグレー）の被写体を基準にプリセットマニュアルデータを取得するときは、カメラが露出を通常よりも1段オーバーになるように自動的に調整します。撮影モードが**M**の場合は、露出インジケータを確認して、適正露出になるよう設定してください（□67）。

🔧 プリセットマニュアル取得モードの時間制限について

プリセットマニュアル取得モードは、何も操作しないままセットアップメニュー「オートパワーオフ」（□198）で設定した時間（初期設定では1分）が過ぎると解除されます。

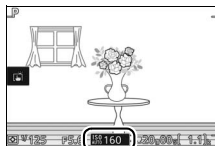


ISO感度設定

撮影時の周辺の明るさに応じて、光に対する感度（ISO感度）を変更できます。一般的に、ISO感度を高くするほど、より高速のシャッタースピードで撮影できます（同じ被写体を同じ絞り値で撮影する場合）。

A6400 オート 160-6400、 A3200 オート 160-3200、 A800 オート 160-800	カメラが自動的にISO感度を決めるときの範囲を選べます（感度自動制御）。[オート 160-800] の場合、選んだ範囲の上限値より感度が高くないため、画像のざらつき、むら、すじを抑える効果があります。
160、200、400、800、 1600、3200、6400、 6400 (NR)、12800、 12800 (NR)	ISO感度を選んだ値に固定します。

- [オート 160-6400]、[オート 160-3200]、[オート 160-800] に設定すると、液晶モニターに **ISO AUTO** マークと自動制御されたISO感度が表示されます。
- [6400 (NR)] または [12800 (NR)] に設定した場合、シャッターボタンを全押しすると4コマ連続撮影して画像を合成し、高感度ノイズ低減 (□176) を行います。
- 高感度で撮影した画像は、ざらつき、むら、すじが発生しやすくなります。



ISO感度6400 (NR)、12800 (NR) について

- 撮影した画像の周辺部は切り取られます。
- 動いている被写体を撮影する場合や撮影時の手ブレの量が大きい場合は、正しく合成されないことがあります。
- シャッタースピードが1/30秒より遅い場合は、ISO感度 [6400]、[12800] で撮影されます。4コマ連続撮影および画像の合成は行いません。
- 内蔵フラッシュは発光しません。
- 画質モードが [RAW] または [RAW + FINE] の場合は、画質モード [FINE] のJPEG形式で記録されます。
- アクティブD-ライティングは機能しません。



Picture Control (ピクチャーコントロール)

このカメラには、被写体や撮影シーンに合わせて選ぶことのできる「ピクチャーコントロール (Picture Control)」が搭載されています。

 SD スタンダード	鮮やかでバランスの取れた標準的な画像になります。 • ほとんどの撮影状況に適しています。
 NL ニュートラル	素材性を重視した自然な画像になります。 • 撮影した画像を調整、加工する場合に適しています。
 VI ビビッド	メリハリのある生き生きとした色鮮やかな画像になります。 • 青、赤、緑など、原色を強調したいときに適しています。
 MC モノクローム	白黒やセピアなど、単色の濃淡で表現した画像になります。
 PT ポートレート	人物の肌が滑らかで自然な画像になります。
 LS 風景	自然の風景や街並みが色鮮やかな画像になります。



ピクチャーコントロールを調整する

ピクチャーコントロールの設定は、撮影目的や好みに合わせて調整できます。

1 調整したいピクチャーコントロールを選ぶ

- ピクチャーコントロールの一覧画面でピクチャーコントロールを選びます。
- ピクチャーコントロールを調整しないで使う場合は、**OK** ボタンを押します。



2 ピクチャーコントロールを調整する

- ロータリーマルチセクターの **▶** を押すと、ピクチャーコントロールの調整画面が表示されます。
- ▲▼** で調整する項目 (□172) を選んで、**◀▶** で値を設定します。
- [クイック調整]** を選ぶと、各項目のレベルを自動的に調整します (□172)。
- ⏮** ボタンを押すと初期設定の内容に戻ります。



3 決定する

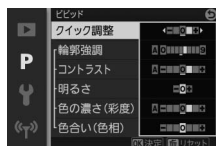
- OK** ボタンを押して決定します。

ピクチャーコントロールを調整した場合の表示について

ピクチャーコントロールを調整すると、手順1の画面でアイコンにアスタリスク (*) が表示されます。また、詳細表示 (□197) では調整したピクチャーコントロールのアイコンにアスタリスク (*) が表示されます (□4)。



■ ピクチャーコントロール調整時の設定項目



クイック調整※1		輪郭強調、コントラスト、色の濃さ（彩度）のレベルを自動的に調整します。
手動調整	輪郭強調	輪郭の強弱を調整できます。[A]（オート）を選ぶと、自動で調整します。
	コントラスト	画像のコントラストを調整できます。[A]（オート）を選ぶと、自動で調整します。
	明るさ	白とびや黒つぶれを抑えながら画像の明るさを調整できます。
	色の濃さ（彩度）※2	画像の彩度（色の鮮やかさ）を調整できます。[A]（オート）を選ぶと、自動で調整します。
	色合い（色相）※2	画像の色合いを調整できます。
	フィルター効果※3	白黒写真用カラーフィルターを使って撮影したときのような効果が得られます。
	調色※3	印画紙を調色したときのように、画像全体の色調を調整できます。

※1 [ニュートラル] と [モノクローム] はクイック調整できません。手動調整した後にクイック調整を行うと、手動調整で設定した値は無効になります。

※2 [モノクローム] のときは、表示されません。

※3 [モノクローム] のときのみ表示されます。

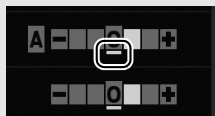


✓【輪郭強調】、【コントラスト】、【色の濃さ（彩度）】の 【A】（オート）についてのご注意

同じような状況で撮影しても、被写体の位置や大きさ、露出によって、仕上がりが具合は変化します。

✎ ピクチャーコントロール調整時のアンダーバーについて

ピクチャーコントロール調整中に各項目に表示されるアンダーバーは、調整する前の値を示しています。前回調整した値を参考にして調整するときに便利です。



✎【モノクローム】の【フィルター効果】について

【フィルター効果】には、次のような効果があります。

Y（黄※）	コントラストを強調する効果があり、風景撮影で空の明るさを抑えたい場合などに使います。[Y] → [O] → [R] の順にコントラストが強くなります。
O（オレンジ※）	
R（赤※）	
G（緑※）	肌の色や唇などを落ち着いた感じに仕上げます。ポートレート撮影などに使います。

※ 市販の白黒写真用カラーフィルターの色です。【フィルター効果】で得られる効果は、市販の白黒写真用カラーフィルターよりも強くなります。

✎【モノクローム】の【調色】について

- 調色は【B&W】、【Sepia】、【Cyanotype】、【Red】、【Yellow】、【Green】、【Blue Green】、【Blue】、【Purple Blue】、【Red Purple】から選べます。
- 【調色】の項目（【B&W】以外）を選んでロータリーマルチセクターの⦿を押すと、さらに色の濃淡を選べます。⦿を押して選んでください。



自動ゆがみ補正

自動ゆがみ補正をするかどうかを設定できます。

する	広角レンズ使用時のたる型のゆがみや、望遠レンズ使用時の糸巻き型のゆがみを補正して撮影します。
しない	ゆがみ補正を行いません。

自動ゆがみ補正についてのご注意

- [自動ゆがみ補正] は、1 NIKKORレンズを装着した場合のみ機能します。マウントアダプター FT1 (□203、241) を使用してNIKKORレンズやその他一部のレンズを装着した場合は機能しません。また、対応レンズ以外を装着した場合については、動作を保証しません。
- 自動ゆがみ補正を行う場合、シャッターをきってから、記録が始まるまで時間がかかることがあります。
- ゆがみを大きく補正するほど、画像周辺部は切り取られます。

色空間

記録する画像の色空間を指定します（色空間とは、モニターやプリンターで表現できる色の範囲のことです）。[sRGB] 色空間は、再生やプリントなど、一般的な用途で画像を楽しむのに適しています。[Adobe RGB] 色空間は [sRGB] 色空間に比べて色域が広いいため、商業印刷などの業務用途に適しています。



色空間についてのご注意

- 動画を撮影するときは、色空間が [sRGB] に固定されます。
- Capture NX-Dをお使いになると、正しい色空間での処理が自動的に行われます。他社製の画像閲覧用または画像編集用ソフトウェアを使うと、正しく色が表示されないことがあります。

Adobe RGB色空間について

アプリケーション、モニター、プリンターなどの環境がカラーマネージメント機能に対応している場合に、適切な色が再現できます。

アクティブD-ライティング

撮影前にあらかじめ**「アクティブD-ライティング」**を**「する」**に設定しておくと、被写体に応じてカメラが自動でハイライト部の白とびを抑え、シャドー部の黒つぶれを軽減するため、見た目のコントラストに近い画像に仕上がります。暗い室内から外の風景を撮ったり、直射日光の強い海辺など明暗差の大きい景色を撮影するのに効果的です。アクティブD-ライティングを設定したときは、測光モードを**「マルチパターン測光」**に設定して撮影することをおすすめします（□162）。



アクティブD-ライティング
[しない]



アクティブD-ライティング
[暗 する]

✓ アクティブD-ライティングについてのご注意

- アクティブD-ライティングを設定して撮影するとき、撮影シーンによっては、ざらつき、むら、すじが強調される場合があります。
- 被写体によっては画像に階調とびが発生する場合があります。

🔍 【アクティブD-ライティング】と再生メニュー【D-ライティング】の違い

【アクティブD-ライティング】を設定してから撮影すると、撮影シーンに応じて露出や階調を制御し、ハイライト部やシャドー部および中間調を適切に調整して画像を記録します。一方、【D-ライティング】は、撮影済みの画像に対して、階調を再調整してシャドー部を明るく補正します。



長秒時ノイズ低減

低速シャッタースピードになったときに発生するノイズ（むら、輝点）を低減します。

する	シャッタースピードが1秒以上の低速になった場合に、長秒時ノイズの低減処理を行います。画像を記録するまでの時間は、長秒時ノイズ低減を行わない場合の約1.5～2倍になります。
しない	長秒時ノイズの低減処理を行いません。

長秒時ノイズ低減処理は、撮影後に行われます。処理中は、液晶モニターにメッセージが表示され、表示が消えるまで、撮影はできません。

☒ 長秒時ノイズ低減についてのご注意

- 連続撮影速度は遅くなり、連続撮影可能コマ数も少なくなります。
- 処理中に電源をOFFにすると、処理は行われず、長秒時ノイズの低減処理を行う前の画像が保存されます。
- 動画撮影時は、長秒時ノイズ低減の効果は適用されません。

高感度ノイズ低減

感度が高くなるほど発生しやすいノイズ（ざらつき）を低減します。

する	常に高感度ノイズ低減処理を行います。
しない	[する] に設定したときよりも弱いノイズ低減処理を行います。



動画音声の設定

動画撮影時の内蔵マイクの感度の設定と、風切り音低減の設定ができます。

■ 録音設定

マイクの感度の程度を設定します。

 A マイク感度 オート (A)	設定した感度で録音します。
 3 マイク感度 高 (3)	
 2 マイク感度 中 (2)	
 1 マイク感度 低 (1)	
 録音しない	音声は記録しません。

音声記録されていない動画の表示について

「録音設定」を「録音しない」にして撮影した動画の場合、1コマ表示モード時と再生中に（音声なしマーク）が表示されます。

■ 風切り音低減

動画の撮影時に風切り音を低減するかどうかを設定します。

する	ローカットフィルター機能により、マイクに吹き付ける風の音を抑えて記録します。 風切り音以外の音も聞こえにくくなることがあります。
しない	風切り音を低減しません。



動画中おまかせスナップ

動画撮影中に、ピントや構図の状態に応じてカメラが自動的に静止画を撮影します。撮影頻度も設定できます。1回の動画撮影につき、動画撮影中に撮影した静止画（□41）と合わせて最大20コマの静止画を記録します。

- オートモード、クリエイティブモード、**P、S、A、M** モードまたはスポーツモードで動画を撮影するとき、またはアドバンスド動画モードが**[HD動画]** のときのみ設定できます。

■■ 自動撮影

[する] に設定すると、動画撮影中に自動で静止画を撮影します。

■■ 撮影頻度

最大1枚/分	1分間の動画撮影ごとに、最大で1枚の静止画を記録します。
最大4枚/分	1分間の動画撮影ごとに、最大で4枚の静止画を記録します。



インターバルタイマー撮影

設定した撮影間隔（インターバル）と撮影回数で自動的に撮影するインターバルタイマー撮影を行えます。つぼみがゆっくりと開く様子や、蝶が羽化する様子などを記録したい場合などに便利です。

1 [撮影間隔]（インターバル）を設定する

- [撮影間隔] を選んでロータリーマルチセクターの  を押します。
-  または  を押して分、秒を選び、 または  を押して数値を設定後、 ボタンを押します。



2 [撮影回数] を設定する

- [撮影回数] を選んで  を押します。
-     を押して数値を設定後、 ボタンを押します。



3 インターバルタイマー撮影を開始する

- [開始] を選んで  ボタンを押すと、約3秒後に撮影を開始します。
- 設定した「撮影間隔」に1コマずつ、設定した「撮影回数」で繰り返し撮影します。



▼ インターバルタイマー撮影を開始する前に

- 試し撮りをおすすめします。
- あらかじめセットアップメニューの「地域と日時」(□□200)で日時が正確に設定されていることを確認してください。
- カメラを三脚で固定することをおすすめします。
- 撮影中のバッテリー切れを防ぐため、十分に充電されたバッテリー、または別売のパワーコネクタとACアダプターを組み合わせお使いになることをおすすめします。

📌 インターバルタイマー撮影の終了方法

次の場合はインターバルタイマー撮影が終了します（インターバルタイマー撮影は解除されます）。

- 電源をOFFにしたとき
- 撮影モードを切り換えたとき
- MENUボタンまたは▶ボタンを押したとき
- メモリーカードのメモリー残量がなくなったとき

▼ インターバルタイマー撮影についてのご注意

- 実際のインターバルタイマー撮影には、インターバル時間の他、シャッタースピードやカメラが処理を行う時間が含まれます。そのため、設定した撮影間隔で撮影できないことがあります。
- シャッタースピードがBulbの場合など、インターバルタイマー撮影を開始できないときには警告メッセージを表示します。
- インターバルタイマー撮影中は、設定の変更はできません。
- インターバルタイマー撮影中は、オートパワーオフ(□□28)しません。



光学手ブレ補正

手ブレ補正機能のある1 NIKKORレンズの装着時に、光学手ブレ補正を行うかどうかを設定できます。

する	常に手ブレ補正を行います。
しない	手ブレ補正を行いません。

☑ 光学手ブレ補正使用時のご注意

- パンニング（流し撮り）でカメラの向きを大きく変えた場合、流した方向の手ブレ補正は機能しません。たとえば、流し撮りで横方向にパンニングすると、縦方向の手ブレだけが補正され、流し撮りができます。
- 手ブレ補正の原理上、シャッターをきくと構図がわずかに動くことがありますが、異常ではありません。

🔍 光学手ブレ補正機能について

NORMALモードとACTIVEモードがあるレンズの場合は、光学手ブレ補正を「**する**」に設定すると、常にACTIVEモードで手ブレ補正を行います。乗り物に乗っている場合や歩きながら撮影する場合など、揺れの激しい条件でのブレから通常の手ブレまで補正します。



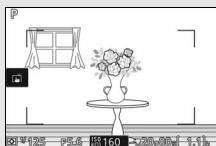
動画電子手ブレ補正

装着した1 NIKKORレンズの手ブレ補正機能の有無にかかわらず、撮影時に電子手ブレ補正を行うかどうかを設定できます。

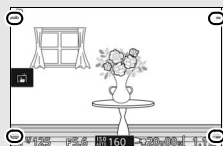
する	動画電子手ブレ補正を行います。
しない	動画電子手ブレ補正を行いません。

▼ 動画電子手ブレ補正についてのご注意

- モーションスナップショットモードで撮影するとき、または動画を撮影するときに設定できます。アドバンスド動画モードでは「HD 動画」の場合のみ設定できます。
- 「[する]」の場合、シャッターをきってから、記録が始まるまで時間がかかることがあります。
- 撮影画面には、動画を撮影するときに記録される範囲を示すガイドが表示されます。動画電子手ブレ補正が「[する]」の場合と「[しない]」の場合でガイドの形状は異なります。



動画電子手ブレ補正 [する]



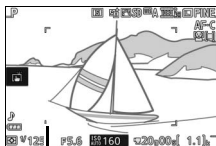
動画電子手ブレ補正 [しない]



フォーカスモード

撮影目的に合わせて、ピントの合わせ方を選べます。設定できるフォーカスモードは、撮影モードによって異なります。

AF-A AF自動切り換え	被写体が静止しているときは [AF-S] 、動いているときは [AF-C] に自動的に切り替わります。
AF-S シングルAF	静止している被写体の撮影に適しています。シャッターボタンを半押しすると、ピントが合った時点でフォーカスがロックされます。ピントが合っていないときはシャッターはきれません。
AF-C コンティニュアスAF	動いている被写体の撮影に適しています。シャッターボタンを半押ししている間、カメラは被写体の動きに合わせてAFエリアフレーム内でピントを合わせ続けます。ピントの状態に関係なく、シャッターがきれます。 ● AFエリアフレームは詳細表示 (□197) の場合のみ表示されます。
AF-F 常時AF	動いている被写体の撮影に適しています。カメラは常に被写体の動きに合わせてピントを合わせ続けます。ピントの状態に関係なく、シャッターがきれます。
MF マニュアルフォーカス	ピントを自分で合わせたいときに選びます (□185)。ピントの状態に関係なく、シャッターがきれます。



AFエリアフレーム

関連ページ

撮影時の電子音を鳴らないように設定する → **Y** [音の設定] (□198)



❏ オートフォーカスの苦手な被写体

次のような被写体では、オートフォーカスによるピント合わせができず、シャッターがきれないことや、ピントが合っていないくても電子音が鳴ってAFエリアが緑色に点灯し、シャッターがきれることがあります。このような場合は、マニュアルフォーカス（□185）でピントを合わせるか、フォーカスロック（□189）を利用してください。

被写体の明暗差がはっきりしない場合

（白壁や背景と同色の服をきている人物など）



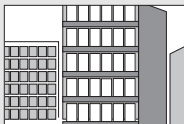
遠くのと近くのもの重なっている被写体

（オリの中の動物など）



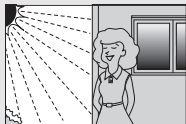
連続した繰り返しパターンの被写体

（ビルの窓やブラインドなど）



被写体の明暗差が極端に異なる場合

（太陽を背景にした日陰の人物や、イルミネーションのある夜景など）



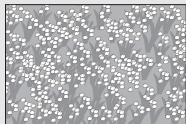
背景に対してメインの被写体が小さい場合

（遠くの建物を背景に近くの人物を撮影する場合など）



絵柄が細かい場合

（一面の花畑など）



マニュアルフォーカスでピントを合わせる

ピントを自分で合わせたいときや、オートフォーカスが使えない場合、オートフォーカスの苦手な被写体の場合には、マニュアルフォーカスでピントを合わせられます。

1 フォーカスモード (P183) で [MF] (マニュアルフォーカス) を 選んで を押す

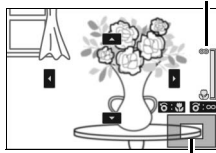


2 撮影画面で ボタンを押す

- マニュアルフォーカスの設定画面が表示され、画面の中央部が拡大表示されます。



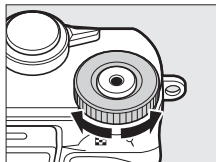
フォーカス距離指標



ナビゲーション
ウィンドウ

3 コマンドダイヤルを回して拡大率を 変更する

- 画面を拡大表示できます。拡大率はコマンドダイヤルを回して切り換えられます (最大約10倍)。

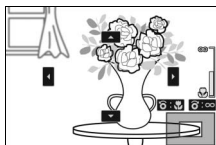


コマンドダイヤル



4 ロータリーマルチセクターを回してピントを合わせる

- ロータリーマルチセクターを時計回りに回すと、遠くの被写体にピントが合います。反時計回りに回すと、近くの被写体にピントが合います（現在のピント位置の目安は、フォーカス距離指標で確認できます）。ロータリーマルチセクターを速く回すほど、高速でピント位置を変えられます。OK ボタンを押すと、設定したピントに固定されます。
- 画面の右下に構図のどの部分を拡大しているかを表すナビゲーションウィンドウ（グレーの枠）が表示されます。
- ロータリーマルチセクターの $\odot$ $\ominus$ $\odot$ $\ominus$ で画面をスクロールさせて見たい部分に移動できます。

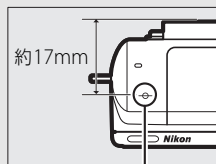


動画撮影時のマニュアルフォーカスについて

- 動画撮影中またはアドバンスド動画モードが[4K 動画]または[スローモーション]の場合は、OK ボタンを押しても拡大表示されません。
- 動画撮影時にフォーカスモードが[MF]の場合、ロータリーマルチセクターを回すと、マニュアルフォーカスでピント合わせができます。ロータリーマルチセクターを速く回すほど、高速でピント位置を変えられます。
 - 時計回りに回すと、遠くの被写体にピントが合います。
 - 反時計回りに回すと、近くの被写体にピントが合います。

距離基準マーク

距離基準マーク $\oplus$ は撮影距離の基準となるマークで、カメラ内の撮像面の位置を示します。マニュアルフォーカスや接写などでカメラから被写体までの距離を実測する場合、このマークが基準となります。レンズ取り付け面（レンズマウント）から撮像面までの寸法（フランジバック）は約17mmです。



距離基準マーク

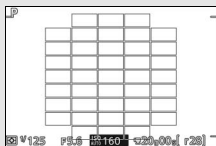
AFエリアモード

ピントを合わせるAFエリアをカメラがどのように選択するかを設定できます。

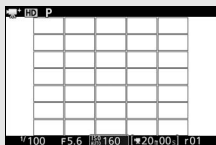
 オートエリア	カメラが自動的に、全てのAFエリアから被写体を判別してピントを合わせます。
 シングルポイント	静止している被写体の撮影に適しています。 ●  ボタンを押すと、AFエリアの選択画面が表示されます。 ● ロータリーマルチセクターの     を押すかロータリーマルチセクターを回してAFエリアを動かし、ピントを合わせたい被写体に重ねます。もう一度、 ボタンを押すと、選択画面を終了します。 ● シャッターボタンを半押しすると、選んだAFエリアだけを使って、ピント合わせをします。 AFエリア
 ターゲット追尾 (188)	動きのある被写体の撮影に適しています。AFエリア内の被写体を追尾してピントを合わせ続けます。

オートエリアについて

- オートエリアに設定すると、41点のAFエリアからピントを合わせます。フォーカスモードを[MF]以外に設定した場合、シャッターボタンを半押しすると、ピントが合ったAFエリアが表示されます。



- 次の場合はAFエリアの表示が大きくなります。
 - フォกัสモードを[AF-S]に設定して、4K動画を撮影する場合
 - 動画電子手ブレ補正を[する]に設定して、モーションスナップショットを撮影する場合
 - 動画電子手ブレ補正を[する]、フォーカスモードを[AF-S]に設定して、アドバンスド動画モードの[HD動画]を撮影する場合



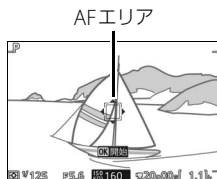
ターゲット追尾で撮影する

1 [AFエリアモード] を[ターゲット追尾] に設定し、撮影画面で $\odot$ ボタンを押す

- AFエリアの選択画面が表示されます。

2 AFエリアを被写体に重ねる

- ロータリーマルチセクターの $\odot$ $\odot$ $\odot$ $\odot$ を押すかロータリーマルチセクターを回してAFエリアを動かし、ピントを合わせたい被写体に重ねます。
- $\odot$ ボタンを押すと、被写体の追尾を開始し、被写体の動きに合わせてAFエリアが移動します。



3 シャッターボタンを半押ししてピントを合わせる

- 追尾動作中にシャッターボタンを半押しすると、AFエリアの位置でピントを合わせます。

4 シャッターボタンを全押しして撮影する

- $\odot$ ボタンを押すと、追尾を終了します。

▼ ターゲット追尾についてのご注意

次のような場合は、追尾動作が正常に行われないことがありますので、ご注意ください。

- 被写体の色、明るさが背景と似ている
- 被写体の大きさ、色、明るさが著しく変わる
- 被写体が大きすぎる/小さすぎる
- 被写体が明るすぎる/暗すぎる
- 被写体の動きが速すぎる
- 被写体が隠れたり、画面から外れる



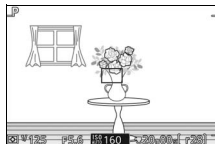
フォーカスロック撮影する

AFエリアが画面中央のときも、ピントを固定（フォーカスロック）すると、構図を工夫して撮影できます。オートフォーカスが苦手な被写体（□184）を撮影する場合にも効果的です。

フォーカスロックを行う前に、フォーカスモードを「AF-S」に設定してください（□183）。AFエリアモード（□187）は「オートエリア」以外に設定することをおすすめします。

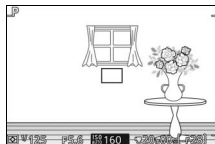
1 ピントを合わせたい被写体を画面の中央付近に配置し、シャッターボタンを半押しする

- シャッターボタンを半押ししている間は、ピントが固定されます（フォーカスロック）。
- ピントが合うと、AFエリアが緑色に点灯します。



2 シャッターボタンを半押ししたまま構図を変え、そのまま全押しして撮影する

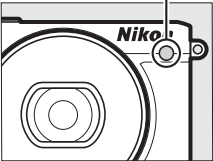
- 被写体との距離は変えないでください。フォーカスロック後に被写体との距離が変化した場合は、いったんシャッターボタンから指を放してフォーカスロックを解除し、ピントを合わせ直してください。



顔認識

人物を撮影する場合に、顔認識（□36）を使うかどうかを設定できます。「しない」を選ぶと、人物を撮影するときも、顔認識を行いません。

内蔵AF補助光の照射

する	オートフォーカスでのピント合わせの際に、次の条件が全て満たされたときに自動的にAF補助光を照射します。※ • 被写体が暗い場合 • アドバンスト動画モードまたはスポーツモード以外の撮影モードの場合 • フォーカスモードが [AF-S]、または [AF-A] で自動的に [AF-S] が選ばれた場合 (□183) • [AF エリアモード] (□187) が [シングルポイント] または [オートエリア] の場合 ※ 動画撮影中はAF補助光は照射されません。	AF補助光 
しない	AF補助光を照射しません。被写体が暗いときなどは、オートフォーカスでのピント合わせができなくなる場合があります。	

AF補助光について

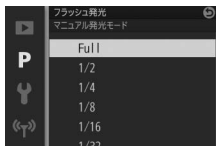
- 使用するレンズの径の大きさによっては、AF補助光がレンズでさえぎられることがあります。
- AF補助光使用時は、レンズフードを取り外してください。



フラッシュ発光

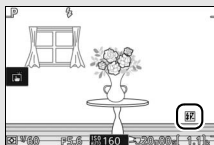
内蔵フラッシュの発光方式を設定できます。

TTL  TTLモード	フラッシュの光量は、撮影状況に応じて自動的に調節されます (i-TTL調光)。
M  マニュアル 発光モード	[Full] (フル発光) の他、 [1/2] ~ [1/32] の5段階 の発光量を選べます。 • [Full] に設定した場合、内蔵フラッシュのガイドナンバーは約5 (ISO 100・m) / 約6.3 (ISO 160・m) となります (20℃の場合)。



フラッシュ調光補正マークの表示について

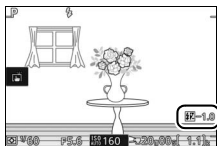
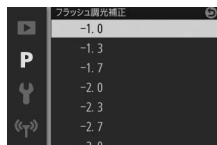
[マニュアル発光モード] にすると、フラッシュ使用時に、液晶モニターに  マークが点滅します。



フラッシュ調光補正

調光補正とは、内蔵フラッシュの発光量を意図的に変えることで、背景に対する被写体の明るさを調整したいときなどに使います。発光量を多くして被写体をより明るく照らしたり、発光量を少なくして被写体に光が強く当たりすぎないようにするなど、発光量の微妙な調整ができます。

- 調光補正は、1/3段ステップで-3段～+1段の範囲で設定できます。
- 被写体を明るくしたいときは+側に、暗くしたいときは-側に補正するのが基本です。
- 調光補正を解除するには、補正量を0.0にしてください。カメラの電源をOFFにしても、補正量の設定は解除されません。
- 補正量を設定すると、液晶モニターに  (調光補正) マークが点灯します。



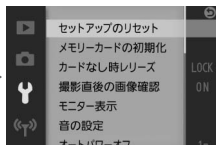


セットアップメニュー

MENUボタンを押してメニュー画面を表示し、[セットアップ] を選べば、セットアップメニューが表示されます。



MENUボタン



メニュー項目	内容	初期設定	📖
セットアップのリセット	セットアップメニューをリセットして、初期設定に戻します（[フリッカー低減]、[地域と日時]、[言語 (Language)] を除く）。	—	—
メモリーカードの初期化	メモリーカードを初期化します。	—	195
カードなし時リリース	カメラにメモリーカードを入れていないときのリリース操作を設定できます。	リリース禁止	196
撮影直後の画像確認	撮影直後に画像を自動的に表示するかどうかを設定します。	する	196
モニター表示	液晶モニターの明るさや、構図用格子線の表示/非表示、撮影/再生時の情報の表示/非表示などを設定できます。	モニターの明るさ：0 格子線の表示：しない 撮影画面の設定：シンプル表示 再生画面の設定：情報表示あり	196



メニュー項目	内容	初期設定	📖
音の設定	電子音の鳴る/鳴らないを設定できます。	AF: ☒ セルフタイマー: ☒ シャッター: ☒ タッチ操作: ☒	198
オートパワーオフ	カメラの電源をONにしたまま何も操作しないで、待機状態になるまでの時間を設定できます。	1分	198
自分撮りモード	液晶モニターを自分撮りのポジションにセットしたときに、自分撮りモード (□105) にするかどうかを設定できます。	する	199
タッチ操作	タッチ操作の有効/無効を設定できます。	有効	—
Fnボタンの機能	Fn ボタンを押したときの機能を設定できます。	ISO感度設定	13
半押しAEロック	シャッターボタンを半押ししたときにAEロックを行うかどうかを設定できます。	しない	—
フリッカー低減	蛍光灯や水銀灯などの光源下で、撮影するときの表示や撮影する動画にちらつきや横縞が生じる「フリッカー現象」を低減できます。	—	199
連番リセット	ファイル名に使われるファイル番号の連番をリセットします。	—	199
地域と日時	現在地と日時、年月日の表示順を設定できます。	夏時間の設定: しない	200
言語 (Language)	メニュー画面やメッセージの表示言語を選べます。	—	—
縦横位置情報の記録	撮影時のカメラの縦横位置情報を画像に記録できます。	する	201
ピクセルマッピング	撮像素子と画像処理機能のチェックと最適化を行います。	—	202
ファームウェアバージョン	「ファームウェア」のバージョンを表示します。	—	—

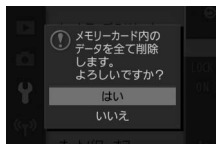


メモリーカードの初期化

このカメラに他の機器で使ったメモリーカードを初めて入れたときは、必ずこのカメラで初期化してからお使いください。**メモリーカードを初期化すると、カード内のデータは全て削除されます。**必要なデータがある場合は、初期化する前にパソコンなどに保存してください (P137)。

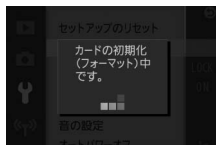
1 [はい] を選ぶ

- 初期化をキャンセルするには、[いいえ] を選びます。



2 [OK] ボタンを押す

- 初期化が始まり、右の画面が表示されます。
- 初期化が完了してセットアップメニュー画面に戻るまで、電源をOFFにしたり、バッテリーやメモリーカードを取り出したりしないでください。



カードなし時リリース

カメラにメモリーカードを入れていないときのリリース操作を設定できます。

LOCK リリース禁止	メモリーカードを入れていないときは、シャッターはきれません。
OK リリース許可	メモリーカードを入れていないときでも、シャッターがきれます。ただし、メモリーカードが入っていないときに撮影した画像は、液晶モニターに表示されますが、画像上に「デモモード」と表示され、プリントやメモリーカードへの保存はできません。

撮影直後の画像確認

撮影直後に画像を自動的に表示するかどうかを設定します。[しない]を選択した場合に撮影画像を表示確認するには、 ボタンを押してください。

モニター表示

液晶モニターの明るさや、構図用格子線の表示/非表示、撮影/再生時の情報の表示/非表示などを設定できます。

モニターの明るさ

液晶モニターの明るさを調整できます。

ロータリーマルチセレクターの   を押すと、-3~+3の調整ができます。+にすると明るく、-にすると暗くなります。



格子線の表示

撮影時に、液晶モニターに構図用格子線（□33）を表示する/表示しないを設定できます。

撮影画面の設定

撮影時に液晶モニターに表示される情報を、[シンプル表示]と[詳細表示]から選べます。撮影時に表示される各項目については□4をご覧ください。



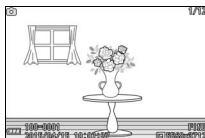
シンプル表示



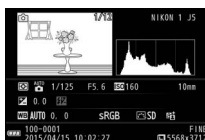
詳細表示

再生画面の設定

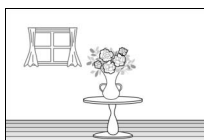
再生時に液晶モニターに表示される情報を、[情報表示あり]、[統合表示]、[画像のみ]（情報表示なし）から選べます。再生時に表示される各項目については□120をご覧ください。



情報表示あり



統合表示



画像のみ
（情報表示なし）



音の設定

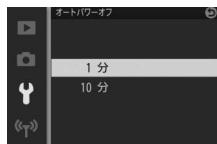
オートフォーカスでピントが合ったときやセルフタイマー撮影時などの電子音の鳴る/鳴らないを設定できます。



- 次の項目を選択して、ロータリーマルチセクターの を押すと、チェックボックスのオン ☒ / オフ ☐ が切り替わります。チェックボックスをオフ ☐ にすると、音が鳴らなくなります。
 - **AF**：オートフォーカスでピントが合ったときの電子音
 - **セルフタイマー**：セルフタイマー撮影時の動作音
 - **シャッター**：シャッターをきったときの電子音
 - **タッチ操作**：タッチ操作時の電子音
- ボタンを押すと、設定が完了します。

オートパワーオフ

電源をONにしたまま何も操作しないで一定時間が過ぎると、カメラはバッテリーの消耗を抑えるために液晶モニターを消灯し、待機状態になります（□28）。ここでは、待機状態になるまでの時間を設定できます。



待機状態の解除方法について

シャッターボタンなどを操作すると、待機状態が解除されます。

自分撮りモード

液晶モニターを自分撮りのポジションにセットしたときに自分撮りモード(□105)にするかどうかを設定できます。[しない]に設定すると、自分撮りのポジションに液晶モニターをセットしても自分撮りモードに切り替わらず、撮影モードダイヤルで設定した撮影モードで静止画や動画を撮影できます。

- [しない]に設定しても、自分撮りのポジションに液晶モニターをセットすると表示は反転します。

フリッカー低減

蛍光灯や水銀灯などの光源下で、撮影するときの表示や撮影する動画にちらつきや横縞が生じる「フリッカー現象」を低減できます。お使いの地域の電源周波数に応じて、[50 Hz]と[60 Hz]から選びます。東日本など電源周波数が50 Hzの地域では[50 Hz]を選び、西日本など電源周波数が60 Hzの地域では[60 Hz]を選んでください。

フリッカー低減についてご注意ください

- 電源周波数がわからない場合は、設定を切り換えて試し撮りをするをおすすめします。
- 被写体が非常に明るい場合、フリッカー低減効果が得られない場合があります。撮影モードをAまたはMにして、絞り値を大きくしてください。

連番リセット



ファイル名に使われるファイル番号の連番をリセットします。[する]を選んで連番をリセットすると、新しいフォルダーが作成され、「0001」からの連番でファイル番号が付けられます。

- フォルダー番号が999に達しているときにファイル番号が9999に達するか、ファイル数が999個に達すると、それ以上フォルダーを作成できず、シャッターがきれなくなります。この場合は、[連番リセット]を行った後、メモリーカードを初期化するか交換してください。

地域と日時

現在地と日時、年月日の表示順、夏時間を設定します。



現在地の設定	現在地のタイムゾーンを選びます。現在地のタイムゾーンを変更すると、[日時の設定]で設定された日時が、時差に合わせて自動的に更新されます。	
日時の設定	[現在地の設定] で選ばれているタイムゾーンの時刻を設定します。	
日付の表示順	液晶モニターに表示される、日付の年、月、日の表示順を、[年/月/日]、[月/日/年]、[日/月/年] から選びます。	
夏時間の設定	現在地で夏時間（サマータイム制）が実施されている場合は[する]に、そうでない場合は[しない]に設定します。[する]にすると、時刻が1時間進みます。初期設定は[しない]です。	

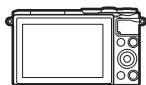
縦横位置情報の記録

撮影時のカメラの縦横位置情報を画像に記録できます。

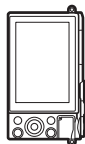
する

液晶モニターや、Capture NX-DまたはViewNX-iで画像を再生するときに、記録した縦横位置情報を利用して、自動的に回転表示されます。

記録されるカメラの縦横位置情報は、次の3種類です。



横位置



縦位置
時計回りに90°回転



縦位置
反時計回りに90°回転

しない

縦横位置情報は記録されず、再生時には常に横位置で表示します。

✓ 縦横位置情報記録についてのご注意

- 動画やモーションスナップショット、かんたんパノラマの画像には、縦横位置情報を記録できません。
- カメラを上向きまたは下向きにして撮影したり流し撮りすると、縦横位置情報が正しく得られない場合があります。

✎ 再生メニュー【縦位置自動回転】

再生メニューの【縦位置自動回転】(□148)では、【縦横位置情報の記録】を【する】に設定して縦位置で撮影された画像を、液晶モニターに縦位置で表示するように変更できます。



ピクセルマッピング

撮影した画像に予期しない輝点が記録されて気になる場合は、次の手順でピクセルマッピングを行ってください。本機能により、撮像素子と画像処理機能のチェックと最適化を行います（ご購入時には、カメラの撮像素子と画像処理機能は最適な状態に調整されています）。

- 作業中のバッテリー切れを防ぐため、十分に充電されたバッテリーをお使いください。

1 カメラの電源をOFFにして、カメラに1 NIKKORレンズを取り付ける

- レンズキャップのあるレンズの場合は、レンズキャップを付けた状態でピクセルマッピングを行ってください。

2 セットアップメニューの【ピクセルマッピング】を選ぶ

- カメラの電源をONにして、MENUボタンを押し、セットアップメニューの【ピクセルマッピング】を選びます。

3 【はい】を選ぶ

- ピクセルマッピングを開始します。

4 ピクセルマッピングが終了したら、カメラの電源をOFFにする



❑ ピクセルマッピングについてのご注意

ピクセルマッピング中は、カメラの操作はできません。カメラの電源をOFFにしたり、バッテリーやACアダプターを取り外さないでください。



資料

このカメラで使えるアクセサリやカメラの主な仕様など、カメラを使うときに役立つ情報を記載しています。また、カメラの動作がおかしいときや警告メッセージが表示されたときの対処方法についても説明しています。

使用できるアクセサリ

このカメラには撮影領域を広げるさまざまなアクセサリが用意されています。

レンズ	• 1マウントレンズ
マウント アダプター	• マウントアダプター FT1 Fマウント用のNIKKORレンズを1マウントのレンズ交換式デジタルカメラ（Nikon 1）に取り付けるためのアダプターです。撮影画角は、35mm判換算で約2.7倍の焦点距離に相当する画角になります。 - 必ずファームウェアを最新版にバージョンアップしてお使いください。 - マウントアダプターFT1を使った撮影については、□241をご覧ください。 - マウントアダプターFT1のカメラへの取り付け方と取り外し方、マウントアダプターのお手入れと取り扱い上のご注意については、「マウントアダプター FT1使用説明書」をご覧ください。



電源	• Li-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL24 (□22、23) ニコンデジタルカメラNikon 1 J5用のバッテリーです。 • バッテリーチャージャー MH-31※¹ (□22) Li-ionリチャージャブルバッテリーEN-EL24用のチャージャーです。 ※1 家庭用電源のAC100～240V、50～60Hzに対応しています。 日本国外では、必要に応じて市販の変換プラグアダプターを装着してお使いください。変換プラグアダプターは、あらかじめ旅行代理店などでお確かめの上、お買い求めください。 • パワーコネクター EP-5F、ACアダプター EH-5b※² ACアダプターを使用すると、長時間カメラを使用するときに安定して電源を供給できます。 - このカメラは、カメラ本体とACアダプターを接続するためにパワーコネクター EP-5Fが必要です。カメラとパワーコネクター、ACアダプターを接続する方法については、「カメラとパワーコネクター、ACアダプターの 接続方法」(□206)をご覧ください。 - EH-5bの代わりにACアダプター EH-5/EH-5aも使えます。 ※2 日本国内専用電源コード (AC 100V対応) 付属。日本国外でお使いになるには、別売の電源コードが必要です。
ボディーキャップ	• ボディーキャップBF-N1000 レンズを取り外したカメラボディーに取り付けることにより、ダストシールドなどへのゴミやほこりの付着を防ぎ、カメラ内部を保護します。
ニコンデジタルカメラ専用ソフトウェア	• Capture NX-D カメラで撮影した画像を調整したり、RAW現像したりできます。 • ViewNX-i 画像や動画の転送、閲覧ができます。



使用できるアクセサリーについて

- 国または地域によって、販売していない場合があります。
- アクセサリーの最新情報は、当社ホームページやカタログなどでご確認ください。

推奨メモリーカード

次のメモリーカードの動作を確認しています。

	microSDHC メモリーカード※1	microSDXC メモリーカード※2
SanDisk製	4GB、8GB、16GB、32GB	64GB、128GB
東芝製	4GB、8GB、16GB、32GB	—
Panasonic製	4GB、8GB、16GB、32GB	—
LEXAR MEDIA社製	8GB、16GB、32GB	64GB

※1 SDHC規格に対応しています。カードリーダーなどをお使いの場合、お使いの機器がSDHC規格に対応している必要があります。このカメラは、UHS-I規格に対応しています。

※2 SDXC 規格に対応しています。カードリーダーなどをお使いの場合、お使いの機器がSDXC規格に対応している必要があります。このカメラは、UHS-I規格に対応しています。



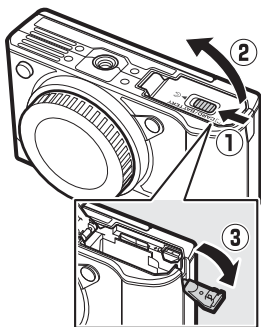
- 動画の撮影には、SDスピードクラスがClass 6以上のカードをおすすめします。転送速度が遅いカードでは、動画の撮影が途中で終了することがあります。
- 上記メモリーカードの機能、動作の詳細、動作保証などについては、メモリーカードメーカーにご相談ください。その他のメーカー製のメモリーカードにつきましては、動作の保証はいたしかねます。



カメラとパワーコネクター、ACアダプターの接続方法

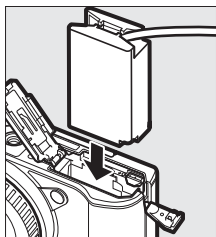
カメラとパワーコネクター、ACアダプターを接続する前に、カメラ本体の電源がOFFになっていることを確認してください。

- 1 カメラのバッテリー / メモリーカードカバー (①、②) とパワーコネクターカバー (③) を開ける**



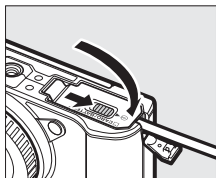
2 パワーコネクター EP-5Fを入れる

- パワーコネクターは、接点の向きに注意しながら入れてください。
- オレンジ色のバッテリーロックレバーをパワーコネクター側面で押しながら、パワーコネクターを奥まで入れると、バッテリーロックレバーがパワーコネクターに掛かり、パワーコネクターがロックされます。



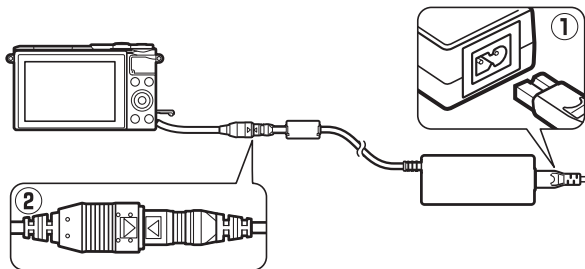
3 カメラのバッテリー / メモリーカードカバーを閉じる

- パワーコネクターのコードがパワーコネクターカバーを開けた部分から出るように注意して、バッテリー / メモリーカードカバーを閉じます。



4 パワーコネクターとACアダプターを接続する

- 電源コードのACプラグを、ACアダプターのACプラグ差し込み口に差し込みます (①)。
- パワーコネクターのDCプラグコネクターにACアダプターのDCプラグを差し込みます (②)。
- パワーコネクターとACアダプターの使用時には、液晶モニター上のバッテリー残量表示がに変わります。



カメラのお手入れについて

保管について

長期間カメラを使用しないときは、必ずバッテリーを取り出してください。バッテリーを取り出す前には、カメラの電源がOFFになっていることを確認してください。

カメラを保管するときは、次の場所は避けてください。

- 換気の悪い場所や湿度が60%を超える場所
- テレビやラジオなど強い電磁波を出す装置の周辺
- 温度が50℃以上、または-10℃以下の場所



クリーニングについて

カメラ本体	ほこりや糸くずをブローアード払い、柔らかい乾いた布で軽く拭きます。海辺でカメラを使用した後は、砂や塩を真水で湿らせた布で軽く拭き取り、よく乾かします。 ご注意：カメラ内部にゴミ、ほこりや砂などが入り込むと故障の原因となります。この場合、当社の保証の対象外となりますのでご注意ください。
レンズ	レンズ面は傷つきやすいので、ほこりや糸くずをブローアード払いします。スプレー缶タイプのブローアードは、缶を傾けずにお使いください（中の液体が気化されずに吹き出し、レンズを傷つけることがあります）。指紋や油脂などの汚れは、柔らかい布にレンズクリーナーを少量付けて、レンズ面を傷つけないように注意して拭きます。
液晶モニター	ほこりや糸くずをブローアード払いします。指紋や油脂などの汚れは、表面を柔らかい布かセーム革で軽く拭き取ります。強く拭くと、破損や故障の原因となることがありますのでご注意ください。
ダストシールド	ダストシールドは傷つきやすいので、ほこりや糸くずをブローアード払いします。

アルコール、シンナーなど揮発性の薬品はお使いにならないでください。



定期点検、オーバーホールのおすすめ

カメラは精密機械ですので、1～2年に1度は定期点検を、3～5年に1度はオーバーホールすることをおすすめします（有料）。

- 特に業務用にお使いの場合は、早めに点検整備を受けてください。
- より安心してご愛用いただけるよう、お使いのレンズなども併せて点検依頼されることをおすすめします。

カメラとバッテリーの取り扱い上のご注意

カメラの取り扱い上のご注意

● 強いショックを与えない

カメラやレンズを落としたり、ぶつけたりしないようにご注意ください。強い衝撃や振動を加えると、破損したり精密に調整された部分に悪影響を及ぼします。

● 水にぬらさない

カメラは水にぬらさないようにご注意ください。カメラ内部に水滴が入ったりすると部品がサビついてしまい、修理費用が高額になるだけでなく、修理不能になることがあります。

● 急激な温度変化を与えない

極端に温度差のある場所に急にカメラを持ち込むと、カメラ内外に水滴が生じ、故障の原因となります。カメラをバッグやビニール袋などに入れて、周囲の温度になじませてからお使いください。

● 強い電波や磁気の発生する場所で撮影しない

強い電波や磁気を発生するテレビ塔などの周囲や、強い静電気の周囲では、記録データが消滅したり、撮影画像へのノイズ混入等、カメラが正常に機能しないことがあります。

● 長時間、太陽に向けて撮影または放置しない

太陽などの高輝度被写体に向けて長時間直接撮影したり、放置したりしないでください。過度の光照射は撮像素子の褪色・焼き付きを起こすおそれがあります。また、その際撮影された画像に、真っ白くにじみが生じることがあります。

● レンズやボディーキャップを外した状態でカメラを放置しない

レンズを取り外した後は、カメラにボディーキャップを必ず取り付けてください。

● カメラ本体のお手入れについて

カメラ本体のお手入れの際は、プロアーでゴミやほこりを軽く吹き払ってから、乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。特に、海辺で使った後は、真水を数滴たらした柔らかい清潔な布で塩分を拭き取ってから、乾いた柔らかい布で軽く拭いて乾かしてください。



● レンズのお手入れについて

レンズは傷が付きやすいので、ゴミやほこりが付いているときは、ブロアーで軽く吹き払う程度にしてください。なお、スプレー缶タイプのブロアーの場合、スプレー缶を傾けずにお使いください（中の液体が気化されずに吹き出し、レンズを傷つける場合があります）。レンズに万一指紋などが付いてしまった場合は、柔らかい清潔な布に市販のレンズクリーナーを少量湿らせて、軽く拭き取ってください。

● ダストシールドのお手入れについて

ダストシールドを押さえたり、突いたりなどは、絶対にしないでください。傷や破損などの原因となります。

● 長期間使用しないときは、バッテリーを取り出し、乾燥剤と一緒に保管する

カメラを長期間使用しないときは、バッテリーの液もれなどからカメラを保護するために、必ずカメラからバッテリーを取り出しておいてください。保管する際は、カメラをポリエチレン袋などに乾燥剤と一緒に入れておくことより安全です。ただし、皮ケースをビニール袋に入れると、変質することがありますので避けてください。カメラやバッテリーは高温、多湿となる場所を避けて保管してください。乾燥剤（シリカゲル）は湿気を吸うと効力がなくなるので、ときどき交換してください。カメラを長期間使用しないまま放置しておく、カビや故障の原因となることがあるので、月に一度を目安にバッテリーを入れ、カメラを操作することをおすすめします。

● 風通しのよい場所に保管する

カビや故障などを防ぐため、風通しのよい乾燥した場所を選んでカメラを保管してください。防虫剤のあるところ、磁気を発生する器具のそば、高温となる夏季の車内、使用しているストーブの前などにカメラを置かないでください。故障の原因になります。

● バッテリーやACアダプターを取り外すときは、必ずカメラの電源をOFFにする

カメラの電源がONの状態、バッテリーを取り出した、ACアダプターを取り外すと、故障の原因となります。特に撮影中や記録データの削除中に前記の操作は行わないでください。



● 液晶モニターについて

- モニター画面は、非常に精密度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効ドットがありますが、0.01%以下でドット抜けするものがあります。そのため、常時点灯（白、赤、青、緑）あるいは非点灯（黒）の画素が一部存在することがありますが、故障ではありません。また、記録される画像には影響ありません。あらかじめご了承ください。
- 屋外では日差しの加減で液晶モニターが見えにくい場合があります。
- 液晶モニター表面を強くこすったり、強く押ししたりしないでください。液晶モニターの故障やトラブルの原因になります。もしゴミやほこり等が付着した場合は、ブローアーで吹き払ってください。汚れがひどいときは、柔らかい布やセーム革等で軽く拭き取ってください。万一、液晶モニターが破損した場合、ガラスの破片などでケガをするおそれがあるので充分ご注意ください。中の液晶が皮膚や目に付着したり、口に入ったりしないよう、充分ご注意ください。

● モアレについて

モアレは、被写体の模様と撮像素子の配列とが干渉して起きる現象で、連続するパターンのある画像（建物の格子や格子模様、格子状に並んだビルの窓など）や、規則的に繰り返す細かい模様を持つ被写体（カーテンレースの網目や衣類など）を撮影したときに発生することがあります。このモアレは線状に発生する場合もあります。モアレが発生しやすい被写体を撮影するときは、撮影距離を変える、ズームレンズをご使用の場合はズーミングして焦点距離を変える、被写体に対する角度を変えて撮影する、などの方法をおすすめします。

● 線状のノイズについて

逆光撮影や輝度の高い光源に向けて撮影する場合、まれに画像上に線状のノイズが発生することがあります。



バッテリーの取り扱い上のご注意

● 使用上のご注意

- バッテリーの使用方法を誤ると液もれにより製品が腐食したり、バッテリーが破裂したりするおそれがあります。次の使用上の注意をお守りください。
 - バッテリーはカメラの電源をOFFにしてから入れる。
 - バッテリーを長時間使用した後は、バッテリーが発熱していることがあるので注意する。
 - バッテリーの端子は、汚さないように注意する。
 - 必ず指定のバッテリーを使う。
 - バッテリーを火の中に投入したり、ショートさせたり、分解したりしない。
 - カメラやチャージャーから取り外したバッテリーには、必ず端子カバーを付ける。
- バッテリーは0℃～40℃の範囲を超える場所ではお使いにならないでください。バッテリーの性能が劣化したり、故障の原因となります。
- 周囲の温度が5℃～35℃の室内で充電してください。バッテリーの温度が0℃以下、60℃以上のときは、充電をしません。
- バッテリーの温度が0℃～10℃、45℃～60℃のときは、充電できる容量が少なくなる、または充電時間が長くなることがあります。
- 一般的な電池特性として、周囲の温度が下がるにつれ、使用できるバッテリー容量は少なくなります。このカメラでは、温度変化に対して使用できる容量も的確にバッテリー残量として表示します。そのため、十分に充電したバッテリーでも、充電したときよりも温度が低くなると、充電直後から残量が減り始めた表示になることがあります。
- 十分に充電したにもかかわらず、室温での使用状態でバッテリーの使用時間が極端に短くなってきた場合は、バッテリーの寿命です。新しいリチャージャブルバッテリー EN-EL24をお求めください。
- カメラの使用直後など、バッテリー内部の温度が高くなっている場合は、温度が下がるのを待ってから充電してください。バッテリー内部の温度が高い状態では、充電ができなかったり、または不完全な充電になるばかりでなく、バッテリーの性能が劣化する原因になります。
- しばらく使わない場合は、カメラでバッテリーを使い切った状態で涼しいところで保管してください。周囲の温度が15℃～25℃くらいの乾燥したところをおすすめします。暑いところや極端に寒いところは避けてください。
- 使用後のバッテリーは、半年以内に充電するようおすすめします。長期間保管する場合は、半年に一回程度充電した後、カメラでバッテリーを使い切ってから涼しいところで保管してください。
- 使用しないときは、必ずバッテリーをカメラやチャージャーから取り外してください。付けたままにしておくと、電源が切れていても微少電流が流れていますので、過放電になり使えなくなるおそれがあります。



● 撮影前にバッテリーをあらかじめ充電する

撮影前にバッテリーを充電してください。付属のバッテリーは、ご購入時にはフル充電されていません。

● 予備バッテリーを用意する

撮影の際は、充電された予備のバッテリーをご用意ください。特に、海外の地域によってはバッテリーの入手が困難な場合があるので、ご注意ください。

● 低温時にはフル充電したバッテリーを使用し、予備のバッテリーを用意する

低温時に消耗したバッテリーを使用すると、カメラが作動しないことがあります。低温時にはフル充電したバッテリーを使用し、保温した予備のバッテリーを用意して暖めながら交互に使用してください。低温のために一時的に性能が低下して使えなかったバッテリーでも、常温に戻ると使えることがあります。

● バッテリーの残量について

残量がなくなったバッテリーをカメラに入れたまま、何度も電源のON/OFFを繰り返すと、バッテリーの寿命に影響を及ぼすおそれがあります。残量がなくなったバッテリーは、充電してお使いください。

● 充電が完了したバッテリーを続けて再充電しない

バッテリー性能が劣化します。

● 小型充電式電池のリサイクル

不要になった充電式電池は、貴重な資源を守るために、廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。



Li-ion00

数字の有無と
数値は、電池
によって異な
ります。



撮影に関する設定の初期設定一覧

再生メニュー (□146)、撮影メニュー (□154)、セットアップメニュー (□193) の初期設定は各メニューのページを参照してください。

撮影に関する設定	初期設定
AFエリア (□187)	中央※
プログラムシフト (□64)	解除
フォーカスロック (□189)	解除
連写とセルフタイマー (□94、96)	スポーツモード：10fps その他のモード：[S] (単写)
露出補正 (□98)	0.0
フラッシュモード (□99)	オートモード、ポップ、レトロ、硬調モノクローム、ノスタルジックセピア、ソフト、クロスプロセス、トイカメラ風、魚眼効果、クローズアップ：通常発光オート P、S、A、Mモード：通常発光 ミニチュア効果、セレクトカラー、クロススクリーン：発光禁止 美肌効果、夜景ポートレート、ポートレート、自分撮りモード：赤目軽減オート
Picture Controlの調整 (□171)	解除

※[AFエリアモード] (□187) が [オートエリア] のときは、AFエリアは表示されません。



メニューの初期設定

メニュー	初期設定
撮影間隔 (□49)	5s (5秒)
AEロック (□50)	AE-L (する)
スローモーション (□54)	400fps
色相 (□56)	レトロ : Yellow (黄) クロスプロセス : Blue (青)
効果の度合い (□56、57)	ソフト : 0 N (標準) 魚眼効果 : 0 N (標準) 美肌効果 : ++ (標準)
ポートレート (□56)	ON (する)
色の濃さ (□57)	0 N (標準)
周辺減光 (□57)	0 N (標準)
色の選択 (□63)	—
記録範囲 (□76)	シャッター全押し前後
20枚の記録時間 (□76)	1s
初期選択枚数 (□75)	1
画像の保存枚数 (□81)	5
動画の前後比率 (□88)	1.0秒 : 0.6秒
ファイル形式 (□89)	NMS形式
音声 (□89)	BGM



1枚のメモリーカードに記録できるコマ数（静止画）と時間（動画）

撮影時のカメラの設定によって、16GBのメモリーカードに記録できるコマ数（静止画）や時間（動画）は、各撮影モードで次のようになります（Sandisk社製16GBのmicroSDHC UHS-Iカード（SDSDQXP-016G-J35A）を使用した場合）。ただし、カードの種類や撮影条件によって、コマ数は増減することがあります。

■■ 静止画

画質モード (158)	画像サイズ (159)	1コマあたりのファイルサイズ	記録可能コマ数
RAW + FINE※	5568×3712	約41.3MB	367コマ
	4176×2784	約35.7MB	424コマ
	2784×1856	約31.7MB	478コマ
RAW	—	約27.9MB	544コマ
FINE	5568×3712	約13.4MB	1100コマ
	4176×2784	約7.8MB	1900コマ
	2784×1856	約3.8MB	3900コマ
NORMAL	5568×3712	約7.0MB	2100コマ
	4176×2784	約4.2MB	3500コマ
	2784×1856	約2.2MB	6800コマ

※画像サイズはJPEG画像のものです。ファイルサイズはRAW画像とJPEG画像の合計です。



■■ HD動画※1

サイズ/フレームレート (□161)	記録可能時間※2
1080/60p	約35分
1080/30p	約1時間00分
720/60p	約1時間30分
720/30p	約2時間00分

※1 タイムラプス動画、早送り動画、ジャンプカット、4秒動画の場合、サイズ/フレームレートは常に1080/30pになります。

※2 1回の撮影での最長記録時間については、□161をご覧ください。

■■ 4K動画

記録可能時間
約35分



故障かな？と思ったら

カメラの動作がおかしいときは、ご購入店やニコンサービス機関にお問い合わせになる前に、次の項目をご確認ください。

電源・表示関連

● 電源ONの状態、カメラを操作できない

- 画像や動画の記録などの処理が終わるまでお待ちください。
- 操作できない状態が続くときは、電源をOFFにする操作をしてください。
電源がOFFにならない場合は、バッテリーを入れ直してください。
ACアダプター使用時は付け直してください。
 - 記録中であったデータは保存されません。
 - 保存済みのデータはバッテリーやACアダプターの取り外しでは失われません。

● 液晶モニターに何も表示されない

- 電源が入っていません (□28)。
- バッテリー残量がありません (□22、30)。
- 節電機能により待機状態になっています (オートパワーオフ)。シャッターボタンなどを操作してください。
- カメラとパソコン、またはカメラとテレビを接続しています (□137、140)。

● カメラの電源が突然切れる

- バッテリー残量がありません (□22、30)。
- 節電機能により待機状態になっています (オートパワーオフ)。シャッターボタンなどを操作してください。
- カメラの内部が高温になっています。温度が下がるまで、しばらく放置してから電源を入れ直してください (□xix、227)。

● 液晶モニターに撮影情報や画像情報が表示されない

セットアップメニュー [モニター表示] の [撮影画面の設定] と [再生画面の設定] では、撮影時または再生時に液晶モニターに表示される内容を切り換えられます (□196)。



撮影関連（全モード共通）

- 電源をONにしてから、撮影できる状態になるまでに時間がかかる
メモリーカード内にフォルダーや画像が大量にあるときは、ファイル検索のため時間がかかる場合があります。
- シャッターがきれない
 - バッテリー残量がありません（□22、30）。
 - 残量のあるメモリーカードが入っていますか？（□23、30）
 - 内蔵フラッシュの充電中はシャッターがきれません（□103）。
 - 被写体にピントが合っていません（□32）。
 - スローモーション動画、4K動画およびタイムラプス動画撮影中は、シャッターボタンを全押ししても、静止画は撮影できません（□41）。
- 連続撮影できない
連続撮影速度（□94）が5fps（）の場合、内蔵フラッシュを上げているときは（単写）として動作します。
- ピントが合わない
 - オートフォーカスが苦手な被写体を撮影しています（□184）。
 - フォーカスモードが【MF】（マニュアルフォーカス）になっていませんか？（□183、185）
- シャッターボタンを半押ししても、フォーカスロックされない
フォーカスロックするには、フォーカスモードを【AF-S】にしてください（□183、189）。
- AFエリアを選べない
 - AFエリアモードが【オートエリア】のときは、選べません（□187）。
 - AFエリアモードが【シングルポイント】または【ターゲット追尾】のときは、 ボタンを押すと、AFエリアを選べます（□187、188）。
 - 顔認識での撮影時は、選べません（□36）。
- AFエリアモードを変更できない
 - フォーカスモードが【MF】（マニュアルフォーカス）になっていませんか？（□183、185）
 - オートモード、クリエイティブモード、スポーツモードまたはベストモーメントキャプチャーモードになっていませんか？（□31、55、71、73）
 - 露出モードが【 おまかせシーン】になっていませんか？（□157）
 - 動画電子手ブレ補正が【する】になっていませんか？（□182）
- 画像サイズを変更できない
【画質モード】が【RAW】のときは、画像サイズを変更できません（□158）。



● 画像の記録に時間がかかる

- [長秒時ノイズ低減] が [する] になっていませんか？ (□176)
- クリエイティブモードの [HDR] (□59) 、 [かんたんパノラマ] (□60) の場合、画像の記録に時間がかかることがあります。
- ISO感度が [6400 (NR)] または [12800 (NR)] の場合、画像の記録に時間がかかることがあります (□169)。

● 画像にノイズ（ざらつき、むら、すじ、輝点）が発生する

- ISO感度が高くなっていませんか？ [高感度ノイズ低減] を [する] にすると、ざらつきを低減できます (□176)。
- ISO感度を低く設定して撮影すると、ざらつき、むら、すじ、輝点を低減できます。
- シャッタースピードが1秒より低速な場合は、[長秒時ノイズ低減] を [する] にして撮影すると、むら、輝点を低減できます (□176)。
- 高温となる場所での撮影や長時間露出撮影などでカメラが熱くなっている場合は、むら、輝点が強調されることがあります。カメラの電源をOFFにしてカメラ内部の温度が下がるまで涼しいところにしばらく置いてから撮影すると、むら、輝点を低減できます。

● 画像にゴミが写り込む

- レンズの前面または背面（マウント側）が汚れていませんか？
- ダストシールドが汚れていませんか？ (□208)

● 撮影時の画面や動画にちらつきや横縞が生じる

[フリッカー低減] の設定を、カメラをお使いになる地域の電源周波数に合わせてください (□199)。

● フラッシュが発光しない

P、S、A、Mモードまたは自分撮りモードで内蔵フラッシュが収納されている場合 (□103) やフラッシュモードが ④（発光禁止）の場合 (□100) は、内蔵フラッシュは発光しません。

● 選択または設定できないメニュー項目がある

撮影モードや露出モードによっては、設定できない機能があります。この場合、その項目はグレーで表示されて選択できません。



撮影関連（撮影モードP、S、A、M）

● シャッターがきれない

撮影モードが**M**のときにシャッタースピードをBulbに設定し、そのまま撮影モードを**S**に変更した場合は、シャッタースピードを再設定してから撮影してください（□□65）。

● 設定できるシャッタースピードの範囲が狭い

フラッシュ撮影時は、シャッタースピードが制限されます。

● 画像の色合いがおかしい

- ホワイトバランスは正しく設定されていますか？（□□163）
 - **[Picture Control]** は正しく設定されていますか？（□□170）
-

● ホワイトバランスのプリセットマニュアルのデータが取得できない

被写体が明るすぎるか、暗すぎます（□□166）。

● **[Picture Control]** の効果が安定しない

[Picture Control] の調整画面で、**[輪郭強調]**、**[コントラスト]**、**[色の濃さ（彩度）]** のいずれかが **[A]**（オート）に設定されています。ピクチャーコントロールの効果を一定にするには、これらの項目を **[A]**（オート）以外に設定してください（□□172）。

● 画像の一部が赤っぽくなる

シャッタースピードをBulbにした場合など、長時間露出で撮影すると、画像の一部が赤っぽくなる場合があります。この現象は、**[長秒時ノイズ低減]** を **[する]** に設定することで低減できます（□□176）。



動画撮影関連

● 動画を撮影できない

ベストモーメントキャプチャーモードとモーションスナップショットモードでは、動画撮影ボタンを押しても、動画撮影できません (□77、86)。

● 動画に音声記録されない

- [動画音声の設定] の [録音設定] が [録音しない] になっていませんか? (□177)
- アドバンスド動画モードが [タイムラプス動画]、[スローモーション]、[早送り動画]、[ジャンプカット] の場合、音声は記録されません (□46)。
- [音声] が [なし] の場合、モーションスナップショット画像には音声は記録されません (□89)。

● AFエリアモードが [オートエリア] 時に、AFエリアの表示が大きい

次の場合はAFエリアの表示が大きくなります (□187)。

- フォーカスモードを [AF-S] に設定して、4K動画を撮影する場合
- 動画電子手ブレ補正を [する] に設定して、モーションスナップショットを撮影する場合
- 動画電子手ブレ補正を [する]、フォーカスモードを [AF-S] に設定して、アドバンスド動画モードの [HD動画] を撮影する場合

タッチ撮影機能関連

● タッチ撮影機能を使用できない

- ベストモーメントキャプチャーモードおよびモーションスナップショットモードのときは、タッチ撮影機能は使用できません。
- 画面の周辺部分をタッチしても撮影やピント合わせはできません。画面の中央寄りの位置をタッチしてください。

● 画像がブレる

タッチしてシャッターをきる場合、撮影シーンによっては画像がブレやすくなることがあります。カメラを両手でしっかりと構えて撮影してください。



再生関連

● RAW画像が表示されない

「画質モード」を「RAW+FINE」にして撮影した画像は、JPEG画像しか再生されません (□158)。

● 画像の縦位置・横位置が正しく表示されない

- 「縦位置自動回転」が「しない」になっていませんか？ (□148)
- 「縦横位置情報の記録」が「しない」になっていませんか？ (□201)
- 撮影直後の画像確認時は、自動回転しません (□148)。
- カメラを上向き・下向きにして撮影すると、縦横位置情報が正しく得られない場合があります (□201)。

● 動画の音声再生されない

- コマンドダイヤルを右に回すと、音量が大きくなります (□43)。
- アドバンスド動画モードが「タイムラプス動画」、「スローモーション」、「早送り動画」、「ジャンプカット」の場合、音声は記録されません (□46)。
- 「音声」が「なし」の場合、モーションスナップショット画像には音声は記録されません (□89)。
- テレビで動画を再生するときは、音量をテレビ側で調節してください。カメラでは音量調節できません。

● 画像を削除できない

画像にプロテクトが設定されていませんか？ (□149)

● RAW画像をプリントできない

RAW画像はパソコンに転送してから、Capture NX-DまたはViewNX-iなどのソフトウェアを使ってプリントしてください (□136)。

● 画像がHDMI機器で再生できない

市販のHDMIケーブルが正しく接続されているか確認してください (□140)。

● 画像をパソコンに転送できない

お使いのパソコンのOSによっては、カメラをパソコンに接続して画像を転送できないことがあります。カードリーダーなどの機器を使って、メモリーカードの画像をパソコンに保存してください。

● 「ピクチャーコントロール」、「アクティブD-ライティング」の効果がパソコンで確認できない

RAW画像で記録した場合、当社製ソフトウェア以外では機能しません。RAW画像の現像はCapture NX-Dをお使いください (□136)。



Wi-Fi（無線LAN）関連

- スマートデバイスにカメラのSSID（ネットワーク名）が表示されない
 - カメラのWi-Fi機能が有効になっていることを確認してください（□□113）。
 - スマートデバイスのWi-Fi機能をOFFにしてからONにし直してみてください。
 - NFCで、カメラとスマートデバイスを接続できない
カメラのN（Nマーク）（□□2）とスマートデバイスのNFCアンテナ部をタッチしても接続できない場合は、SSIDで接続してください（□□113）。
-

その他

- 撮影日時が正しく表示されない
カメラの内蔵時計は合っていますか？カメラの内蔵時計は腕時計などの一般的な時計ほど精度は高くないため、定期的に日時設定を行うことをおすすめします（□□29、200）。
 - 表示されているメニュー項目が選択できない
 - メモリーカードをカメラに挿入していないときは、選択できない項目があります（□□23）。
 - 一部のメニュー項目は、カメラの設定状況によってグレーで表示されて選択できない場合があります。
-



警告メッセージ

液晶モニターに表示される警告メッセージの意味は次の通りです。

表示	対処方法	📖
(シャッタースピード表示、 絞り値表示の いずれかが点滅)	被写体が明るすぎる場合、次の操作を行ってください。 - ISO感度を低くしてください。 - シャッタースピードをより高速側にセットしてください。 - 絞りを絞り込んでください（より大きい数値）。	169 65、67 66、67
	被写体が暗すぎる場合、次の操作を行ってください。 - ISO感度を高くしてください。 - 内蔵フラッシュをお使いください。 - シャッタースピードをより低速側にセットしてください。 - 絞りを開いてください（より小さい数値）。	169 99 65、67 66、67
ズームリングボタンを押し ながら、ズームリングを 回してレンズを 繰り出してください。	レンズが収納されています。ズームリングボタンを押しながらズームリングを回して、ロックを解除してください。	27、 237
レンズの動作不良です。 電源OFF後再度 実行してください。	電源を一度OFFにしてから、もう一度電源をONにしてください。警告表示が解除されない場合や、頻繁に警告が表示される場合は、ニコンサービス機関にご相談ください。	28、 256
レンズを確認してくだ さい。レンズが装着されて いないと撮影できません。	レンズを装着してください。	26
撮影できません。 バッテリーを交換 してください。	残量のあるバッテリーに交換してください。	22、23



表示	対処方法	📖
時計がリセット されました。	日時を設定してください。	29、 200
メモリーカードが 入っていません。	メモリーカードを正しく入れてください。	23
このメモリーカードは 壊れている可能性がある ため、使用できません。 カードを交換して ください。	- このカメラで使用できるメモリーカードであるかどうかを確認してください。 - メモリーカードを初期化し直してください。状況が改善しない場合は、メモリーカードが壊れている可能性があります。ニコンサービス機関にご相談ください。 - 新しいメモリーカードに交換してください。	205 195、 256 23、205
このメモリーカードは 初期化（フォーマット） されていません。 フォーマットしますか？	「はい」を選んで、メモリーカードを初期化してください。 - 電源をOFFにしてから、正しく初期化されたメモリーカードに交換してください。	195 23
メモリーカード残量が ありません。	- メモリーカードに記録されている画像を削除して、メモリーカードに画像ファイルが保存可能な状態にしてください。必要な画像はパソコンなどに転送してバックアップしてください。 - 新しいメモリーカードに交換してください。	129、 137 23、205
メモリーカードに これ以上フォルダーを 作成できません。	フォルダー番号が999に達しているときにファイル番号が9999に達するか、ファイル数が999個に達すると、それ以上フォルダーを作成できず、シャッターがきれなくなります。この場合は、 「連番リセット」 を行った後、メモリーカードを初期化するか交換してください。	199
このモードでは動画撮影 ボタンを使用できません。	ベストモーメントキャプチャーモードとモーションスナップショットモードでは、動画撮影ボタンは使用できません。	77、86



表示	対処方法	📖
このモードでは静止画の撮影ができません。	スローモーション動画、4k動画およびタイムラプス動画の撮影中は、シャッターボタンを全押ししても、静止画は撮影できません。	41
Bulb設定ではシャッター優先オートの撮影ができません。	- シャッタースピードを変えてください。 - 撮影モードを[マニュアル] (M) にして撮影してください。	65 67
現在のレンズの焦点距離では撮影できません。	[かんたんパノラマ] で撮影を行う場合、実焦点距離が6～30 mmのレンズを使用してください。ズームレンズの場合は、実焦点距離6～30 mmのズーム位置で使用してください。	60
レンズのファームウェアのバージョンアップに失敗しました。電源OFF後、再度実行してください。	電源を一度OFFにしてから、もう一度電源をONにしてファームウェアのバージョンアップをやり直してください。警告表示が解除されない場合や、頻繁に警告が表示される場合は、ニコンサービス機関にご相談ください。	256
カメラの内部回路にエラーが発生しました。電源OFF後、再度実行してください。	電源を一度OFFにしてから、もう一度電源をONにしてください。警告表示が解除されない場合や、頻繁に警告が表示される場合は、ニコンサービス機関にご相談ください。	256
カメラ内が高温となったため、電源をOFFにします。	カメラ内部の温度が下がるまで、撮影を一時休止してください。	xix
撮影画像がありません。	画像が記録されているメモリーカードを入れてください。	23
このファイルは表示できません。	- パソコンで編集した画像など、DCF規格の画像ファイルではないため、再生できません。 - 画像ファイルに異常があるため再生できません。	—
プリンターの状態を確認してください。※	インク交換してください。インクに残量がある場合は、プリンターの状態を確認してください。	—



表示	対処方法	
用紙を確認してください。※	指定したサイズ of 用紙がセットされていません。指定したサイズ of 用紙をセットした後、 [継続] を選んで  ボタンを押して、プリントを再開してください。	—
紙詰まりです。※	用紙が詰まりました。詰まった用紙を取り除いた後、 [継続] を選んで  ボタンを押して、プリントを再開してください。	—
用紙がありません。※	用紙がセットされていません。指定したサイズ of 用紙をセットした後、 [継続] を選んで  ボタンを押して、プリントを再開してください。	—
インクを確認してください。※	インクに異常があります。インクを確認した後、 [継続] を選んで  ボタンを押して、プリントを再開してください。	—
インクがありません。※	インクがなくなりました。インクを交換した後、 [継続] を選んで  ボタンを押して、プリントを再開してください。	—

※ プリンターの使用説明書も併せてご覧ください。



主な仕様

ニコンデジタルカメラNikon 1 J5

型式

型式	レンズ交換式デジタルカメラ
レンズマウント	ニコン1マウント
実撮影画角	レンズの焦点距離の約2.7倍に相当（35mm判換算）

有効画素数

有効画素数	2081万画素
-------	---------

撮像素子

方式	13.2×8.8mmサイズCMOSセンサー、ニコンCXフォーマット
総画素数	2301万画素

記録形式

記録画素数

- 静止画（オートモード、クリエイティブモード（[かんたんパノラマ] 以外）、P、S、A、Mモード、スポーツモード、ベストモーメントキャプチャーモード）※1
 - 5568×3712ピクセル
 - 4176×2784ピクセル
 - 2784×1856ピクセル
- 静止画（クリエイティブモード [かんたんパノラマ]）
 - 4800×920ピクセル（パノラマ標準：水平移動時）※2
 - 1536×4800ピクセル（パノラマ標準：垂直移動時）※3
 - 9600×920ピクセル（パノラマワイド：水平移動時）※4
 - 1536×9600ピクセル（パノラマワイド：垂直移動時）※5
- 静止画（動画撮影時）※1
 - 5568×3712ピクセル
- 静止画（モーションスナップショットモード）※6
 - 5568×3136ピクセル

※1 アスペクト比は3：2 ※4 アスペクト比は240：23

※2 アスペクト比は120：23 ※5 アスペクト比は4：25

※3 アスペクト比は8：25 ※6 アスペクト比は16：9



記録形式

画質モード	• RAW 12ビット（圧縮） • JPEG-Baseline準拠、圧縮率（約）：FINE（1/4）、NORMAL（1/8） • RAWとJPEGの同時記録可能
ピクチャーコントロールシステム	スタンダード、ニュートラル、ビビッド、モノクローム、ポートレート、風景、いずれも調整可能
記録媒体	microSDメモリーカード、microSDHCメモリーカード、microSDXCメモリーカード
対応規格	DCF 2.0、Exif 2.3、PictBridge

撮影モード

撮影モード	：オートモード、：スポーツモード、：クリエイティブモード（POP：ポップ、RETRO：レトロ、：硬調モノクローム、SEPIA：ノスタルジックセピア、HDR：HDR、：かんたんパノラマ、：ソフト、：ミニチュア効果、：セレクトカラー、：クロスプロセス、：トイカメラ風、：クロススクリーン、：魚眼効果、：美肌効果、：夜景、：夜景ポートレート、：風景、：クローズアップ、：ポートレート）、P：プログラムオート（プログラムシフト可能）、S：シャッター優先オート、A：絞り優先オート、M：マニュアル、：ベストモーメントキャプチャーモード（：お気に入りフォト選択、：スロービュー、：スマートフォトセレクト）、：アドバンスド動画モード（HD：HD動画、4K：4K動画、：タイムラプス動画、：スローモーション、：ジャンプカット、：早送り動画、：4秒動画）、：モーションスナップショットモード、：自分撮りモード
-------	--

シャッター

シャッター方式	エレクトロニックシャッター
シャッタースピード	1/16000～30秒（1/3ステップ）、Bulb ※ バルブ撮影時、シャッターは開いてから約2分経つと自動的に閉じます。
フラッシュ同調シャッタースピード	X=1/60秒以下の低速シャッタースピードで同調



レリーズ機能

レリーズモード	• 単写、連写 • セルフタイマー • インターバルタイマー撮影
連続撮影速度	約5コマ/秒、約10コマ/秒、約20コマ/秒、約30コマ/秒、約60コマ/秒
セルフタイマー	作動時間：2秒、10秒

露出制御

測光方式	撮像素子によるTTL測光方式
測光モード	• マルチパターン測光 • 中央部重点測光：φ4.5mm相当を測光 • スポット測光：φ2mm相当を測光、AFエリアに連動して測光位置可動
露出モード	P ：マルチプログラムオート（プログラムシフト可能）、 S ：シャッター優先オート、 A ：絞り優先オート、 M ：マニュアル、 ☐ ：おまかせシーン（シーン自動判別）
露出補正	範囲：±3段、補正ステップ：1/3ステップ
AEロック	シャッターボタン半押しによる輝度値ロック方式
ISO感度 （推奨露光指数）	• ISO 160～12800（200以上は1段ステップ）、6400（NR）、12800（NR）選択可能 • 感度制限オート（160～6400、160～3200、160～800） • P、S、A、Mモードまたは「露出モード」が「Pプログラムオート」、「Sシャッター優先オート」、「A絞り優先オート」または「Mマニュアル」時に設定可能
アクティブ D-ライティング	する、しない

オートフォーカス

方式	ハイブリッドAF（位相差AF/コントラストAF）、AF補助光付
レンズサーボ	• オートフォーカス（AF）：シングルAF（AF-S）、コンティニュアスAF（AF-C）、AF自動切り換え（AF-A）、常時AF（AF-F） • マニュアルフォーカス（MF）
AFエリアモード	シングルポイント、オートエリア、ターゲット追尾
AFエリア	• シングルポイント：171点のAFエリア（中央部105点は位相差AF） • オートエリア：41点のAFエリア



オートフォーカス	
フォーカスロック	シャッターボタン半押し（シングルAF（AF-S）時）
顔認識	する、しない
フラッシュ	
内蔵フラッシュ	• オートモード、クリエイティブモード（HDR、かんたんパノラマ、風景、夜景以外）時：オートポップアップ方式による自動発光 • P、S、A、M モード、自分撮りモード時：手動ポップアップ方式 ガイドナンバー：約5（ISO 100・m）/約6.3（ISO160・m）、20℃の場合
調光方式	撮像素子によるi-TTL調光制御
フラッシュモード	通常発光オート、赤目軽減オート、通常発光、赤目軽減発光、通常発光＋スロー、赤目軽減発光＋スロー、後幕発光＋スロー、後幕発光、発光禁止
調光補正	範囲：-3～+1段、補正ステップ：1/3ステップ
レディーライト	内蔵フラッシュ使用時に充電完了で点灯
ホワイトバランス	
ホワイトバランス	オート、電球、蛍光灯、晴天、フラッシュ、曇天、晴天日陰、プリセットマニュアル、プリセットマニュアル以外はいずれも微調整可能
動画機能	
測光方式	撮像素子によるTTL測光方式
測光モード	• マルチパターン測光 • 中央部重点測光：$\phi 4.5\text{mm}$相当を測光 • スポット測光：$\phi 2\text{mm}$相当を測光、AFエリアに連動して測光位置可動



動画機能

記録画素数/ 記録レート	● HD動画※1 - 1920×1080ピクセル (60p (59.94fps)) - 1920×1080ピクセル (30p (29.97fps)) - 1280×720ピクセル (60p (59.94fps)) - 1280×720ピクセル (30p (29.97fps)) ● 4K動画※1 - 3840×2160ピクセル (15p (14.99fps)) ● スローモーション動画 - 1280×720ピクセル (記録：120 fps、再生：30p (29.97fps)) ※1 - 800×296ピクセル (記録：400fps、再生：30p (29.97fps)) ※2 - 400×144ピクセル (記録：1200fps、再生：30p (29.97fps)) ※2 ● タイムラプス動画、早送り動画、ジャンプカット動画、4秒動画※1 - 1920×1080ピクセル (30p (29.97fps)) ● モーションスナップショットモードで撮影した動画※1 - 1920×1080ピクセル (記録：60p (59.94fps)、再生：24p (23.976fps)) ※1 アスペクト比 (横：縦) は16：9 ※2 アスペクト比 (横：縦) は8：3
	ファイル形式 MOV
	映像圧縮方式 H.264/MPEG-4 AVC
	音声記録方式 PCM
	録音装置 内蔵ステレオマイク、マイク感度設定可能

画像モニター

画像モニター	チルト式3型TFT液晶モニター (タッチパネル)、約104万ドット、明るさ調整可能
--------	---

再生機能

再生機能	1コマ再生、サムネイル再生 (4、9、16分割またはカレンダーモード)、拡大再生、連写グループ画像再生、連写グループ内連続再生、動画再生、パノラマ再生、スライドショー、ヒストグラム表示、撮影画像の縦位置自動回転
------	---

インターフェース

USB	Hi-Speed USB
HDMI出力	HDMI端子 (Type D) 装備



Wi-Fi（無線LAN）

準拠規格	IEEE802.11b、IEEE802.11g
周波数範囲 （中心周波数）	2412～2462 MHz（1～11ch）
通信距離（見通し）	約10 m 電波干渉が無い場合。通信距離は遮蔽物や電波状態などにより影響されます。
データ転送速度 （規格値）	54 Mbps 表示の数値は、規格の理論上の最大値であり、実際のデータ転送速度を示すものではありません。
認証方式	オープンシステム、WPA2-PSK
アクセス方式	インフラストラクチャーモード

NFC

方式	NFCフォーラム Type 3 Tag
----	---------------------

表示言語

表示言語	日本語、英語
------	--------

電源

使用電池	Li-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL24（1個使用）
ACアダプター	ACアダプター EH-5b（パワーコネクター EP-5Fと組み合わせて使用）（別売）

三脚ネジ穴

三脚ネジ穴	1/4（ISO 1222）
-------	---------------

寸法・質量

寸法（W×H×D）	約98.3×59.7×31.5 mm（突起部を含まず）
質量	約265 g（バッテリーおよびmicroSDメモリーカードを含む、ポディーキャップを除く） 約231 g（本体のみ）

動作環境

温度	0℃～40℃
湿度	85%以下（結露しないこと）

- 仕様中のデータは特に記載のある場合を除き、CIPA（カメラ映像機器工業会）規格によります。
- 仕様中のデータは、フル充電バッテリー使用時のものです。



バッテリーチャージャー MH-31

電源	AC 100~240 V、50~60 Hz、0.2 A
定格入力容量	13~21 VA
充電出力	DC 8.4 V、0.6 A
適応電池	Li-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL24
充電時間	約2時間30分 ※残量のない状態からの充電時間（周囲温度25℃）
使用温度	0℃~40℃
寸法（W×H×D）	約67×28×94 mm（突起部除く）
質量	約83 g

Li-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL24

形式	リチウムイオン充電電池
定格容量	7.2 V、850 mAh
使用温度	0℃~40℃
寸法（W×H×D）	約29×47×13 mm
質量	約34 g（端子カバーを除く）

レンズ 1 NIKKOR VR 10-30mm f/3.5-5.6 PD-ZOOM

型式	1マウントレンズ
焦点距離	10 mm-30 mm
最大口径比	1 : 3.5-5.6
レンズ構成	7群9枚（非球面レンズ4枚、EDレンズ1枚、高屈折率レンズ使用）
画角	77°- 29° 40'
手ブレ補正	ボイスコイルモーター（VCM）によるレンズシフト方式
最短撮影距離	撮像面から0.2 m（ズーム全域）
絞り羽根枚数	7枚（円形絞り）
絞り方式	自動絞り
絞りの範囲	• 焦点距離 10 mm時：f/3.5-16 • 焦点距離 30 mm時：f/5.6-16
寸法	約58 mm（最大径）×28 mm（レンズマウント基準面からレンズ先端まで、沈胴時）
質量	約85 g



レンズ 1 NIKKOR VR 30-110mm f/3.8-5.6

型式	1マウントレンズ
焦点距離	30 mm-110 mm
最大口径比	1 : 3.8-5.6
レンズ構成	12群18枚 (EDレンズ2枚)
画角	29° 40' - 8° 20'
手ブレ補正	ボイスコイルモーター (VCM) によるレンズシフト方式
最短撮影距離	撮像面から1.0 m (ズーム全域)
絞り羽根枚数	7枚 (円形絞り)
絞り方式	自動絞り
絞りの範囲	• 焦点距離30 mm時 : f/3.8-16 • 焦点距離110 mm時 : f/5.6-16
アタッチメントサイズ	40.5 mm (P=0.5 mm)
寸法	約60 mm (最大径) × 61 mm (レンズマウント基準面からレンズ先端まで、沈胴時)
質量	約180 g

レンズ 1 NIKKOR VR 10-100mm f/4-5.6

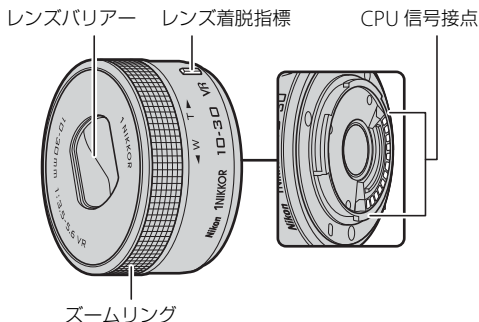
型式	1マウントレンズ
焦点距離	10 mm-100 mm
最大口径比	1 : 4-5.6
レンズ構成	12群19枚 (非球面レンズ3枚、EDレンズ2枚、高屈折率レンズ使用)
画角	77°- 9° 10'
手ブレ補正	ボイスコイルモーター (VCM) によるレンズシフト方式
最短撮影距離	• 焦点距離10 mm時 : 撮像面から0.35 m • 焦点距離60 mm時 : 撮像面から1.0 m • 焦点距離100 mm時 : 撮像面から0.65 m
絞り羽根枚数	7枚 (円形絞り)
絞り方式	自動絞り
絞りの範囲	• 焦点距離10 mm時 : f/4-16 • 焦点距離100 mm時 : f/5.6-16
アタッチメントサイズ	55 mm (P=0.75 mm)
寸法	約60.5 mm (最大径) × 70.5 mm (レンズマウント基準面からレンズ先端まで、沈胴時)
質量	約298 g

- 仕様・性能は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。
- 活用ガイドの誤りなどについての補償はご容赦ください。

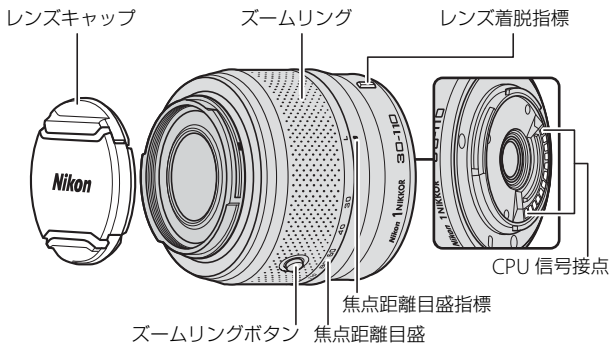


■ 1 NIKKORレンズについて

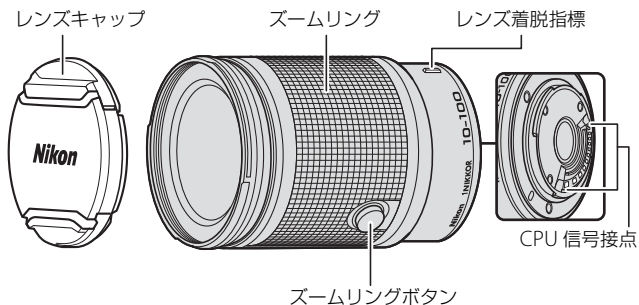
1 NIKKOR VR 10-30mm f/3.5-5.6 PD-ZOOM



1 NIKKOR VR 30-110mm f/3.8-5.6



1 NIKKOR VR 10-100mm f/4-5.6



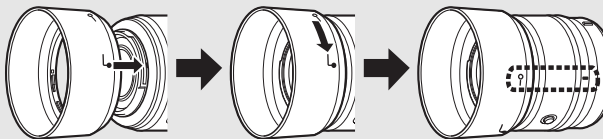
- これらのレンズは、レンズ交換式デジタルカメラ（Nikon 1）専用です。撮影画角は、35mm判換算で約2.7倍の焦点距離に相当する画角になります。
- これらのレンズには手ブレ補正機能（VR）があり、カメラの撮影メニュー **「光学手ブレ補正」** で **「する」** または **「しない」** に切り換えられます（☞181）。
- ズームレンズでズーミングを行うには、ズームリングを回転させます（☞37）。



● 付属アクセサリ

- 40.5mmスプリング式レンズキャップ LC-N40.5 (1 NIKKOR VR 30-110mm f/3.8-5.6のみ)
- 55mmスプリング式レンズキャップ LC-N55 (1 NIKKOR VR 10-100mm f/4-5.6のみ)
- バヨネットフード HB-N103 (1 NIKKOR VR 30-110mm f/3.8-5.6のみ)
- 裏ぶた LF-N1000

バヨネットフード HB-N103の取り付け方



● 使用できるアクセサリ

- 40.5mmネジ込み式フィルター (1 NIKKOR VR 30-110mm f/3.8-5.6のみ)
- 55mmネジ込み式フィルター (1 NIKKOR VR 10-100mm f/4-5.6のみ)
- バヨネットフード HB-N106 (1 NIKKOR VR 10-100mm f/4-5.6のみ)
- セミソフトケース CL-N101 (1 NIKKOR VR 10-100mm f/4-5.6のみ)



▼ レンズのお手入れと取り扱い上のご注意

- 1 NIKKOR VR 10-30mm f/3.5-5.6 PD-ZOOM以外のレンズの場合、フードをレンズに装着した状態で、フードだけを持たないでください。
- CPU信号接点は汚さないようにご注意ください。
- レンズ面の清掃は、ほこりを拭う程度にしてください。指紋が付いたときは、柔らかい清潔な木綿の布に無水アルコール（エタノール）または市販のレンズクリーナーを少量湿らせ、レンズの中心から外周へ渦巻き状に、拭きむら、拭き残りのないように注意して拭いてください。
- シンナーやベンジンなどの有機溶剤は絶対に使用しないでください。
- 1 NIKKOR VR 10-30mm f/3.5-5.6 PD-ZOOM以外のレンズの場合、レンズ表面の汚れや傷を防ぐためには、NCフィルターをお使いいただけます。また、レンズのフードも役立ちます。
- 1 NIKKOR VR 10-30mm f/3.5-5.6 PD-ZOOMをケースなどに入れるときは、必ず裏ぶたを取り付けてください。また、レンズが収納されてレンズバリアーが閉じている状態で入れてください。
- 1 NIKKOR VR 10-30mm f/3.5-5.6 PD-ZOOM以外のレンズをケースなどに入れるときは、必ずレンズキャップと裏ぶたを取り付けてください。
- レンズを長期間使用しないときは、カビやサビを防ぐために、高温多湿の場所を避けて風通しのよい場所に保管してください。また、直射日光の当たるところ、防虫剤のあるところも避けてください。
- レンズを水にぬらすと、部品がサビつくなどして故障の原因となりますのでご注意ください。
- ストープの前など、高温になるところに置かないでください。極端に温度が高くなると、外観の一部に使用している強化プラスチックが変形することがあります。
- 1 NIKKOR VR 10-30mm f/3.5-5.6 PD-ZOOMのレンズバリアーには触れないでください。故障の原因になることがあります。



■■ 別売のマウントアダプター FT1について

本書およびマウントアダプターFT1とレンズの使用説明書をよくお読みになり、内容を十分に理解してから正しくお使いください。

オートフォーカス (AF) でピントを合わせる

Nikon 1 カメラでFT1を使ってオートフォーカスでピントを合わせるには、AF-Sレンズを装着してください。その他のFマウント用NIKKORレンズの場合は、オートフォーカスでピント合わせはできません。マニュアルフォーカスをお使いください。

- オートフォーカスで撮影する場合、フォーカスモードを[AF-S]または[AF-C]に設定してください。その他のオートフォーカスモードは設定できません。
- [シングルポイント] 以外のAFエリアモードは選べません。常に画面中央のAFエリア内の被写体にピントが合います。
- [顔認識] は行いません。
- 撮影の状況により、ピントが合っていないくても電子音が鳴ってAFエリアが緑色に点灯し、シャッターがきれることがあります。このような場合は、マニュアルフォーカスでピント合わせをしてください。

マニュアルフォーカス (MF) でピントを合わせる

1 MF (マニュアルフォーカス) を選ぶ

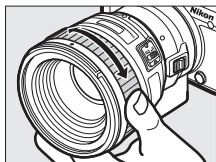
- 撮影メニューの[フォーカスモード] (□183) で[MF] (マニュアルフォーカス) を選びます (□185)。

※M/A (マニュアル優先オートフォーカス) モード機能付きのレンズをお使いの場合、カメラのフォーカスモードが[AF-S]または[AF-C]のときに、シャッターボタンを半押ししたままレンズのフォーカスリングを手で回転させると、マニュアルフォーカスに切り替わります。オートフォーカス撮影に戻るには、カメラのシャッターボタンを半押しし直してください。

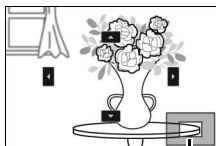


2 レンズのフォーカスリングを回して、ピントを合わせる

- 画面上のメインの被写体がはっきり見えるようにピントを合わせます。

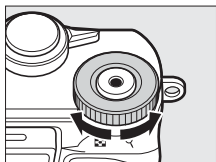


- **OK** ボタンを押すと、画面の中央部が拡大表示され、画面の右下に構図のどの部分を拡大しているかを表すナビゲーションウィンドウ（グレーの枠）が表示されます。
- 撮影モードによっては、**OK** ボタンを押しても拡大表示されません。



ナビゲーション
ウィンドウ

- 拡大表示中にコマンドダイヤルを回すと、拡大率が変わります（最大約10倍）。
- ロータリーマルチセクターの  で画面をスクロールさせて見たい部分に移動できます。
- **OK** ボタンを押すと、撮影画面に戻ります。

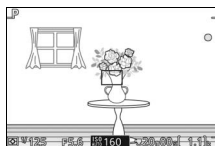


コマンドダイヤル



フォーカスエイドについて

CPUレンズ装着時にマニュアルフォーカスで撮影するときは、液晶モニターのピント表示(●)でピントが合っているかどうかを確認できます。この場合、画面中央のAFエリアが、ピントが合っているかどうかの基準となります。



- ピントが合うと、ピント表示(●)が表示されます。

ピント表示	カメラの操作
● (点灯)	被写体にピントが合っています。
▶ (点灯)	目的の被写体よりも手前にピントが合っています。
◀ (点灯)	目的の被写体よりも後方にピントが合っています。
▶ ◀ (点滅)	ピント合わせができません。

- オートフォーカスの苦手な被写体では、ピントが合っていないなくてもピント表示(●)が点灯することがありますので、被写体にピントが合っていることを確認してください。

FT1使用時の警告について

液晶モニター下部の絞り値表示部に表示される警告の意味は次の通りです。

表示	原因	対処方法
FEE	レンズの絞りリングが最小絞りになっていません。	絞りリングのあるCPUレンズの場合、レンズの絞りリングを最小絞り(最も大きい値)にしてください。
F--	• レンズが装着されていません。 • 非CPUレンズが装着されています。	非CPUレンズを使用する際は、レンズの絞りリングで絞り値を設定してください。



FT1使用時の制限について

- 撮影モードによっては、FT1を使用すると撮影できない場合があります。その場合は撮影モードを変更してください。
- モーションスナップショットモードの場合、AF-Sレンズ使用時にオートフォーカスでピントが合った場合にのみ撮影可能です。このとき、フォーカスリングには触れないでください。
- レンズのフォーカス作動ボタン（フォーカスロック/メモリーリコール/AF作動）と電子音スイッチは無効になります。

FT1使用時のご注意

- 質量が380gを超えるレンズをカメラに装着した状態で、カメラだけを持ったり、カメラに取り付けたストラップだけを持ったりしないでください。カメラのマウント部分が破損するおそれがありますので、必ずレンズを持ってください。
- 非CPUレンズで絞りを絞って撮影する場合、画像上に線状のノイズが発生することがあります。
- 動画撮影中にレンズの動作音が気になる場合は、アドバンスト動画モードで露出モードを[マニュアル] (M) または[絞り優先オート] (A) にして撮影してください。
- 連続撮影速度を5fps (📷) にして連続撮影する場合、連続撮影速度が遅くなることがあります。
- 使用するレンズや撮影距離によっては、フラッシュのケラレが発生することがあります。また、AF補助光は点灯しますが、レンズによるケラレのため使用できません。
- 開放絞りがF1.4のレンズで、絞りを開いて撮影した場合、撮影条件によっては円ボケ（丸ボケ）の上下が欠けることがあります。

❑ 使用できないレンズについて

次のレンズはFT1を使用してカメラに装着しても撮影できません。詳しくは、最新のカタログや当社ホームページなどでご確認ください。

- AF-S NIKKOR 200-400mm f/4G ED VR II
- AF-S NIKKOR 200mm f/2G ED VR II
- AF-S NIKKOR 300mm f/2.8G ED VR II
- AF-S NIKKOR 400mm f/2.8E FL ED VR
- AF-S NIKKOR 400mm f/2.8G ED VR
- AF-S NIKKOR 500mm f/4G ED VR
- AF-S NIKKOR 600mm f/4G ED VR
- AF-S NIKKOR 800mm f/5.6E FL ED VR



このカメラの準拠規格

- **Design rule for Camera File system (DCF) Version 2.0**：各社のデジタルカメラで記録された画像ファイルを相互に利用し合うための記録形式です。
- **Exif Version 2.3**：(Exif = Exchangeable image file format for digital still cameras)：デジタルカメラとプリンターの連携を強化し、高品質なプリント出力を簡単に得ることを目指した規格です。この規格に対応したプリンターをお使いになると、撮影時のカメラ情報を活かして最適なプリント出力を得ることができます。詳しくはプリンターの使用説明書をご覧ください。
- **PictBridge**：デジタルカメラとプリンターメーカーの各社が相互接続を保証するもので、デジタルカメラの画像を、パソコンを介さずプリンターで直接印刷するための標準規格です。
- **HDMI (High-Definition Multimedia Interface)**：家庭用電化製品およびAV機器用のマルチメディアインターフェース規格です。1本のケーブルをつなぐだけで、画像、音声、制御信号をHDMI対応機器に送信できます。

商標説明

- PictBridgeロゴは商標です。
- microSDロゴ、microSDHCロゴ、およびmicroSDXCロゴは、SD-3C, LLC.の商標です。
- Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- IOSの商標は、米国およびその他の国におけるCiscoのライセンスに基づき使用しています。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing, LLC.の商標または登録商標です。

HDMI

- Wi-FiおよびWi-Fiロゴは、Wi-Fi Allianceの商標または登録商標です。
- Nマークは米国およびその他の国におけるNFC Forum, Inc.の商標または登録商標です。
- その他の会社名、製品名は各社の商標、登録商標です。



✎ 認証

- México

COFETEL: RCPNIDW12-1580

DW092

- Brasil



✎ FreeType License (FreeType2)

本製品のソフトウェアの著作権の一部は、© 2012 The FreeType Project (<http://www.freetype.org>) のものです。すべての権利はその所有者に帰属します。

✎ MIT License (HarfBuzz)

本製品のソフトウェアの著作権の一部は、© 2015 The HarfBuzz Project (<http://www.freedesktop.org/wiki/Software/HarfBuzz>) のものです。すべての権利はその所有者に帰属します。



電池寿命について

電池寿命は、次の通りです。

- 静止画撮影時：約250コマ※1
- 動画撮影時：約60分※2

※1 電池寿命測定方法を定めた CIPA（カメラ映像機器工業会）規格によるものです。測定条件は次の通りです。

- 30秒ごとに1回撮影
- 2回に1度、内蔵フラッシュを発光する
- 10回に1度、電源をON/OFFする。

※2 電池寿命測定方法を定めた CIPA（カメラ映像機器工業会）規格による実撮影電池寿命です。

- 1回の動画撮影で記録可能な最長時間は17分（1080/30p）です。
- 1つの動画ファイルで記録可能な最大ファイルサイズは4GBです。
- カメラが熱くなった場合、連続撮影時間内でも動画撮影が終了することがあります。
- メモリーカードはSandisk社製16GBのmicroSDHC UHS-Iカード（SDSDQXP-016G-J35A）を使用
- 装着レンズは1 NIKKOR VR 10-30mm f/3.5-5.6 PD-ZOOM
- フル充電したバッテリー（EN-EL24）を使用
- 温度23℃（±2℃）
- カメラは初期設定状態

バッテリーの充電状態、撮影間隔やメニュー画面からの設定条件などの使用環境によって、電池寿命が異なります。

次の場合はバッテリーの消耗が早くなります。

- シャッターボタンの半押しを続けた場合
- オートフォーカスのレンズ駆動を繰り返し行った場合
- 画質モードをRAWに設定して撮影した場合
- 低速シャッタースピードで撮影した場合
- Wi-Fi（無線LAN）機能を使用した場合
- VRレンズ使用時にVR（手ブレ補正）機能をONにした場合
- パワーズームレンズ使用時にズーム動作を繰り返した場合



Li-ionリチャージャブルバッテリーEN-EL24の性能を最大限に発揮させるため、次のことに注意してください。

- バッテリーの端子を汚さないでください。端子が汚れていると、十分な性能が発揮できません。
- 充電が完了したバッテリーは、なるべく早いうちにお使いください。使用しないまま放置していると、自己放電によって、バッテリー残量が減ってしまいます。



索引

マーク・英数字

 (オートモード).....	6, 31
 + (アドバンスド動画モード)	7, 46
 C (クリエイティブモード)....	6, 55
P (プログラムオート).....	64, 157
S (シャッター優先オート).....	65, 157
A (絞り優先オート).....	66, 157
M (マニュアル).....	67, 157
 (スポーツモード).....	6, 71
 (ベストモーメントキャプチャー モード).....	7, 73
 (モーションスナップショット モード).....	7, 85
HD (HD動画).....	40, 46
4K (4K動画).....	46
 (タイムラプス動画).....	46, 49
 (スローモーション).....	46, 52
 (早送り動画).....	47
 (ジャンプカット).....	47
 (4秒動画).....	47
POP (ポップ).....	56
RETRO (レトロ).....	56
 (硬調モノクローム).....	56
SEPIA (ノスタルジックセピア).....	56
HDR (HDR).....	56, 59
0 (ソフト).....	56
 (かんたんパノラマ).....	56, 60
 (ミニチュア効果).....	56
 (セレクトカラー).....	56, 63
 (クロスプロセス).....	56
 (トイカメラ風).....	57
 (クロススクリーン).....	57
 (魚眼効果).....	57
 (美肌効果).....	57

 (夜景).....	36, 57
 (夜景ポートレート).....	36, 57
 (風景).....	36, 57
 (クローズアップ).....	36, 57
 (ポートレート).....	36, 57
 (オート).....	36
 (おまかせシーン).....	157
 (プログラムシフト).....	64
MENU (メニュー) ボタン	9, 146, 154, 193
 (再生) ボタン.....	34, 83, 90
 (削除) ボタン	35, 43, 84, 90, 129
 (Wi-Fi) ボタン.....	113, 116
 (OK) ボタン.....	8
 (フィーチャー)	11, 48, 58, 68, 77, 87, 123
Fn (ファンクション) ボタン.....	13
 (連写/セルフタイマー)	71, 94, 96
 (連写).....	94
 (セルフタイマー).....	96
 (露出補正).....	98
 (フラッシュモード).....	99
 (赤目軽減発光).....	100, 102
SLOW (スローシャッター).....	102
REAR (後幕発光).....	102
 (レディーライト).....	103
 (マルチパターン測光).....	162
 (中央部重点測光).....	162
 (スポット測光).....	162
 (オートエリア).....	187
 (シングルポイント).....	187
 (ターゲット追尾).....	187, 188
 (クリエイティブリング).....	93
1コマ表示.....	34
20枚の記録時間.....	76



4K動画	46
4秒動画	47
ACアダプター	204, 206
Adobe RGB (色空間)	174
AEロック	50
AF-A (AF自動切り換え)	183
AF-C (コンティニュアスAF)	183
AF-F (常時AF)	183
AF-S (シングルAF)	183
AFエリア	32, 187
AFエリアモード	187
AF自動切り換え	183
AF補助光	190
Bulb	69
Capture NX-D	136, 158
D-ライティング	149
DCF Version 2.0	245
Exif Version 2.3	245
FINE	158
Fnボタンの機能	13
FT1	203, 241
HDMI	140
HDR	56, 59
HD動画	40, 46
H.264	233
INDEXプリント (PictBridge)	145
ISO感度設定	169
JPEG	158
k (1000コマ以上補助表示)	30
L (画像サイズ)	159
Li-ionリチャージャブルバッテリー	22, 23
M (画像サイズ)	159
MF (マニュアルフォーカス)	185, 241
microSDカード	23, 25, 195, 205
MOV	89, 159, 233
NEF	158
NFC	114, 118
NORMAL	158

PictBridge (ピクトブリッジ)	142, 245
Picture Control (ピクチャーコントロール)	170
PRE (プリセットマニュアル)	163, 166
RAW	158
r (連続撮影可能コマ数)	72, 95
S (画像サイズ)	159
sRGB (色空間)	174
SSID	113
USBケーブル	137, 142
ViewNX-i	136
Wi-Fi (無線LAN) 機能	xx, 109
Wi-Fi送信	116
Wi-Fiメニュー	110, 117
Wireless Mobile Utility	109, 119

ア

赤目軽減発光 (フラッシュモード)	100, 102
明るさ (ピクチャーコントロール)	172
アクセサリ (使用できるアクセサリ)	203
アクティブD-ライティング	175
アドバンスド動画モード	7, 46
後幕発光 (フラッシュモード)	102
色合い (色相) (ピクチャーコントロール)	172
色温度	165
色空間	174
色の濃さ (彩度) (ピクチャーコントロール)	172
色の濃さ (トイカメラ風)	57
色の選択	63
印刷 (プリント)	142
インターバルタイマー撮影	179
液晶モニター	4, 14, 105, 120, 196



オートエリア	187
オートパワーオフ	28, 198
オートフォーカス	183, 187
オートモード	6, 31
お気に入りフォト選択	73
音の設定	198
おまかせシーン	157
音声	89

カ

カードなし時リリース	196
カードの初期化 (フォーマット)	25, 195
顔認識	36, 189
拡大表示	126
風切り音低減 (動画音声の設定)	177
画質モード	158
画像サイズ	159
画像の保存枚数	81, 83
画像をテレビで見る	140
カメラ内画像の送信	117
カレンダー表示	125
かんたんパノラマ	56, 60
感度自動制御	169
魚眼効果	57
距離基準マーク	186
記録可能コマ数	30, 216
記録範囲	76
クイック調整 (ピクチャーコント ロール)	172
クリエイティブモード	6, 55
クリエイティブリング	93
クローズアップ	57
クロススクリーン	57
クロスプロセス	56
現在地の設定 (地域と日時) ...	29, 200
現在の設定	112
光学手ブレ補正	181

効果の度合い (魚眼効果)	57
効果の度合い (ソフト)	56
効果の度合い (美肌効果)	57
高感度ノイズ低減	176
格子線の表示	33, 197
硬調モノクローム	56
コマ送り	42
コマンドダイヤル	64, 65, 67, 185, 242
コンティニュアスAF	183
コントラスト (ピクチャーコント ロール)	172

サ

サイズ	159, 161
サイズ/フレームレート	161
再生	120
再生画面の設定	197
再生メニュー	146
先取り撮影	86
先幕発光 (フラッシュモード)	102
削除	35, 43, 84, 90, 129
撮影画面の設定	197
撮影間隔	49
撮影直後の画像確認	196
撮影頻度 (動画中おまかせスナップ)	178
撮影メニュー	154
撮影メニューのリセット	157
撮影モード	6
サマータイム (夏時間)	200
サムネイル表示	124
色相 (クロスプロセス)	56
色相 (レトロ)	56
自動撮影 (動画中おまかせスナップ)	178
自動ゆがみ補正	174
自分撮りモード	15, 105



自分撮りモード (セットアップ メニュー)	199
絞り値	66, 67
絞り優先オート	66, 157
シャッタースピード	65, 67
シャッターボタン	32
シャッター優先オート	65, 157
ジャンプカット	47
周辺減光	57
詳細表示	4, 197
常時AF	183
初期化 (フォーマット)	25, 195
初期設定一覧	214
シングルAF	183
シングルポイント	187
シンプル表示	197
ズームリングボタン	27
推奨メモリーカード	205
スタンダード (ピクチャーコン ロール)	170
ストラップ	22
スポーツモード	71
スポット測光 (測光モード)	162
スマートデバイス	113
スマートデバイスと接続	113
スマートフォートセレクト	80
スライドショー	133
スローシャッター (フラッシュ モード)	102
スロービュー	78
スローモーション (Fメニュー)	54
スローモーション (アドバンス ト動画モード)	46, 52
セキュリティを設定する	110
接続設定	110, 112
節電機能 (オートパワーオフ)	28
セットアップメニュー	193
セルフタイマー	96, 105
セレクトカラー	56, 63
全押し (シャッターボタン)	32

全画像削除	129
選択画像削除	129
測光モード	162
ソフト	56

タ

ターゲット追尾	187, 188
タイムラプス動画	46, 49
ダイレクトプリント	142
ダストシールド	2, 208, 210
タッチ撮影機能	107
タッチパネル	16
縦位置自動回転	148
縦横位置情報の記録	201
地域と日時	29, 200
チャージャー	22, 204, 235
中央部重点測光 (測光モード)	162
調光範囲	104
長時間露出	69
調色 (ピクチャーコントロール)	172, 173
長秒時ノイズ低減	176
チルト式液晶モニター	14
通常発光 (フラッシュモード)	100, 102
手ブレ補正	181, 182
デモモード	196
テレビ	140
トイカメラ風	57
動画	38, 152, 177
動画音声の設定	177
動画撮影ボタン	39, 50, 53
動画電子手ブレ補正	182
動画の前後比率	88
動画編集	152
統合表示	121, 197
動画中おまかせスナップ	178
時計用電池	29
トリミング	151



ナ

内蔵AF補助光の照射	190
内蔵フラッシュ	99
夏時間の設定 (地域と日時)	200
日時の設定 (地域と日時)	29, 200
ニュートラル (ピクチャーコントロール)	170
ノスタルジックセピア	56

ハ

ハイビジョンテレビと接続する ...	140
パソコン	136
バッテリー	22, 23, 204, 235
バッテリー残量	30
バッテリーをカメラに入れる	23
バッテリーを充電する	22
パノラマ標準	160
パノラマワイド	160
早送り動画	47
パワーコネクター	204, 206
パワードライブズーム	37
範囲指定 (PictBridge)	144
半押し (シャッターボタン)	32
ピクセルマッピング	202
ピクチャーコントロール	170
ヒストグラム表示	122
日付の表示順 (地域と日時)	200
日付プリント (PictBridge)	144
美肌効果	57, 105
ビビッド (ピクチャーコントロール)	170
ファイル形式	89
フィーチャーメニュー	11
フィルター効果 (ピクチャーコントロール)	172
風景 (クリエイティブモード)	57
風景 (ピクチャーコントロール)	170

フォーカスモード	183, 185
フォーカスロック	189
フォーマット (カードの初期化)	25, 195
フチ設定 (PictBridge)	144
フラッシュ	99, 191, 192
フラッシュ調光補正	192
フラッシュ発光	191
フラッシュモード	100, 102
プリセットマニュアル	163, 166
フリッカー低減	199
プリント	142
プリント画像選択 (PictBridge)	145
プリント実行 (PictBridge)	143, 145
プリント設定	144
プログラムオート	64, 157
プログラムシフト	64
プロテクト設定	149
ベストショット	73
ベストモーメントキャプチャー モード	7, 55
ポートレート (クリエイティブ モード)	57
ポートレート (ソフト)	56
ポートレート (ピクチャーコントロール)	170
ポップ	56
ボディーキャップ	2, 204
ホワイトバランス	163
ホワイトバランスの微調整	164

マ

マイク	177
枚数設定 (PictBridge)	144
マウントアダプター	203, 241
マニュアル	67, 157
マニュアル発光モード	191



マニュアルフォーカス	185, 241
マルチパターン測光（測光モード）	162
ミニチュア効果	56
メイクアップ	130
メモリーカード	23, 25, 195, 205
メモリーカードの初期化	25, 195
モーションスナップショット モード	7, 85
モニターの明るさ	196
モニター表示	196
モノクローム（ピクチャーコン ロール）	170

ヤ

夜景	57
夜景ポートレート	57
用紙設定（PictBridge）	144

ラ

ライブコントロール	91
リサイズ	150
リセット	157
輪郭強調（ピクチャーコントロール）	172
レディーライト	103
レトロ	56
連写（連続撮影）	71, 94
連写グループ画像	127
連写グループ表示方法	148
レンズの取り付け	26
レンズの取り外し	27
レンズマウント	186
連続撮影可能コマ数	72, 95
連番リセット	199
ロータリーマルチセクター	8
録音設定（動画音声の設定）	177
録画可能残り時間	39

露出インジケータ	68
露出補正	98, 105
露出モード	157



ニコンプラザ、サービスセンターのご案内

■ニコンプラザ

ショールーム、サービスセンター、ギャラリーを統合したニコン映像製品の総合情報拠点です。充実したサポートサービスを通して、お客さまのデジタルイメージングの世界を広げ、写真文化の普及、向上に資することを目指しています。

ニコンプラザ銀座

〒104-0061 東京都中央区銀座 7-10-1 ストラータ ギンザ 1・2 階

営業時間：10:30～18:30（年末年始、2月の第1土曜日とその翌日、8月の第2土曜日とその翌日を除く毎日）

ニコンプラザ新宿

〒163-1528 東京都新宿区西新宿 1-6-1 新宿エルタワー 28 階

営業時間：10:30～18:30（年末年始、2月11日・12日、8月の第3日曜日とその翌日を除く毎日）

ニコンプラザ名古屋

〒461-0005 名古屋市東区東桜 1-13-3 NHK 名古屋放送センタービル 2 階

営業時間：10:30～18:30（日曜日、祝日、年末年始を除く毎日）

ニコンプラザ大阪

〒530-0001 大阪市北区梅田 2-2-2 ヒルトンプラザウエスト・オフィスタワー 13 階

営業時間：10:30～18:30（年末年始、2月の第3土曜日とその翌日、8月の第3土曜日とその翌日を除く毎日）



ニコンプラザショールーム（ナビダイヤル）

0570-02-8080



ニコンプラザサービスセンター（ナビダイヤル）

0570-02-8060

* 音声ガイダンスにしたがって、ご利用になるニコンプラザをお選びください。

■サービスセンター

ニコン映像製品のメンテナンスサポートの窓口です。カメラ製品の展示の他、ご質問、ご相談もお受けしています。お気軽にご来所ください。

札幌サービスセンター

〒060-0807 札幌市北区北 7 条西 4-3-1 新北海道ビルディング 2 階

福岡サービスセンター

〒812-0011 福岡市博多区博多駅前 1-4-1 博多駅前第一生命ビル 1 階

（各サービスセンター共通）

営業時間：9:30～18:00（土曜日、日曜日、祝日、年末年始、夏季休業など弊社定休日を除く毎日）



（ナビダイヤル）

0570-02-8050

* 音声ガイダンスにしたがって、ご利用になるサービスセンターをお選びください。

- ナビダイヤルは一般電話からは市内通話料金でご利用いただけます。
- ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、(03)6702-0577（ニコンカスタマーサポートセンター）におかけください。



アフターサービスについて

■この製品の使い方や修理に関するお問い合わせは

- 使い方に関するご質問は、裏面に記載の「ニコン カスタマーサポートセンター」にお問い合わせください。
- 修理に関するご質問は、裏面に記載の「修理センター」にお問い合わせください。

【お願い】

- お問い合わせいただく場合には、おわかりになる範囲で結構ですので、次の内容をご確認の上、お問い合わせください。
「製品名」、「製品番号」、「ご購入日」、「問題が発生したときの症状」、「表示されたメッセージ」、「症状の発生頻度」など。
- ソフトウェアのトラブルの場合には、おわかりになる範囲で結構ですので、次の内容をご確認の上、お問い合わせください。
「ソフトウェア名およびバージョン」、「パソコンの機種名」、「OSのバージョン」、「メモリー容量」、「ハードディスクの空き容量」、「問題が発生したときの症状」、「症状の発生頻度」、エラーメッセージが表示されている場合はエラーメッセージの内容など。
- ファクシミリや郵送で問い合わせの場合は「ご住所」、「お名前」、「フリガナ」、「電話番号」、「FAX番号」を(会社の場合は会社名と部署名も)明確にお書きください。

■修理を依頼される場合は

ニコンサービス機関（ニコンプラザ、サービスセンター、修理センター）、ご購入店、または最寄りの販売店にご依頼ください。

- ニコンサービス機関について詳しくは、左ページおよび裏面をご覧ください。

【お願い】

- 修理に出されるときは、メモリーカードがカメラ内に挿入されていないかご確認ください。
※内蔵メモリーがあるカメラでは、内蔵メモリー内に画像データがあるときは、消去される場合があります。

■補修用性能部品について

このカメラの補修用性能部品（その製品の機能を維持するために必要な部品）の保有年数は、製造打ち切り後5年を目安としています。

- 修理可能期間は、部品保有期間内とさせていただきます。なお、部品保有期間経過後も、修理可能な場合もありますので、ニコンサービス機関またはご購入店へお問い合わせください。水没、火災、落下等による故障または破損で全損と認められる場合は、修理が不可能となります。なお、この故障または破損の程度の判定は、ニコンサービス機関にお任せください。



製品の使い方に関するお問い合わせ

<ニコン カスタマーサポートセンター>

全国共通のナビダイヤルにお電話ください。



0570-02-8000

一般電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

営業時間：9:30～18:00(年末年始、夏期休業日等を除く毎日)
ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、(03)6702-0577 におかけください。ファクシミリでの相談は、(03) 5977-7499 にお送りください。

修理サービスのご案内

修理品のお引き取りを依頼される場合は

<ニコン ピックアップサービス>

下記のフリーダイヤルでお申し込みいただくと、ニコン指定の配送業者(ヤマト運輸)が、梱包資材のお届け・修理品のお引き取り、修理後のお届け・集金までを一括して提供するサービスです。全国一律の料金にて承ります。
※宅配便で扱える大きさや重さには制限があるため、取り扱いできない製品もございます。



0120-02-8155

営業時間：9:00～18:00(年末年始12/29～1/4を除く毎日)

※上記のフリーダイヤルはピックアップサービス専用です。ニコン指定の配送業者(ヤマト運輸)にて承ります。

製品や修理に関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンター、または修理センターへお願いいたします。

修理品を宅配便などでお送りいただく場合の送り先と修理に関するお問い合わせは

<(株)ニコンイメージングジャパン 修理センター>

230-0052 横浜市鶴見区生麦2-2-26



0570-02-8200

一般電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

営業時間：9:30～18:00(土曜日、日曜日、祝日、年末年始、夏期休業日など弊社定休日を除く毎日)
ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、(03) 6702-0577 におかけください。

●修理センターには、ご来所の方の窓口がございません。宅配便のみお受けします。ご了承ください。

インターネットご利用の方へ

<ニコンイメージング/サポートページ>

●<http://www.nikon-image.com/support/>

最新の製品テクニカル情報や、ソフトウェアのアップデートに関する情報がご覧いただけます。

※製品をより有効にご利用いただくために、定期的にアクセスされるようおすすめします。

●<http://www.nikon-image.com/support/repair/>

「ニコン ピックアップサービス」のお申し込みや修理見積もり金額の確認、インターネットを利用して修理を申し込まれた場合の修理状況や納期の確認などをご覧いただけます。

※お問い合わせや修理を依頼をされるときには、裏面の「アフターサービスについて」も参照ください。

株式会社 **ニコン**

株式会社 **ニコン イメージング ジャパン**